2019年度
授　業　計　画

〔３～４年次〕

弘前大学医学部医学科

目　　次

１．２０１９年度医学部医学科行事予定 …… ２

２．２０１９年度健康診断日程表 …… ４

３．２０１９年度授業日程表 …… ６

４．２０１９年度授業時間割表〔１～６年次〕 …… １２

５．２０１９年度講義室割り当て一覧〔１～４年次〕 …… １４

６．２０１９年度実習科目日程表 …… １６

７．事務手続き等について …… １８

８．授業科目一覧　≪平成２１年度～２５年度入学者≫ …… ２０
≪平成２６年度以降入学者≫ …… ２２
≪２０１９年度以降入学者≫ …… ２４

９．授業計画　《専門基礎科目》 …… ２７
《専門科目／コア科目》 …… ３１
《専門科目／演習・実習科目》 …… １４７

１０．講義室等配置図 …… １６９

シラバスは，2019 年度より弘前大学ホームページからも確認することができます。　在学生の方へ→講義内容（シラバス）

2019年度　医学部医学科　行事予定

医学科１年

区分	行　　事	月　　日
前期	入学式	４月　５日（金）１３：３０～１４：３０
	新入生･1年次ガイダンス	４月　９日（火）　９：００～１１：００
	前期授業開始日	４月１１日（木）
	開学記念日	５月３１日（金）
	前期授業終了日	８月　８日（木）
	夏季休業	８月　９日（金）～　９月３０日（月）
後期	後期授業開始日	１０月　１日（火）
	総合文化祭	１０月２５日（金）～１０月２７日（日）
	冬季休業前授業最終日	１２月２５日（水）
	冬季休業	１２月２６日（木）～　１月　５日（日）
	授業再開	１月　６日（月）
	後期授業終了日	２月　７日（金）
	学年末休業	２月　８日（土）～　３月３１日（火）

医学科２～３年

区分	行　　事	月　　日
前期	3年次学生ガイダンス	４月　４日（木）１０：００～１１：００
	2年次学生ガイダンス	４月　４日（木）１４：００～１５：００
	前期授業開始日	４月　８日（月）
	開学記念日	５月３１日（金）
	動物実験慰霊式	６月２１日（金）
	前期授業終了日	８月　５日（月）
	夏季休業	８月　６日（火）～　９月３０日（月）
後期	後期授業開始日	１０月　１日（火）
	解剖体慰霊祭	１０月　１日（火）
	総合文化祭	１０月２５日（金）～１０月２７日（日）
	冬季休業前授業最終日	１２月２５日（水）
	冬季休業	１２月２６日（木）～　１月　５日（日）
	授業再開	１月　６日（月）
	後期授業終了日	２月　７日（金）
	学年末休業	２月　８日（土）～　３月３１日（火）

医学科４年

区分	行　　事	月　　日
前期	4年次学生ガイダンス	４月　３日（水）　１４：００～１５：００
	前期授業開始	４月　８日（月）
	開学記念日	５月３１日（金）
	前期授業終了日	８月　５日（月）
	夏季休業	８月　６日（火）～　９月１６日（月）

後期	総合教育演習Ⅰ（CBT）（予定）	９月　４日（水）
	後期授業開始	９月１７日（火）
	総合文化祭	１０月２５日（金）～１０月２７日（日）
	臨床実習入門（演習科目） Pre BSL	１１月２５日（月）～１２月１３日（金）
	臨床実習入門（演習科目） OSCE	１２月１４日（土）
	冬季休業前授業最終日	１２月２５日（水）
	冬季休業	１２月２６日（木）～　１月　５日（日）
	授業再開	１月　６日（月）
	後期授業終了日	１月１６日（木）
	SD章授与式	２月　末日
	5年次ガイダンス	ＳＤ章授与式終了後
	臨床実習Ⅰ開始（予定）	３月　２日（月）

医学科5年

区分	行　　事	月　　日
前期	SD章授与式	２月２８日（木）　１４：００～
	5年次ガイダンス	２月２８日（木）　ＳＤ章授与式終了後
	臨床実習Ⅰ	３月　４日（月）　～　４月２６日（金）
	開学記念日	５月３１日（金）
	臨床実習Ⅰ	５月　７日（火）　～　７月２６日（金）
	夏季休業	７月２９日（月）　～　８月３０日（金）
後期	臨床実習Ⅰ	９月　２日（月）　～１２月２０日（金）
	冬季休業	１２月２３日（月）　～　１月　３日（金）
	臨床実習Ⅰ	１月　６日（月）　～　２月２８日（金）
	臨床実習Ⅱ開始	３月　２日（月）

医学科6年

区分	行　　事	月　　日
前期	6年次ガイダンス	３月２７日（水）　１４：００～１５：００
	臨床実習Ⅱ （ｸﾆﾘｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ1～4ｸｰﾙ）	４月　１日（月）　～　７月２６日（金）
	開学記念日	５月３１日（金）
	夏季休業	７月２９日（月）　～　８月３０日（金）
後期	総合教育演習Ⅱ （ｸﾆﾘｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ5.6ｸｰﾙ）	９月　２日（月）　～　１０月２５日（金）
	Post-CC-OSCEトライアル	１１月　９日（土），１０日（日）
	総合教育演習Ⅲ（総合試験）	１１月　第３週　を予定
	医師国家試験	２月
	学位記授与式	３月２３日（月）

2019年度　健康診断日程表

医学科１～３年

学年	行　事	場　所	日　時
１年生	学生定期健康診断	保健管理センター分室・附属病院	５月１５日（水）　13:30　～　16:00
	学生心電図（男子）	保健管理センター	６月１３日（木）　9:00　～　11:00
	学生心電図（女子）	保健管理センター	６月２０日（木）　9:00　～　11:00
２年生	末梢血検査 →生化学実習を今年度履修する学生が対象	保健管理センター分室	※ 学士編入生, 18M1001～18M1045 ４月　４日（木）　10:00　～　11:00
			※ 18M1046～18M1112, 18M以外 ４月　５日（金）　10:00　～　11:00
	学生定期健康診断 **（学士編入生のみ）**	保健管理センター分室・附属病院	５月１５日（水）　13:30　～　16:00
	学生定期健康診断 **（学士編入生以外）**	保健管理センター分室・附属病院	５月１７日（金）　13:30　～　16:00
	学生心電図（男子） **（学士編入生のみ）**	保健管理センター	６月１４日（金）　9:00　～　10:00
	学生心電図（女子） **（学士編入生のみ）**	保健管理センター	６月２１日（金）　9:00　～　10:00
３年生	学生定期健康診断	保健管理センター分室・附属病院	５月１６日（木）　13:30　～　16:00

※**定期健康診断**について，必ず受診してください。
（定期健康診断について，どうしても自分の学年の対象日に受診できない場合は，医学科他学年の健康診断日に受診するようにしてください。）

※新入生（１年生，２年学士編入学生）は**学生心電図検査**についても，必ず受診してください。
場所は，文京キャンパスの保健管理センターです。

※上記予定に変更があった場合は，掲示にてお知らせします。

2019年度　健康診断日程表

医学科4～6年

学年	行　　事	場　　所	日　　時
4年生	学生定期健康診断	保健管理センター分室・附属病院	5月14日（火）　13:30　～　16:00
	B型肝炎ワクチン接種 **（抗体がない者）**	保健管理センター分室 **（場所・日時についての詳細は，調整後掲示するので各自確認すること）**	5，6，11月の3回実施予定
	採血 GOT・GPT，HBs抗原・抗体，HCV抗体，末梢血 **（4年生全員）**	保健管理センター分室	※ 16M1001～1056 12月18日（水）　10:30　～　11:30 ※ 16M1057～16M1125 12月19日（木）　10:30　～　11:30 ※ 16M1126～，16M以外 12月20日（金）　10:30　～　11:30
5年生	学生定期健康診断	保健管理センター分室・附属病院	4月16日（火）　13:30　～　16:00
	B型肝炎ワクチン接種 **（希望者のみ）**	保健管理センター分室 **（場所・日時についての詳細は，調整後掲示するので各自確認すること）**	5，6，11月の3回実施予定
	インフルエンザワクチン接種 **（希望者のみ・要申込み）**	保健管理センター分室	11月18日（月）　14:00　～　15:30
	採血 GOT・GPT，HBs抗原・抗体，HCV抗体，末梢血 **（B型肝炎ワクチン接種者のみ）**	保健管理センター分室	12月18日（水），12月19日（木），12月20日（金）で各自都合の良い日　10:30　～　11:30
6年生	学生定期健康診断	保健管理センター分室・附属病院	4月16日（火）　13:30　～　16:00
	B型肝炎ワクチン接種 **（希望者のみ）**	保健管理センター分室 **（場所・日時についての詳細は，調整後掲示するので各自確認すること）**	5，6，11月の3回実施予定
	インフルエンザワクチン接種 **（希望者のみ・要申込み）**	保健管理センター分室	11月18日（月）　14:00　～　15:30
	採血 GOT・GPT，HBs抗原・抗体，HCV抗体，末梢血 **（B型肝炎ワクチン接種者のみ）**	保健管理センター分室	12月18日（水），12月19日（木），12月20日（金）で各自都合の良い日　10:30　～　11:30

※**定期健康診断**については，必ず受診してください。
6年生は，マッチング手続きで健康診断証明書を求められることがあります。（病院による）
（定期健康診断について，どうしても自分の学年の対象日に受診できない場合は，医学科他学年の健康診断日に受診するようにしてください。）

※上記予定の詳細及び変更があった場合は，掲示にてお知らせします。

※B型肝炎ワクチン接種希望者は5，6，11月の3回接種を受けてください。
3回接種しなければ抗体ができない場合があります。
（2回目以降は前回接種者のみ対象者とします。）

2019年度授業日程表(医学科1年)

前期

	日	月	火	水	木	金	土	備 考
31年		1	2	3	4	5	6	・5日 入学式 ・6日 英語ﾌﾟﾚｲｽﾒﾝﾄﾃｽﾄ(1年)
	7	8	9	10	11	12	13	
4月	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	11日 月曜日の授業日
5月	12	13	14	*15	16	17	18	・15日 13時半-16時 1年生健康診断
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		・31日 開学記念日
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	*13	14	15	・13日9-11時 1年生(男)・心電図
6月	16	17	18	19	*20	21	22	・20日9-11時 1年生(女)・心電図
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
7月	14	15	16	17	18	19	20	・18日 月曜日の授業日
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
					1	2	3	・8日前期授業終了日
	4	5	6	7	8	9	10	・10日ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ
8月	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
9月	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						30日 秋季学位記授与式
計	―	14	16	16	17	16	―	

後期

	日	月	火	水	木	金	土	備 考
			1	2	3	4	5	・1日 後期授業開始日
	6	7	8	9	10	11	12	
10月	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	・25日～27日 総合文化祭 ・25・28日 全日休講日
	27	28	29	30	31			・29日 月曜日の授業日
						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	・6日 月曜日の授業日
11月	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
12月	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	・25日 冬季休業前授業最終日
	29	30	31					
2020				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・6日 冬季休業後授業再開日
	12	13	14	15	16	17	18	・15日 月曜日の授業日 ・16日 金曜日の授業日
1月	19	20	21	22	23	24	25	・17日 全日休講日
	26	27	28	29	30	31		・18日～19日 大学入試ｾﾝﾀｰ試験
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
2月	9	10	11	12	13	14	15	・7日 後期授業終了日
	16	17	18	19	20	21	22	・25～26日 個別学力検査(前期日程)
	23	24	25	26	27	28	29	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
3月	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	・23日 学位記授与式
	29	30	31					
計	―	13	17	18	17	15	―	

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前 期	16	16	16	16	16

前期 80

	月	火	水	木	金
後 期	16	16	16	16	16

後期 80

→祝日，国民の休日等

＊ →健康診断

2019年度授業日程表（医学科2～3年）

前期

	日	月	火	水	木	金	土	備考
31年		1	2	3	*4	*5	6	・5日 入学式 ・4・5日　2年生末梢血検査
	7	8	9	10	11	12	13	
4月	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・11日 月曜日の授業日 ・15日 13時半-16時 2年生健康診断（学士のみ） ・16日 13時半-16時 3年生健康診断 ・17日 13時半-16時 2年生健康診断（学士以外）
5月	12	13	14	*15	*16	*17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	*14	15	・14日9-10時 2年学士（男）心電図 ・21日　実験動物慰霊式（3年） ・21日9-10時 2年学士（女）心電図
6月	16	17	18	19	20	*21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
7月	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
					1	2	3	・5日前期授業終了日
	4	5	6	7	8	9	10	・10日ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ
8月	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
9月	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						30日 秋季学位記授与式
計	―	14	16	16	17	16	―	

後期

	日	月	火	水	木	金	土	備考
			1	2	3	4	5	・1日 後期授業開始日 ・1日 解剖体慰霊祭（2年）
	6	7	8	9	10	11	12	
10月	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	・25日～27日　総合文化祭 ・25・28日 全日休講日
	27	28	29	30	31			・29日　月曜日の授業日
						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	・6日　月曜日の授業日
11月	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
12月	22	23	24	25	26	27	28	・25日 冬季休業前授業最終日
	29	30	31					
2020				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・6日 冬季休業後授業再開日
	12	13	14	15	16	17	18	・15日 月曜日の授業日 ・16日 金曜日の授業日
1月	19	20	21	22	23	24	25	・17日 全日休講日 ・18日～19日 大学入試ｾﾝﾀｰ試験
	26	27	28	29	30	31		
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	・7日 後期授業終了日
	9	10	11	12	13	14	15	
2月	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	・25～26日 個別学力検査(前期日程)
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
3月	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	・23日 学位記授与式
	29	30	31					
計	―	13	17	18	17	15	―	

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前　期	16	16	16	16	16

前期　80

	月	火	水	木	金
後　期	16	16	16	16	16

後期　80

→祝日，国民の休日等

＊　→健康診断

2019年度授業日程表（医学科4年）

前期

	日	月	火	水	木	金	土	備 考
31年		1	2	3	4	5	6	・5日 入学式
	7	8	9	10	11	12	13	
4月	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・11日 月曜日の授業日
5月	12	13	*14	15	16	17	18	・14日 13時半−16時 4年生健康診断
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		・31日 開学記念日
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
6月	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
7月	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
					1	2	3	・5日前期授業終了日
	4	5	6	7	8	9	10	・10日オープンキャンパス
8月	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	

後期

	日	月	火	水	木	金	土	備 考
	1	2	3	4	5	6	7	・4日 CBT
	8	9	10	11	12	13	14	・5−13日 前期分試験
9月	15	16	17	18	19	20	21	・17日 後期授業開始日
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						
			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
10月	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	・25日～27日 総合文化祭 ・25・28日 全日休講日
	27	28	29	30	31			・29日 月曜日の授業日
						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	・6日 月曜日の授業日
11月	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	・11月25日−12月13日 Pre BSL(3W)
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	・14日 OSCE
12月	15	16	17	*18	*19	*20	21	・18日−20日 10時半−11時半 採血
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					・25日 冬季休業前授業最終日
2020				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・6日 冬季休業後授業再開日 ・15日 月曜日の授業日
1月	12	13	14	15	16	17	18	・16日 金曜日の授業日 ・17日 全日休講日
	19	20	21	22	23	24	25	・18日～19日 大学入試センター試験
	26	27	28	29	30	31		
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
2月	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	・教授会進級判定
	23	24	25	26	27	28	29	・SD章授与式
	1	2	3	4	5	6	7	・臨床実習Ⅰ開始
	8	9	10	11	12	13	14	
3月	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前 期	16	16	16	16	16

	月	火	水	木	金
後 期	11	12	12	12	12

→祝日，国民の休日等

＊ →健康診断，採血等

2019年度　授業日程表（医学科5年）

前期

	日	月	火	水	木	金	土	備考
3月						1	2	・2月28日 SD章授与式，5年次ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ
	3	4	5	6	7	8	9	・臨床実習Ⅰ（8w）
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
4月	31	1	2	3	4	5	6	・5日 入学式
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	*16	17	18	19	20	・16日 13時半-16時 5年生健康診断
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
5月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・臨床実習Ⅰ（12w）
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		・31日 開学記念日
6月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
7月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				・夏季休業
8月					1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	

後期

	日	月	火	水	木	金	土	備考
9月	1	2	3	4	5	6	7	・臨床実習Ⅰ（16w）
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						
10月			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	・25日～27日　総合文化祭
	27	28	29	30	31			
11月						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	*18	19	20	21	22	23	・18日　14-15時半 ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ接種（希望者のみ）
	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	*18	*19	*20	21	・18日-20日　10時半-11時半 採血（B型肝炎ﾜｸﾁﾝ接種者のみ）
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					・冬季休業
2020 1月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・臨床実習Ⅰ（8w）
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
2月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	

3月	1	2	3	4	5	6	7	・臨床実習Ⅱ開始
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

→祝日，国民の休日等

＊　→健康診断，予防接種等

2019年度　授業日程表（医学科6年）

前期

	日	月	火	水	木	金	土	備考
4月	31	1	2	3	4	5	6	・3月27日 6年次ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・臨床実習Ⅱ ｸﾘﾆｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ1ｸｰﾙ（4w）
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	*16	17	18	19	20	・16日 13時半-16時 6年生健康診断
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
5月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	・臨床実習Ⅱ ｸﾘﾆｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ2ｸｰﾙ（4w）
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		・31日 開学記念日
6月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	・臨床実習Ⅱ ｸﾘﾆｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ3ｸｰﾙ（4w）
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
7月		1	2	3	4	5	6	・臨床実習Ⅱ ｸﾘﾆｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ4ｸｰﾙ（4w）
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				・夏季休業
8月					1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9月	1	2	3	4	5	6	7	・総合教育演習Ⅱ ｸﾘﾆｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ5ｸｰﾙ（4w）
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

後期

	日	月	火	水	木	金	土	備考
10月			1	2	3	4	5	・総合教育演習Ⅱ ｸﾘﾆｶﾙｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ6ｸｰﾙ（4w）
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	・25日～27日　総合文化祭
	27	28	29	30	31			
11月						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	・9日,10日 Post CC OSCEﾄﾗｲｱﾙ
	10	11	12	13	14	15	16	・総合試験
	17	*18	19	20	21	22	23	・18日　14-15時半 ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ接種（希望者のみ）
	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	*18	*19	*20	21	・18日-20日　10時半-11時半 採血（B型肝炎ﾜｸﾁﾝ接種者のみ）
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
2020 1月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
2月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	・医師国家試験（予定）
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
3月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	・23日 学位記授与式
	29	30	31					

→祝日，国民の休日等

＊　→健康診断，予防接種等

《MEMO》

２０１９年度　医学部（医学科）授業時間割表〔１～６年次〕

【前期】

		1･2 (8:40～10:10)	3･4 (10:20～11:50)	5･6 (12:40～14:10)	7･8 (14:20～15:50)	9･10 (16:00～17:30)
月	1	基 礎 人 体 科 学 演 習		(基礎ゼミナール)	医の原則	教養教育
	2	生化学(講義1)	生化学(講義2)	生 理 学 ・ 生 理 学 実 習		
	3		感染症学 P.32	消化器内科学･外科学Ⅰ P.34	呼吸器内科学･外科学Ⅰ P.39	内分泌･代謝学Ⅰ P.42
	4	臨床検査医学 P.91	麻酔科学･緩和医療学Ⅱ P.94	眼科学 P.96	耳鼻咽喉･頭頸部外科学 P.99	
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	臨床実習Ⅱ				
火	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
	2	医用統計学	解 剖 学 ・ 解 剖 学 実 習			
	3	循環器内科学･外科学Ⅰ P.44	薬理学 P.48	病理学 ・病理学実習 ／ 薬理学実習 P.148 P.154		
	4	周産期医学 P.101	脳神経外科学 P.103	整形外科学Ⅱ P.105	泌尿器科学 P.107	放射線腫瘍学 P.110
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	臨床実習Ⅱ				
水	1	教養教育	教養教育	臨 床 医 学 入 門		
	2	生理学	地域医療入門	解 剖 学 ・ 解 剖 学 実 習		
	3	循環器内科学･外科学Ⅰ P.46	神経精神医学Ⅰ P.50	病 理 学 ・ 病 理 学 実 習 P.148		
	4	法医学 P.112	症候学 P.114	救急･災害医学 P.116	臨床腫瘍学 P.118	血液内科学Ⅰ P.121
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	臨床実習Ⅱ				
木	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
	2	医用システム工学概論	生化学(講義1／講義2)	解 剖 学 ・ 解 剖 学 実 習		
	3		小児科学Ⅰ P.53	消化器内科学･外科学Ⅰ P.37		外科学概論 P.55
	4		形成外科学 P.123	皮膚科学 P.125	歯科口腔外科学 P.128	小児外科学 P.130
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	臨床実習Ⅱ				
金	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
	2	生 理 学		生化学(講義1／講義2) ・生 化 学 実 習		
	3	社 会 医 学 ・ 社 会 医 学 実 習 P.58 P.156				
	4			医療安全学 P.133	医学英語Ⅳ P.29	血液内科学Ⅱ P.136
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	臨床実習Ⅱ				

[備考]

1. 「教養教育科目」は主に総合教育棟，「専門科目」は医学部(医学科)校舎で行う。
2. 担当教員は「2019年度授業計画〔シラバス〕」を参照のこと。
3. 5年次の臨床実習Ⅰについては，別に配布する「クリニカルクラークシップⅠ実習要綱」を参照のこと。(44週：3月1日～2月28日)
4. 6年次の臨床実習Ⅱについては，別に配布する「クリニカルクラークシップ実習指針」を参照のこと。

２０１９年度　医学部（医学科）授業時間割表〔１～６年次〕

【後期】

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	1	生化学(講義1)	生化学(講義2)	医学英語ＩＡ 医学英語ＩＢ	医用システム工学概論	教養教育
	2			組織学 ・ 組織学実習 ／ 病理学 ・ 病理学実習		
	3	呼吸器内科学・外科学Ⅱ P.60	消化器内科学・外科学Ⅱ P.63	循環器内科学・外科学Ⅱ P.65	麻酔科学・緩和医療学Ⅰ P.67	内分泌・代謝学Ⅰ P.69
	4	PBL P.160		臨床実習入門(演習科目) P.162		
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	総合教育演習Ⅱ ／ 総合教育演習Ⅲ(総合試験)				
火	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
	2	薬理学	薬理学	組織学 ・ 組織学実習 ／ 病理学 ・ 病理学実習		
	3	婦人科学 P.71	腎臓内科学 P.73	整形外科学Ⅰ P.75	内分泌・代謝学Ⅱ P.77	放射線診断学 P.80
	4	PBL P.160	リハビリテーション医学 P.138	臨床実習入門(演習科目) P.162		
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	総合教育演習Ⅱ ／ 総合教育演習Ⅲ(総合試験)				
水	1	教養教育	教養教育	組織学 ・ 組織学実習		
	2	微生物学	病理学	医学英語Ⅱ		
	3		医学英語Ⅲ P.28	研 究 室 研 修 P.158		
	4		PBL P.160	臨床実習入門(演習科目) P.162		
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	総合教育演習Ⅱ ／ 総合教育演習Ⅲ(総合試験)				
木	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
	2	被ばく医療学	病理学	微生物学 ・ 微生物学実習		
	3	臨床免疫学 P.82	神経精神医学Ⅱ P.84	研 究 室 研 修 P.158		
	4	病理診断学 P.140	PBL P.160	臨床実習入門(演習科目) P.162		
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	総合教育演習Ⅱ ／ 総合教育演習Ⅲ(総合試験)				
金	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
	2	免疫学	微生物学	神経科学 ・ 神経科学実習		
	3	小児科学Ⅱ P.87	神経内科学 P.90	研 究 室 研 修 P.158		
	4	PBL P.160		臨床実習入門(演習科目) P.162		臨床薬理・和漢薬学 P.143
	5	臨床実習Ⅰ				
	6	総合教育演習Ⅱ ／ 総合教育演習Ⅲ(総合試験)				

※「総合教育演習Ⅰ(CBT)」(4年次) ： 2019年9月4日(水)に行う(予定) P.159
「臨床実習入門(演習科目)」(4年次) PreBSL ： 2019年11月25日(月)～ 12月13日(金)に行う(予定) P.166
「臨床実習入門(演習科目)」(4年次) OSCE ： 2019年12月14日(土)に行う(予定) P.166
(6年次)Post CC OSCE トライアル 2019年11月9日(土)10日(日)に行う

[備考]

1. 「教養教育科目」は主に総合教育棟，「専門科目」は医学部医学科校舎で行う。
2. 担当教員は「2019年度授業計画〔シラバス〕」を参照のこと。
3. 1年次「医学英語Ⅰ」のクラス分けは，掲示にて連絡する。
4. 5年次の臨床実習Ⅰについては，別に配布する「クリニカルクラークシップⅠ実習要綱」を参照のこと。(44週：3月1日～2月28日)

講義室割り当て一覧（前期）

[医学科校舎]　①基礎第1講義室　②基礎第2講義室　●基礎大講堂
○臨床小講義室　◎臨床大講義室　△学生パソコン室

1年次前期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	1	基礎人体科学演習 **②基礎2**		（基礎ゼミナール）	医の原則 **②基礎2**	教養教育
火	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
水	1	教養教育	教養教育	臨床医学入門 **②基礎2**		
木	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
金	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育

2年次前期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	2	生化学（講義1） **●基礎大**	生化学（講義2） **●基礎大**	生理学・生理学実習 **●基礎大**		生理学実習
火	2	医用統計学 **△PC室，②基礎2**	解剖学・解剖学実習 **●基礎大**			
水	2	生理学 **●基礎大**	地域医療入門 **●基礎大**	解剖学・解剖学実習 **●基礎大**		
木	2	医用システム工学概論 **●基礎大**	生化学（講義2） **●基礎大**	解剖学・解剖学実習 **●基礎大**		
金	2	生理学 **●基礎大**		生化学（講義2）・生化学実習 **●基礎大**	生化学（講義1）・生化学実習 **●基礎大**	生化学実習

注意（2年次講義室について）

●4月　8日（月）～4月10日（水）の期間，「基礎大」「基礎2」とある部分を「基礎第1講義室」で行う。（ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ等行事のため）
●6月20日(木）～6月21日（金）の期間，「基礎大」とある部分を「基礎第1講義室」で行う。（実験動物慰霊式のため）
●7月22日（月）～夏休みまで　の期間，「基礎大」とある部分を「基礎第1講義室」で行う。
（1～4年の試験用に基礎大を空けるため。）

3年次前期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	3		感染症学 **○臨床小**	消化器内科学・外科学Ⅰ **○臨床小**	呼吸器内科学・外科学Ⅰ **○臨床小**	内分泌・代謝学Ⅰ **○臨床小**
火	3	循環器内科学・外科学Ⅰ **○臨床小**	薬理学 **○臨床小**	病理学・病理学実習　／　薬理学実習 **○臨床小**		
水	3	循環器内科学・外科学Ⅰ **○臨床小**	神経精神医学Ⅰ **○臨床小**	病理学・病理学実習 **○臨床小**		
木	3		小児科学Ⅰ **○臨床小**	消化器内科学・外科学Ⅰ **○臨床小**		外科学概論 **○臨床小**
金	3	社会医学・社会医学実習 **○臨床小**			／　病理学・病理学実習（6月14日以降）	

4年次前期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	4	臨床検査医学 **◎臨床大**	麻酔科学・緩和医療学Ⅱ **◎臨床大**	眼科学 **◎臨床大**	耳鼻咽喉・頭頸部外科学 **◎臨床大**	
火	4	周産期医学 **◎臨床大**	脳神経外科学 **◎臨床大**	整形外科学Ⅱ **◎臨床大**	泌尿器科学 **◎臨床大**	放射線腫瘍学 **◎臨床大**
水	4	法医学 **◎臨床大**	症候学 **◎臨床大**	救急・災害医学 **◎臨床大**	臨床腫瘍学 **◎臨床大**	血液内科学Ⅰ **◎臨床大**
木	4		形成外科学 **◎臨床大**	皮膚科学 **◎臨床大**	歯科口腔外科学 **◎臨床大**	小児外科学 **◎臨床大**
金	4			医療安全学 **◎臨床大**	医学英語Ⅳ **△PC室**	血液内科学Ⅱ **◎臨床大**

講義室割り当て一覧（後期予定）

［医学科校舎］　①基礎第1講義室　②基礎第2講義室　●基礎大講堂
○臨床小講義室　◎臨床大講義室　△学生パソコン室

1年次後期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	1	生化学（講義1） **②基礎2**	生化学（講義2） **②基礎2**	医学英語ＩＡ・ＩＢ **①基礎1・②基礎2**	医用システム工学概論 **②基礎2**	教養教育
火	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
水	1	教養教育	教養教育	組織学 ・ 組織学実習 **②基礎2**		
木	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
金	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育

2年次後期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	2			組織学 ・ 組織学実習 ／ 病理学 ・ 病理学実習 **●基礎大**		
火	2	薬理学 **●基礎大**	薬理学 **●基礎大**	組織学 ・ 組織学実習 ／ 病理学 ・ 病理学実習 **●基礎大**		
水	2	微生物学 **◇新講義棟**	病理学 **◇新講義棟**	医学英語Ⅱ **△PC室**		
木	2	被ばく医療学 **◇新講義棟**	病理学 **◇新講義棟**	微生物学 ・ 微生物学実習 **◇新講義棟**		
金	2	免疫学 **◇新講義棟**	微生物学 **◇新講義棟**	神経科学 ・ 神経科学実習 **◇新講義棟**		

3年次後期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	3	呼吸器内科学・外科学Ⅱ **◇新講義棟**	消化器内科学・外科学Ⅱ **◇新講義棟**	循環器内科学・外科学Ⅱ **◇新講義棟**	麻酔科学・緩和医療学Ⅰ **◇新講義棟**	内分泌・代謝学Ⅰ **◇新講義棟**
火	3	婦人科学 **①基礎1**	腎臓内科学 **①基礎1**	整形外科学Ⅰ **①基礎1**	内分泌・代謝学Ⅱ **①基礎1**	放射線診断学 **①基礎1**
水	3		医学英語Ⅲ	研 究 室 研 修		
木	3	臨床免疫学 **①基礎1**	神経精神医学Ⅱ **①基礎1**	研 究 室 研 修		
金	3	小児科学Ⅱ **①基礎1**	神経内科学 **①基礎1**	研 究 室 研 修		

4年次後期

		1・2 （8:40～10:10）	3・4 （10:20～11:50）	5・6 （12:40～14:10）	7・8 （14:20～15:50）	9・10 （16:00～17:30）
月	4	PBL		臨床実習入門（演習科目）		
火	4	PBL	リハビリテーション医学 **◇新講義棟**	臨床実習入門（演習科目）		
水	4		PBL	臨床実習入門（演習科目）		
木	4	病理診断学 **●基礎大**	PBL	臨床実習入門（演習科目）		
金	4	PBL		臨床実習入門（演習科目）		臨床薬理・和漢薬学 **◇新講義棟**

※後期講義室割り当ては予定である。変更がある場合，後期開始前に通知する。

2019年度　実習科目日程表

〔前期〕

月　日	曜日	2年次	3年次
4月8日	月		
4月9日	火	1　解剖学実習（骨学）	1　病理学実習
4月10日	水	2　解剖学実習（骨学）	2　病理学実習
4月11日	木	3　解剖学実習（骨学）	
4月12日	金		
4月15日	月		
4月16日	火	4　解剖学実習（骨学）	3　病理学実習
4月17日	水	5　解剖学実習（骨学）	4　病理学実習
4月18日	木	6　解剖学実習（骨学）	
4月19日	金		1　社会医学実習
4月22日	月		
4月23日	火	7　解剖学実習（人体）	5　病理学実習
4月24日	水	8　解剖学実習（人体）	6　病理学実習
4月25日	木	9　解剖学実習（人体）	
4月26日	金		2-4　社会医学実習
4月29日	月	祝　日	
4月30日	火	祝　日	
5月1日	水	祝　日	
5月2日	木	祝　日	
5月3日	金	祝　日	
5月6日	月	祝　日	
5月7日	火	10　解剖学実習（人体）	7　病理学実習
5月8日	水	11　解剖学実習（人体）	8　病理学実習
5月9日	木	12　解剖学実習（人体）	
5月10日	金		5･6　社会医学実習
5月11日	土		
5月13日	月		
5月14日	火	13　解剖学実習（人体）	9　病理学実習
5月15日	水	14　解剖学実習（人体）	10　病理学実習
5月16日	木	15　解剖学実習（人体）	
5月17日	金		7　社会医学実習
5月20日	月		
5月21日	火	16　解剖学実習（人体）	11　病理学実習
5月22日	水	17　解剖学実習（人体）	12　病理学実習
5月23日	木	18　解剖学実習（人体）	
5月24日	金		
5月27日	月		
5月28日	火	19　解剖学実習（人体）	13　病理学実習
5月29日	水	20　解剖学実習（人体）	14　病理学実習
5月30日	木	21　解剖学実習（人体）	
5月31日	金	1　生理学実習（説明）	8-11 社会医学実習
		1　生化学実習（RI講義）	
6月3日	月	2　生理学実習	
6月4日	火	22　解剖学実習（人体）	15　病理学実習
6月5日	水	23　解剖学実習（人体）	16　病理学実習
6月6日	木	24　解剖学実習（人体）	
6月7日	金	2　生化学実習	
6月10日	月	3　生理学実習	
6月11日	火	25　解剖学実習（人体）	1　薬理学実習
6月12日	水	26　解剖学実習（人体）	17　病理学実習
6月13日	木	27　解剖学実習（人体）	
6月14日	金	3　生化学実習	18　病理学実習

月　日	曜日	2年次	3年次
6月17日	月	4　生理学実習	
6月18日	火	28　解剖学実習（人体）	2　薬理学実習
6月19日	水	29　解剖学実習（人体）	19　病理学実習
6月20日	木	30　解剖学実習（人体）	
6月21日	金	4　生化学実習	20　病理学実習
6月24日	月	5　生理学実習	
6月25日	火	31　解剖学実習（人体）	3　薬理学実習
6月26日	水	32　解剖学実習（人体）	21　病理学実習
6月27日	木	33　解剖学実習（人体）	
6月28日	金	5　生化学実習	22　病理学実習
7月1日	月	6　生理学実習	
7月2日	火	34　解剖学実習（人体）	4　薬理学実習
7月3日	水	35　解剖学実習（人体）	23　病理学実習
7月4日	木	36　解剖学実習（人体）	
7月5日	金	6　生化学実習	24　病理学実習
7月8日	月	7　生理学実習	
7月9日	火	37　解剖学実習（人体）	5　薬理学実習
7月10日	水	38　解剖学実習（人体）	25　病理学実習
7月11日	木	39　解剖学実習（人体）	
7月12日	金	7　生化学実習	26　病理学実習
7月15日	月	祝　日	
7月16日	火	40　解剖学実習（人体）	
7月17日	水	41　解剖学実習（人体）	27　病理学実習
7月18日	木	42　解剖学実習（人体）	
7月19日	金	8　生化学実習	12･13 社会医学実習 28　病理学実習
7月22日	月	8　生理学実習	
7月23日	火	43　解剖学実習（人体）	
7月24日	水	44　解剖学実習（人体）	29　病理学実習
7月25日	木	45　解剖学実習（人体）	
7月26日	金	9　生化学実習	14･15 社会医学実習
7月29日	月	9　生理学実習	
7月30日	火	46　解剖学実習（人体）	30　病理学実習
7月31日	水	47　解剖学実習（お別れ式）	31　病理学実習
8月1日	木		
8月2日	金		
8月5日	月		

※詳細は各実習のシラバスを確認すること。

2019年度　実習科目日程表

〔後期〕

月　日	曜日	1年次	2年次
10月1日	火		
10月2日	水	1　組織学実習	
10月3日	木		
10月4日	金		
10月7日	月		1　組織学実習
10月8日	火		2　組織学実習
10月9日	水	2　組織学実習	
10月10日	木		
10月11日	金		
10月14日	月	祝　　日	祝　　日
10月15日	火		3　組織学実習
10月16日	水	3　組織学実習	
10月17日	木		1　微生物学実習
10月18日	金		
10月21日	月		4　組織学実習
10月22日	火	祝　　日	祝　　日
10月23日	水	4　組織学実習	
10月24日	木		2　微生物学実習
10月25日	金	総合文化祭	総合文化祭
10月28日	月	休　講　日	休　講　日
10月29日	火		5　組織学実習
10月30日	水	5　組織学実習	
10月31日	木		3　微生物学実習
11月1日	金		
11月4日	月	祝　　日	祝　　日
11月5日	火		6　組織学実習
11月6日	水		
11月7日	木		4　微生物学実習
11月8日	金		
11月11日	月		7　組織学実習
11月12日	火		8　組織学実習
11月13日	水	6　組織学実習	
11月14日	木		5　微生物学実習
11月15日	金		
11月18日	月		9　組織学実習
11月19日	火		10　組織学実習
11月20日	水	7　組織学実習	
11月21日	木		6　微生物学実習
11月22日	金		1　神経科学実習
11月25日	月		11　組織学実習
11月26日	火		12　組織学実習
11月27日	水	8　組織学実習	
11月28日	木		7　微生物学実習
11月29日	金		2　神経科学実習
12月2日	月		13　組織学実習

月　日	曜日	1年次	2年次
12月3日	火		14　組織学実習
12月4日	水	9　組織学実習	
12月5日	木		8　微生物学実習
12月6日	金		3　神経科学実習
12月9日	月		15　組織学実習
12月10日	火		16　組織学実習
12月11日	水	10　組織学実習	
12月12日	木		
12月13日	金		4　神経科学実習
12月16日	月		17　組織学実習
12月17日	火		18　組織学実習
12月18日	水	11　組織学実習	
12月19日	木		9　微生物学実習
12月20日	金		5　神経科学実習
12月23日	月		
12月24日	火		1　病理学実習
12月25日	水	12　組織学実習	
1月6日	月		2　病理学実習
1月7日	火		3　病理学実習
1月8日	水	13　組織学実習	
1月9日	木		10　微生物学実習
1月10日	金		
1月13日	月	祝　　日	祝　　日
1月14日	火		4　病理学実習
1月15日	水		
1月16日	木		
1月17日	金	休　講　日	休　講　日
1月20日	月		5　病理学実習
1月21日	火		6　病理学実習
1月22日	水	14　組織学実習	
1月23日	木		
1月24日	金		
1月27日	月		7　病理学実習
1月28日	火		8　病理学実習
1月29日	水	15　組織学実習	
1月30日	木		
1月31日	金		
2月3日	月		9　病理学実習
2月4日	火		10　病理学実習
2月5日	水	16　組織学実習	
2月6日	木		
2月7日	金		

※詳細は各実習のシラバスを確認すること。

事務手続き等について

１．授業料免除

経済的理由により授業料の納入が困難であり，かつ学業成績が優秀と認められた学生については，前期，後期の学期ごとに選考のうえ，その学期に納入すべき授業料の全額又は半額が免除されます。

免除を願い出ようとする学生は，学期ごとの指定する期間内に，所定の書類を提出してください。

なお，必要書類の配付及び出願期間等については，その都度，掲示で案内します。

２．奨学金

経済的理由により，授業料などの支払いが困難な学生を，経済的に援助する制度として，日本学生支援機構の奨学金をはじめ，地方公共団体や民間育英奨学団体の奨学金があります。

これらの奨学金は，いずれも学業・人物ともに優秀でかつ健康である学生に貸与されます。

なお，これらの奨学金制度には，貸与を受けることのできる学生数に一定の制限があるため，必ずしも希望者全員が採用されるものではありません。

奨学金の貸与を希望する学生は，指定された期間内に必要書類を提出してください。必要書類の配付及び出願期間等については，掲示で案内します。

３．各種願出及び届出

（１）修学上関係

提出書類	摘　　要
住　所　届	年度始めの学年ガイダンスで配布，回収します。
改　姓　届	変更があったとき速やかに届け出てください。 戸籍抄本も提出をお願いいたします。
欠　席　届	やむを得ない理由により，欠席するときに届け出てください。
インフルエンザ罹患による欠席届	インフルエンザに罹患した場合蔓延防止のため，発症した後5日を経過し，かつ，解熱した後2日を経過するまでは通学はせず，医療機関を受診するなどして，しっかり療養してください。 インフルエンザが治癒し，通学可能となった後，インフルエンザに罹患したことが証明できる書類（処方薬の説明書など）のコピーを添えて届け出てください。欠席扱いとしない特別な配慮がされます。
忌　引　き　届	親族の死亡に伴い必要と認められる行事のため，授業に出席できない場合は，届け出により忌引きとします。原則として事前にその旨を授業担当教員へ連絡するものとします。 ・親族の範囲：①配偶者，1親等（父母・子）の親族 ②2親等（祖父母・兄弟姉妹等）の親族 ※①②ともに配偶者の親族を含みます。 ・忌引きとなる期間：①休日を含む連続7日の範囲内 ②休日を含む連続3日の範囲内 ※葬儀等のため遠隔地に赴く場合は，往復に要する日数を加えた日数とします。 ・届出：葬儀等の行事を終えた後，速やかに学務担当へ会葬礼状等とともに提出してください。 ・授業の取扱い：欠席とはせずに出席扱いとします。 ただし，実験・実習等については担当教員の指示によるものとします。
追　試　験　願	やむを得ない事情により試験を欠席した場合は，病気・事故等を証明する書類を添えて，当該試験終了後7日以内に届け出てください。届け出があった場合は，教授会の議を経て追試験を行うことがあります。
休　学　願	やむを得ない理由により，引き続き3か月以上出席することができないときに願い出てください。届け出る休学の期間は1年以内とします。

休学期間延長願	特別の事情により引き続き休学の期間を延長したい場合に願い出てください。
復　学　願	休学期間途中で復学しようとするときに願い出てください。
退　学　願	やむを得ない事情により退学しようとするときに願い出てください。
海外渡航届	留学や観光等のために海外渡航の計画がある場合は，出国の5日前までに届け出てください。なお，外務省海外旅行登録「たびレジ」にも登録してください。

（２）授業関係

提出書類等	摘　　要
履修科目の変更	教養教育等において，別途掲示で案内します。
成績通知	期日については，別途掲示で案内します。

４．諸証明書等

証明書類等	摘　　要
在学証明書	自動発行機で発行します。
学割証	
卒業見込証明書	
通学証明書	
成績証明書	必要とする３日前までに，窓口に備えてある証明書交付願に必要事項を記入し願い出てください。
学生証再交付	

※英文証明書の場合は，発行までに10日程度の日数がかかるため，余裕を持って申し込みください。

５．その他

(1)窓口受付期間

月曜日から金曜日まで（休日・祝祭日を除く）

８：３０～１７：００

(2)一般的連絡

学生に対する種々の連絡・通知は，掲示によって行います。

この掲示による連絡・通知は，修学，福利厚生，課外教育等学生生活上非常に大切ですので，見落としのないように，毎日必ず見るように気をつけてください。

(3)個人への連絡

個人への連絡事項について，「住所届」で届け出されている携帯電話，メールアドレス等に直接連絡することもありますので，電話番号等が変更になった場合は速やかに申し出願います。

ただし，届け出の住所・電話番号等は，いかなる照会であっても外部に公表することはありません。

医学部医学科学務グループ学務担当（電話番号 0172-39-5204）

授　業　科　目　一　覧

【平成２１年度～２５年度入学者】

授業科目			単位	年次別単位数 1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後	5 前	5 後	6 前	6 後	備考
専門基礎科目	医学英語Ⅰ		1		1											
	医学英語Ⅱ		1							1						○
	医用統計学		1			1										
	計		3		1	1				1						
専門科目	コア科目	医の原則Ⅰ	1	1												
		医の原則Ⅱ	1			1										
		基礎医学概論	2			2										
		臨床医学概論	2			2										
		地域医療入門	2			2										
		解剖学	4				4									○
		生理学	2				2									○
		生化学	2				2									○
		免疫学	1				1									○
		組織学	1					1								○
		神経科学	1					1								○
		薬理学	3					2	1							○
		病理学	3					2	1							○
		微生物学	3					3								○
		社会医学	2					2								○
		外科学概論	1						1							○
		消化器内科学・外科学Ⅰ	2						2							○
		消化器内科学・外科学Ⅱ	1							1						○
		循環器内科学・外科学Ⅰ	2						2							○
		循環器内科学・外科学Ⅱ	1							1						○
		内分泌・代謝学Ⅰ	2						2							○
		内分泌・代謝学Ⅱ	1							1						○
		血液内科学Ⅰ	1						1							○
		血液内科学Ⅱ	1							1						○
		呼吸器内科学・外科学Ⅰ	1						1							○
		呼吸器内科学・外科学Ⅱ	1							1						○
		感染症学	1						1							○
		臨床免疫学	1							1						○
		神経精神医学Ⅰ	1						1							○
		神経精神医学Ⅱ	1							1						○
		小児科学Ⅰ	1						1							○
		小児科学Ⅱ	1							1						○
		婦人科学	1						1							○
		周産期医学	2							1	1					○
		神経内科学	1							1						○
		腎臓内科学	1							1						○
		症候学	1							1						○
		整形外科学・リハビリテーション医学	2							1	1					○
		麻酔科学・緩和医療学	2							1	1					○
		放射線診断学	1							1						○
		放射線腫瘍学	1								1					○
		臨床腫瘍学	1								1					○
		皮膚科学	1								1					○
		泌尿器科学	1								1					○
		眼科学	1								1					○

		耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1								1					○
		脳神経外科学	1								1					○
		歯科口腔外科学	1								1					○
		形成外科学	1								1					○
		救急・災害医学	1								1					○
		臨床検査医学	1								1					○
		臨床薬理・和漢薬学	1								1					○
		小児外科学	1								1					○
		病理診断学	1								1					○
		法医学	1								1					○
		医療安全学	1								1					○
		地域医療学	1								1					○
		計	78	1		7	9	11	15	15	20					
	演習・実習科目	基礎人体科学演習	4	2	2											
		臨床医学入門	4	2	2											
		臨床実地体験実習	2			2										
		PBL	6			6										
		解剖学実習	3				3									○
		生理学実習	2				2									○
		生化学実習	2				2									○
		組織学実習	1					1								○
		神経科学実習	1					1								○
		薬理学実習	1					1								○
		病理学実習	2					1	1							○
		微生物学実習	1					1								○
		社会医学実習	2					2								○
		臨床実習入門(PreBSL/OSCE)	1								1					○
		臨床実習Ⅰ（学内BSL）	40									40				○
		臨床実習Ⅱ（クリニカルクラークシップ）	12											12		○
		総合教育演習Ⅰ（CBT）	1								1					○
		総合教育演習Ⅱ（総合試験）	1												1	○
		特別教育科目（研究室研修）	3							3						○
		計	89	4	4	8	7	7	1	3	2	40		12	1	
	計		167	5	4	15	16	18	16	18	22	40		12	1	
合計			170	5	5	16	16	18	16	19	22	40		12	1	

備考　○印は，第２年次編入学者が修得しなければならない科目を表す。

授 業 科 目 一 覧

【平成２６年度～３０年度入学者】

授業科目			単位	年次別単位数 1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後	5 前	5 後	6 前	6 後	備考
専門基礎科目	医学英語Ⅰ		1		1											
	医学英語Ⅱ		1				1									○
	医学英語Ⅲ		1						1							○
	医学英語Ⅳ		1							1						○
	医用統計学		1			1										○
	被ばく医療学		1				1									○
	計		6		1	1	2		1	1						
専門科目	コア科目	医の原則	1	1												
		医用システム工学概論	1			1										○
		地域医療入門	1			1										○
		解剖学	4			4										○
		生理学	2			2										○
		生化学	2			2										○
		免疫学	1				1									○
		組織学	1				1									○
		神経科学	1				1									○
		薬理学	3				2	1								○
		病理学	3				2	1								○
		微生物学	3				3									○
		社会医学	2					2								○
		外科学概論	1					1								○
		消化器内科学・外科学Ⅰ	2					2								○
		消化器内科学・外科学Ⅱ	1						1							○
		循環器内科学・外科学Ⅰ	2					2								○
		循環器内科学・外科学Ⅱ	1						1							○
		内分泌・代謝学Ⅰ	2					1	1							○
		内分泌・代謝学Ⅱ	1						1							○
		血液内科学Ⅰ	1							1						○
		血液内科学Ⅱ	1							1						○
		呼吸器内科学・外科学Ⅰ	1					1								○
		呼吸器内科学・外科学Ⅱ	1						1							○
		感染症学	1					1								○
		臨床免疫学	1						1							○
		神経精神医学Ⅰ	1					1								○
		神経精神医学Ⅱ	1						1							○
		小児科学Ⅰ	1					1								○
		小児科学Ⅱ	1						1							○
		婦人科学	1						1							○
		周産期医学	1							1						○
		神経内科学	1						1							○
		腎臓内科学	1						1							○
		症候学	1							1						○
		整形外科学Ⅰ	1						1							○
		整形外科学Ⅱ	1							1						○
		リハビリテーション医学	1								1					○
		麻酔科学・緩和医療学Ⅰ	1						1							○
		麻酔科学・緩和医療学Ⅱ	1							1						○
		放射線診断学	1						1							○
		放射線腫瘍学	1							1						○
		臨床腫瘍学	1							1						○

	皮膚科学	1							1						○
	泌尿器科学	1							1						○
	眼科学	1							1						○
	耳鼻咽喉・頭頚部外科学	1							1						○
	脳神経外科学	1							1						○
	歯科口腔外科学	1							1						○
	形成外科学	1							1						○
	救急・災害医学	1							1						○
	臨床検査医学	1							1						○
	臨床薬理・和漢薬学	1								1					○
	小児外科学	1							1						○
	病理診断学	1								1					○
	法医学	1								1					○
	医療安全学	1							1						○
	計	72	1		10	10	14	14	19	4					
演習・実習科目	基礎人体科学演習	4	2	2											
	臨床医学入門	4	2	2											
	PBL	6								6					○
	解剖学実習	3			3										○
	生理学実習	2			2										○
	生化学実習	2			2										○
	組織学実習	1				1									○
	神経科学実習	1				1									○
	薬理学実習	1					1								○
	病理学実習	2				1	1								○
	微生物学実習	1				1									○
	社会医学実習	2					2								○
	臨床実習入門（演習科目）	10								10					○
	臨床実習Ⅰ（学内BSL）	44									44				○
	臨床実習Ⅱ（クリニカルクラークシップ）	17											17		○
	総合教育演習Ⅰ（CBT）	1								1					○
	総合教育演習Ⅱ	8												8	○
	総合教育演習Ⅲ（総合試験）	1												1	○
	特別教育科目（研究室研修）	3						3							○
	計	113	4	4	7	4	4	3		17	44		17	9	
計		185	5	4	17	14	18	17	19	21	44		17	9	
合計		191	5	5	18	16	18	18	20	21	44		17	9	

備考　○印は，第２年次編入学者が修得しなければならない科目を表す。

授 業 科 目 一 覧

【2019年度以降入学者】

授業科目			単位	年次別単位数 1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後	5 前	5 後	6 前	6 後	備考
専門基礎科目	医学英語Ⅰ		1		1											
	医学英語Ⅱ		1				1									○
	医学英語Ⅲ		1						1							○
	医学英語Ⅳ		1							1						○
	医用統計学		1			1										○
	被ばく医療学		1				1									○
	計		6		1	1	2		1	1						
専門科目	コア科目	医の原則	1	1												
		医用システム工学概論	1		1											
		地域医療入門	1			1										○
		解剖学	4			4										○
		生理学	2			2										○
		生化学	2		2											○
		免疫学	1				1									○
		組織学	1		1											○
		神経科学	1				1									○
		薬理学	3				2	1								○
		病理学	3				3									○
		微生物学	3				3									○
		社会医学	2					2								○
		外科学概論	1					1								○
		消化器内科学・外科学Ⅰ	2					2								○
		消化器内科学・外科学Ⅱ	1						1							○
		循環器内科学・外科学Ⅰ	2					2								○
		循環器内科学・外科学Ⅱ	1						1							○
		内分泌・代謝学Ⅰ	2					1	1							○
		内分泌・代謝学Ⅱ	1						1							○
		血液内科学Ⅰ	1							1						○
		血液内科学Ⅱ	1							1						○
		呼吸器内科学・外科学Ⅰ	1					1								○
		呼吸器内科学・外科学Ⅱ	1						1							○
		感染症学	1					1								○
		臨床免疫学	1						1							○
		神経精神医学Ⅰ	1					1								○
		神経精神医学Ⅱ	1						1							○
		小児科学Ⅰ	1					1								○
		小児科学Ⅱ	1						1							○
		婦人科学	1						1							○
		周産期医学	1							1						○
		神経内科学	1						1							○
		腎臓内科学	1						1							○
		症候学	1							1						○
		整形外科学Ⅰ	1						1							○
		整形外科学Ⅱ	1							1						○
		リハビリテーション医学	1								1					○
		麻酔科学・緩和医療学Ⅰ	1						1							○
		麻酔科学・緩和医療学Ⅱ	1							1						○
		放射線診断学	1						1							○
		放射線腫瘍学	1							1						○
		臨床腫瘍学	1							1						○
		皮膚科学	1							1						○

		泌尿器科学	1							1						○
		眼科学	1							1						○
		耳鼻咽喉・頭頚部外科学	1							1						○
		脳神経外科学	1							1						○
		歯科口腔外科学	1							1						○
		形成外科学	1							1						○
		救急・災害医学	1							1						○
		臨床検査医学	1							1						○
		臨床薬理・和漢薬学	1								1					○
		小児外科学	1							1						○
		病理診断学	1								1					○
		法医学	1							1						○
		医療安全学	1							1						○
		計	72	1	4	7	10	13	14	20	3					
	演習・実習科目	基礎人体科学演習	2	2												
		臨床医学入門	2	2												
		ＰＢＬ	6								6					○
		解剖学実習	3			3										○
		生理学実習	2			2										○
		生化学実習	2			2										○
		組織学実習	1		1											○
		神経科学実習	1				1									○
		薬理学実習	1					1								○
		病理学実習	2					2								○
		微生物学実習	1				1									○
		社会医学実習	2					2								○
		臨床実習入門	10								10					○
		臨床実習Ⅰ	44									44				○
		臨床実習Ⅱ	28											28		○
		総合教育演習Ⅰ	1								1					○
		総合教育演習Ⅱ	1												1	○
		総合教育演習Ⅲ	1												1	○
		特別教育科目（研究室研修）	3						3							○
		計	113	4	1	7	2	5	3		17	44		28	2	
	計		185	5	5	14	12	18	17	20	20	44		28	2	
合計			191	5	6	15	14	18	18	21	20	44		28	2	

備考　○印は，第２年次編入学者が修得しなければならない科目を表す。

《MEMO》

《専門基礎科目》
３～４年次
授　業　計　画

授 業 科 目 名	医学英語Ⅲ	対 象 学 生	3年次
時 間 割 コード	35311	学 期 ・単 位 数	後期・1単位
担 当 代 表 教 員	今泉　忠淳	開講曜日・時限	水3・4

授業としての具体的到達目標

１、英語でプレゼンテーションができる。

授業の概要

１、研究室研修の発表を英語で行う。

授業の内容予定

研究室研修の最終週（２月５日～７日）に、基礎大講堂において、発表会を行い、英語で発表を行う。

成績評価方法及び採点基準

発表会における英語での発表（およびレポート）をもって「医学英語 III」の成績評価を行う。

発表会での英語の発表を 90 点満点、 レポート提出が英文の場合には 10 点満点（計 100 点）とし、

60 点以上を合格とする。

授業形態・授業方法

プレゼンテーションを行う。

オフィスアワー

代表教員：金曜日１６００－１７００、他随時。

授 業 科 目 名	医学英語Ⅳ	対 象 学 生	4年次
時 間 割 コード	31405	学 期 ・単 位 数	前期・1単位
担 当 代 表 教 員	佐々木 賀広	開講曜日・時限	金7・8

授業としての具体的到達目標

1.英文読解に必要な、論理整合性のある思考能力を身につけること。

授業の概要

1.医学科コンピュータ室の端末を用いて、ALC 社の e-learning スーパースタンダードコースを履修する。所定の時間にコンピュータ室に集合し、課題ユニットを学習する。

2.毎回、論述式の小テストを実施する。

モデル・コア・カリキュラム

A-2-1)課題探求・解決能力　A-2-2)学習の在り方　A-7-2)国際医療への貢献

授業の内容予定

ALC 社のスーパースタンダードコースを履修する。

リスニング　unit 21-50 及びアドバンスモード

リーディング　unit 31-50 及びアドバンスモード

ﾚﾍﾞﾙ診断ﾃｽﾄ　４unit

TOIEC テスト演習 10 unit

１.4 月 12 日（金）	ガイダンスおよび e-learning	佐々木 賀広
２.4 月 19 日（金）	e-learning	佐々木 賀広
３.4 月 26 日（金）	e-learning	佐々木 賀広
４.5 月 10 日（金）	e-learning	松坂　方士
５.5 月 16 日（木）	e-learning	松坂　方士

※注意!!5 月 17 日（金）より 5 月 16 日（木）１・２時限に変更

６.5 月 24 日（金）	e-learning	松坂　方士
７.5 月 31 日（金）	e-learning	松坂　方士
８.6 月 7 日（金）	e-learning	松坂　方士
９.6 月 14 日（金）	e-learning	松坂　方士
10.6 月 28 日（金）	e-learning	松坂　方士
11.7 月 5 日（金）	e-learning	佐々木 賀広
12.7 月 11 日（木）	e-learning	佐々木 賀広

※注意!!7 月 12 日（金）より 7 月 11 日（木）１・２時限に変更

13.7 月 19 日（金）	e-learning	佐々木 賀広
14.7 月 26 日（金）	記述式の総合テスト	佐々木 賀広

教材・教科書　ALC 社の e-learning スーパースタンダードコース

成績評価方法及び採点基準

１.課題の総合正答率　0.7

２.小テストの総合評価　0.2

３.総合テストの評価　　0.1 以上の加重平均にて評点する。
授業形態・授業方法 ALC 社のスーパースタンダードコース(e-learning)を履修する。 授業の初め、前回の小テストの解説を行う。 e-learning の履修は遠隔でも可能である。
留意点・予備知識 小テストの回答作成に際し、ネットワーク検索機能は利用しないこと。 毎回、イヤホーンあるいはヘッドホーンを持参すること。
オフィスアワー 佐々木賀広（講義全般に関する事項への対応）：月曜から木曜９：００－１５：００. ※個別の講義に関する事項は担当教員に照会すること.

《専門科目／コア科目》
３～４年次
授　業　計　画

授業科目名	感染症学	対象学生	３年次
時間割コード	31301	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	大門　眞	開講曜日・時限	月３・４

授業としての具体的到達目標

1.　総論は、感染症の概念を理解すること。

2.　感染症の病態や機序、診断に到るまでのプロセス、治療の概要を習得すること。

授業の概要

1.　感染症の病態を理解する。

2.　感染症について、臨床症状、検査、治療の概要を学ぶ。

3.　輸入感染症、耐性菌など最近のトピックスについても概説する。

モデル・コア・カリキュラム

E-2-1)　病態　　E-2-2)　診断・検査・治療の基本

E-2-3)　症候　　E-2-4)　疾患

授業の内容予定

第１回　4 月 8 日（月）（題目：総論、感染症新法、検査と診断）

感染症とはどのような疾患か、感染症新法の内容、感染症一般の検査法と診断法について学ぶ。

呼吸器・感染科　田坂　定智

第２回　4 月 15 日（月）（題目：ウィルス感染症Ⅰ）

臨床的に重要なウィルス疾患に関する、臨床症状、診断、治療などの各論を学ぶ。エンテロウィルス、胃腸炎ウィルス、出血熱性ウィルなど。 内分泌・代謝内科　照井　健

第３回　4 月 22 日（月）（題目：細菌感染症Ⅰ）

臨床的に重要な細菌感染症の各論。グラム陽性球菌・ブドウ球菌とその薬剤耐性化など。内分泌・代謝内科　村上　宏

第４回　5 月 11 日（土）（題目：細菌感染症Ⅱ）

臨床的に重要な細菌感染症の各論。溶血性連鎖球菌、肺炎球菌など。内分泌・代謝内科　村上　宏

第５回　5 月 13 日（月）（題目：細菌感染症Ⅲ）

臨床的に重要な細菌感染症の各論。グラム陰性桿菌と薬剤耐性化。内分泌・代謝内科　村上　宏

第６回　5 月 20 日（月）（題目：ウィルス感染症Ⅱ）

ウィルス感染症の各論。気道ウィルス、発疹性ウィルス、ヘルペスウィルスなど。 内分泌・代謝内科　照井　健

第７回　5 月 27 日（月）（題目：抗菌薬の適正使用）

抗菌薬の使用方法の実際（エンピリックセラピーなど）と代表的な疾患に対する抗菌薬の投与法について学ぶ。

内分泌・代謝内科 柳町　幸

８回　6 月 3 日（月）（題目：細菌感染症Ⅳ）
細菌感染症の各論。腸内細菌や嫌気性菌感染症など。内分泌・代謝内科　村上　宏

第９回　6 月 10 日（月）（題目：真菌感染症）
臨床上遭遇する重要な真菌症（カンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症など）の各論について学ぶ。
呼吸器・感染科　田坂　定智

第１０回　6 月 17 日（月）（題目：マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア感染症）
マイコプラズマ肺炎、ツツガムシ病、Q 熱、オウム病、性感染症など。呼吸器・感染科　田坂　定智

第１１回　6 月 24 日（月）（題目：抗菌化学療法の考え方）
抗菌化学療法の意義、抗菌スペクトラムや PK/PD 理論に基づいた抗菌化学療法の組み立て方について学習する。
呼吸器・感染科　田坂　定智

第１２回　7 月 1 日（月）（題目：症例検討）
日常診療でよく見られる感染症について、診断と治療を考える。内分泌代謝内科　村上　宏

第１３回　7 月 8 日（月）（題目：代表的な小児の感染症とワクチンについて学ぶ）
臨床的に重要な小児感染症の各論について学ぶ。小児科・教育学部　田中　完

第１４回　7 月 22 日（月）（題目：血液感染症・輸血と感染症）
敗血症や輸血に関連した感染症の各論について学ぶ。消化器・血液内科　玉井　佳子

第１５回　7 月 29 日（月）（題目：院内感染症と耐性菌感染症）
院内感染対策の概念と最近問題となっている耐性菌感染症について、その診断と治療法を学ぶ。
呼吸器・感染科　糸賀　正道

準備学習（予習・復習）等の内容
病原性微生物に関する基本的な知識を有することを前提に授業を行う。

教材・教科書
標準微生物学（医学書院）、感染症学（診断と治療社）、内科 8 感染症（医学評論社）、抗菌薬使用のガイドライン（協和企画）、など。

参考文献　同上。必要な文献は、授業の中で提示する。

成績評価方法及び採点基準　学期末に筆記試験を行い、出席状況も考慮して評価する。

授業形態・授業方法　スライド、プリントなどを適宜使用する。

オフィスアワー　村上　宏（シラバス作成者）平日 16:00～17:00

授業科目名	消化器内科学・外科学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	31302	学期・単位数	前期・２単位
担当代表教員	福田　眞作	開講曜日・時限	月５・６

授業としての具体的到達目標

消化管の正常構造と機能を理解し、代表的疾患の診断と治療を理解する。

授業の概要

消化管系の正常構造と機能を理解する。

消化管疾患の診断に有用な検査法の概要とその特徴的所見の解釈。

代表的な消化管疾患の病態生理、およびその診断・治療について理解する。

D-7-1) 構造と機能　　D-7-2) 診断と検査の基本

D-7-3) 症候　　D-7-4) 疾患

授業の内容予定

第１回　４月８日（月）（題目：上部消化管の検査法　）

X 線検査、二重造影、内視鏡検査などの基本と重要な所見について理解する。

三上　達也（光学医療診療部）

第２回　４月 15 日（月）（題目：食道の生理と良性疾患、胃酸分泌機構）

逆流性食道炎をはじめとする食道良性疾患、食道静脈瘤の病態と治療を学ぶ。

胃酸分泌機構と胃酸抑制薬について学ぶ。

珍田大輔（消化器血液内科）

第３回　４月 22 日（月）（題目：食道癌の外科治療１　）

食道癌に対する外科手術と周術期管理について学ぶ。

進行度に応じて的確に治療法選択ができる事を到達目標とする。

和嶋　直紀（つがる総合病院）

第４回　５月 11 日（土）（題目：下部消化管の生理と検査法）

X 線検査、二重造影、内視鏡検査などの基本と重要な所見について学ぶ。

三上　達也（光学医療診療部）

第５回　５月 13 日（月）（題目：食道癌の外科治療２、食道良性疾患の外科治療）

食道癌の集学的治療について学ぶ。

また、癌以外の食道疾患の病態と治療について学ぶ。

食道疾患に対する外科治療の包括的理解を到達目標とする。

和嶋　直紀（つがる総合病院）

第６回　５月 20 日（月）（題目：急性胃炎、胃・十二指腸潰瘍）

アニサキス症、薬剤性消化管障害、消化性潰瘍について

下山　　克（青森県総合健診センター）

第 7 回　5 月 27 日（月）（題目：ピロリ菌感染症、胃癌の疫学・検診）

ピロリ菌感染の臨床と胃癌発生について学ぶ。

胃癌の疫学、リスク分類、肉眼分類について学ぶ。

下山　　克（青森県総合健診センター）

第 8 回　6 月 3 日（月）（題目：胃癌の外科治療）

胃癌に対する外科手術と周術期管理について学ぶ。

進行度に応じて的確に治療法選択ができる事を到達目標とする。

室谷隆裕（消化器外科）

第 9 回　6 月 10 日（月）（題目：その他の上部消化管疾患の外科治療）

胃悪性リンパ腫や GIST に対する外科治療について学ぶ。

腫瘍以外の疾患も含めて、上部消化管疾患に対する外科治療の包括的理解を到達目標とする。

室谷隆裕（消化器外科）

第 10 回　6 月 17 日（月）（題目：小腸の検査法、吸収不良症候群）

吸収不良をきたす疾患の病態と鑑別診断について学ぶ。

高杉　滝夫（つがる総合病院）

第 11 回　6 月 24 日（月）（題目：蛋白漏出性胃腸症、牛乳不耐症）

種々の蛋白漏出をきたす疾患の診断・治療について学ぶ。

高杉　滝夫（つがる総合病院）

第 12 回　7 月 1 日（月）（題目：感染性腸炎）

種々の腸管感染症の病態と治療について学ぶ。

金城　福則（浦添総合病院）

第 13 回　7 月 8 日（月）（題目：腸管憩室、腸結核、虚血性大腸炎、薬剤起因性腸炎）

臨床上重要な大腸炎の臨床について学ぶ。

福田　眞作（消化器血液内科）

第 14 回　7 月 22 日（月）（題目：潰瘍性大腸炎、クローン病）

炎症性腸疾患の診断・病態・内科的治療について学ぶ。

櫻庭裕丈（消化器血液内科）

第 15 回　7 月 29 日（月）（題目：消化器内視鏡学～食道・胃・大腸）

特殊な画像診断、粘膜下層剥離術・拡張術、POEM などの実際について学ぶ。

澤谷　学（消化器血液内科）

第 16 回　8 月 5 日（月）（題目：機能性消化管障害　　） 機能性ディスペプシア、過敏性腸症候群の診断と治療について学ぶ。 佐藤　研（消化器血液内科）
準備学習（予習・復習）等の内容　教科書などによる予習・復習が望ましい
教材・教科書　適宜プリントを配布する。
参考文献 １）内科学書（中山書店、朝倉書店） ２）内科診断学（医学書院）
成績評価方法及び採点基準 学期末に消化器血液内科学講座および消化器外科学講座が、それぞれの担当分について筆記試験を行い、出席状況を考慮して評価する。
授業形態・授業方法　適宜、液晶プロジェクターを使用する。
オフィスアワー　シラバス作成者：シラバス作成者：三上　達也　月、木曜夕方以降（要事前確認 39-5053）

授業科目名	消化器内科学・外科学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	31302	学期・単位数	前期・２単位
担当代表教員	福田　眞作	開講曜日・時限	木５・６

授業としての具体的到達目標

①肝疾患の診断に必要な検査法の概要とその特徴を理解する。

②代表的な肝疾患の診断と治療について理解する。

授業の概要　肝疾患の総論と各論について講義する。

授業の内容予定

第１回.　4 月 11 日（木）（題目：肝の構造と機能）肝臓の解剖・組織と代謝機能

弘前市立病院　坂本十一

第２回.　4 月 18 日（木）（題目：肝機能検査（１））種々の酵素、代謝物の測定意義、画像診断

弘前市立病院　坂本十一

第３回.　4 月 25 日（木）（題目：肝機能検査（２）肝炎ウイルス検査）肝炎ウイルスによる肝障害の客観的評価法

弘前市立病院　坂本十一

第４回.　5 月 9 日（木）（題目：NASH、脂肪肝）脂肪肝の病態と治療　三上健一郎　消化器内科学講座

第５回.　5 月 16 日（木）（題目：薬剤性・アルコール性肝障害）薬剤あるいはアルコールによる肝障害の病態と治療

三上健一郎　消化器内科学講座

第６回.　5 月 23 日（木）（題目： A 型、B 型肝炎）A 型および B 型肝炎ウイルスによる肝炎の臨床

遠藤哲　消化器内科学講座

第７回.　5 月 30 日（木）（題目：原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎、代謝性肝疾患）特殊な慢性肝疾患の臨床

佐藤研　消化器内科学講座

第８回.　6 月 6 日（木）（題目： C 型肝炎、その他の肝炎、劇症肝炎）C 型肝炎ウイルスによる肝炎の臨床

遠藤哲　消化器内科学講座

第９回.　6 月 13 日（木）（題目：肝腫瘍）肝細胞癌の診断と内科的治療と良性肝腫瘍

遠藤哲　消化器内科学講座

第１０回.　6 月 20 日（木）（題目：原発性肝癌の外科治療）肝再生と二重血行支配に基づいた肝臓外科手術の特徴と肝予備能評価法について学ぶ。肝予備能評価に基づいて、適切な肝切除術式を選択できる事を到達目標とする。

袴田健一　消化器外科学講座

第１１回.　6 月 27 日（木）（題目：肝膿瘍、肝感染症、体質性黄疸）おもに感染によっておこる肝疾患の病態と治療
遠藤哲　消化器内科学講座

第１２回.　7 月 4 日（木）（題目：転移性肝癌の外科治療）転移性肝腫瘍に対する外科手術適応について学ぶ。腫瘍因子と患者因子に基づいて、適切な治療法選択ができる。
石戸圭之輔　消化器外科学講座

第１３回.　7 月 11 日（木）（題目：肝移植治療）肝移植の適応疾患と禁忌、脳死・生体肝移植手術と周術期管理について学ぶ。代表的肝疾患に対する肝移植の適応とタイミングについて理解することを到達目標とする。
木村憲央　消化器外科学講座

第１４回.　7 月 18 日（木）（題目：肝硬変の病態と治療）様々な原因による肝硬変の診断と治療
佐藤研　消化器内科学講座

7 月 25 日（木）予備日

8 月 1 日（木）予備日

教材･教科書　プリントを配布する。

成績評価方法及び採点基準
学期末に消化器血液内科学講座、消化器外科学講座が、それぞれの担当分について筆記試験を行い、出席状況を考慮して評価する。

授業形態･授業方法
適宜、液晶プロジェクターを使用する。

オフィスアワー　シラバス作成者：遠藤　哲　月、木曜夕方以降（要事前確認 39-5053）

授業科目名	呼吸器内科学・外科学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	31303	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	田坂　定智	開講曜日・時限	月７・８

授業としての具体的到達目標

1. 各種呼吸器疾患の病理および病態生理を理解すること。

２．各疾患の natural history を理解し、それに基づいた問診ができるようになること。

３．呼吸生理学の知識に基づいて、呼吸機能検査の正確な解釈ができるようになること。

４．各疾患の解剖学的・病理学的知識に基づいて、特徴的な画像診断（特に単純 X 線と X 線 CT）所見を理解すること。

５．提示された病歴、理学所見、検査所見から病態ならびに疾患の診断を行えるようになること。

６．各疾患の治療法の原則を習得すること。

授業の概要

１．各種呼吸器疾患の病理および病態生理を理解すること。

２．各疾患の natural history を理解し、それに基づいた問診ができるようになること。

３．呼吸生理学の知識に基づいて、呼吸機能検査の正確な解釈ができるようになること。

４．各疾患の解剖学的・病理学的知識に基づいて、特徴的な画像診断（特に単純 X 線と X 線 CT）所見を理解すること。

５．提示された病歴、理学所見、検査所見から病態ならびに疾患の診断を行えるようになること。

６．各疾患の治療法の原則を習得すること。

モデル・コア・カリキュラム

D-6 呼吸器系

D-6-1）構造と機能

D-6-2）診断と検査の基本

D-6-3）症候

D-6-4）疾患

F-1 症候・病態からのアプローチ

F-1-13）咳・痰

F-1-14）血痰・喀血

F-1-15）呼吸困難

F-1-16）胸痛

F-2 基本的診療知識

F-2-1）臨床推論

F-2-2）根拠に基づいた医療<EBM>

F-2-3）臨床検査

F-2-4）病理診断

F-2-5）放射線等を用いる診断と治療

F-2-6）内視鏡を用いる診断と治療

授業の内容予定

第１回　4 月 8 日（月）　（題目：呼吸器病学総論１）

呼吸器の解剖，呼吸器疾患患者の特徴的な症状，患者の診察法について学習する　田坂 定智（呼吸器内科学）

第２回　4 月 15 日（月）　（題目：呼吸器外科学総論）

胸部の解剖学的事項、手術手技、術後管理の基本について学習する.　木村 大輔（胸部心臓血管外科学）

第３回　4 月 22 日（月）　（題目：呼吸器病学総論２）

呼吸器疾患に対する検査法（血液ガス，気管支鏡検査）について学習する　田坂 定智（呼吸器内科学）

第４回　5 月 11 日（土）　（題目：呼吸器病学総論３）

呼吸器疾患に対する検査法（肺機能検査など），呼吸器疾患に特徴的な治療法について学習する　田坂 定智（呼吸器内科学）

第５回　5 月 13 日（月）　（題目：胸部写真の読影の基礎　）

胸部単純写真の読影方法，おもなサインなどを学習する.　田坂 定智（呼吸器内科学）

第６回　5 月 20 日（月）　（題目：呼吸器感染症１）

市中肺炎，院内肺炎の診断と治療について学習する.　當麻 景章（呼吸器内科学）

第７回　5 月 27 日（月）　（題目：呼吸器感染症２）

院内肺炎，その他特殊な肺炎の背景、診断と治療について学習する.　當麻 景章（呼吸器内科学）

第８回　6 月 3 日（月）　（題目：結核　）

肺結核の特殊性，診断，治療，最近の知見について学習する.　髙梨 信吾（保健管理センター）

第９回　6 月 10 日（月）　（題目：結核と非結核性抗酸菌症）

肺結核の治療，非結核性抗酸菌症の診断治療について学習する.　髙梨 信吾（保健管理センター）

第 10 回　6 月 17 日（月）　（題目：感染症の外科 ）

炎症性肺疾患、肺感染症、膿胸の外科的治療について学習する.　境　雄大（胸部心臓血管外科学）

第 11 回　6 月 24 日（月）　（題目：肺癌の現況と診断 ）

肺癌の現況，肺癌検診，診断について学習する.　當麻 景章（呼吸器内科学）

第 12 回　7 月 1 日（月）　（題目：肺癌の内科的治療　）

肺癌の内科的治療，抗癌剤，分子標的治療，がん免疫療法，放射線治療について学習する.　前門戸 任（岩手医科大学）

第 13 回　7 月 8 日（月）　　（題目：肺癌の外科治療 ）

肺癌の手術適応、術式、補助療法、成績について学習する.　　對馬 敬夫（胸部心臓血管外科学）

第 14 回　7 月 22 日（月）　　（（題目：気管支喘息１　）

気管支喘息の病態の考え方の変遷，診断，検査について学習する.　　髙梨 信吾（保健管理センター）

第 15 回　7 月 29 日（月）　　（題目：気管支喘息２　）

気管支喘息の治療の考え方，ガイドラインについて学習する.　　髙梨 信吾（保健管理センター）

8 月 5 日（月）　　予備日

準備学習（予習・復習）等の内容

１）呼吸器系は複雑な器官であり、解剖学や生理学などの知識があやふやでは、病態や治療を理解することは難しい。２年生までに学習した内容について、関連する領域を中心に復習しておくことが有用である。

２）授業では、基本的な内容から疾患ごとの各論に進めていくので、とくに総論で扱った内容は随時復習することが望ましい。

３）国家試験で問われるような内容は極力講義に盛り込むように努めているが、理解を深めるためにも成書を通読することを薦める。

教材・教科書

適宜プリント等を配布する

参考文献

①呼吸器病学（医学スーパーラーニングシリーズ）（丸善出版）

②レックナー呼吸器学（丸善出版）

③Textbook of Respiratory Medicine (vol. 1, 2)　Saunders

④呼吸器外科学４版（南山堂）、呼吸器腫瘍外科学（南江堂）、新外科学大系（中山書店）など

成績評価方法及び採点基準

期末試験の成績に加え，出席や授業内テスト等も勘案して総合的に評価する.

授業形態・授業方法

内科：プリントまたは PC プレゼンテーションにより行う.

外科：毎回ハンドアウトを配布する．講義の最後にパワーポイントで症例の写真などを供覧する.

留意点・予備知識

事前配布資料があれば講義前に読んでおくことが望ましい.

講義内容について質問があれば、随時訊いて下さい.

オフィスアワー　担当代表教員：田坂 定智（水曜，金曜の 17:00-18:00）

＊不在のこともあるので、事前に講座受付（内線 5468）で確認を

授業科目名	内分泌・代謝学Ⅰ（内分泌）	対象学生	３年次
時間割コード	31304	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	大門　眞	開講曜日・時限	月９・１０

授業としての具体的到達目標

1.　細胞間情報伝達系の調節機序、ネットワーク機構とその異常について理解すること。

2.　内分泌の各種疾患群の病態生理、診断、治療について理解すること。

授業の概要

1.　ホルモンとは？　内分泌代謝疾患とは？　その概念を理解する。

2.　内分泌疾患の病態生理機構を理解する。

3.　内分泌疾患の診断と治療を理解する。

授業の内容予定

第１回　４月８日（月）　（題目：内分泌代謝学総論、下垂体前葉系の調節機構）

細胞間情報伝達系と内分泌系ネットワークの調節機構を理解する。視床下部―下垂体の調節機構を理解する。

内分泌代謝内科　蔭山和則

第２回　４月15日（月）（題目：下垂体前葉機能低下症）

下垂体機能低下の原因、症候、診断、治療について理解する。　内分泌代謝内科　蔭山和則

第３回　４月22日（月）　（題目：成長ホルモンとIGF-1系）

GH分泌調節、先端巨大症、小人症について理解する。　内分泌代謝内科　蔭山和則

（5月11日（土）は、休講）

第４回　５月13日（月）　（題目：下垂体後葉系）

尿崩症とSIADHについて理解する。　内分泌代謝内科　蔭山和則

第５回　５月20日（月）　（題目：性腺―プロラクチン系）

ゴナドトロピンとプロラクチン分泌異常症について理解する。　内分泌代謝内科　照井　健

第６回　５月27日（月）　（題目：視床下部―下垂体の外科）

間脳・下垂体腫瘍の外科治療について理解する。　脳神経外科　浅野研一郎

第７回　６月３日（月）　（題目：甲状腺機能亢進症）

甲状腺中毒症について理解する。　内分泌代謝内科　高安　忍

第８回　６月10日（月）　（題目：甲状腺機能低下症）

慢性甲状腺炎と破壊性甲状腺炎について理解する。　内分泌代謝内科　高安　忍

第９回　６月17日（月）　（題目：カルシウム―副甲状腺系1）

カルシウム代謝と副甲状腺機能異常について理解する。　内分泌代謝内科　高安　忍

第 10 回　6 月 24 日（月）（題目：カルシウムー副甲状腺系 2）

カルシウム代謝と副甲状腺機能異常について理解する。　内分泌代謝内科　高安　忍

第 11 回　7 月 1 日（月）　（題目：甲状腺・副甲状腺の外科）

甲状腺腫瘍・副甲状腺腫瘍等について理解する。　乳腺・甲状腺外科　西村　顕正

第 12 回　7 月 8 日（月）　（題目：乳腺疾患の病理と基礎医学的背景）

乳腺疾患の診断と治療について理解する。　日本大学医学部腫瘍病理学分野教授　増田しのぶ

第 13 回　7 月 22 日（月）（題目：乳腺疾患の診断と治療）

乳腺疾患の診断と治療について理解する。　乳腺・甲状腺外科　西村　顕正

第 14 回　7 月 29 日（月）　試験予定日　内分泌代謝内科　蔭山和則

第 15 回　8 月 5 日（月）　予備日

準備学習(予習･復習)等の内容

前回の講義内容を理解していないと、次の講義内容は理解できないため、必ず復習して理解しておくこと。

講義時間では、すべての内分泌学を網羅できないため、市販されている図書を参考に関連分野を適宜補足すること。

教材･教科書

講義プリント

William’s Textbook of Endocrinology

成績評価方法及び採点基準

出席状況と試験により総合評価する。

成績は秀、優、良、可、不可の５段階で評定し、不可の場合は単位を付与しない。

授業形態･授業方法　講義形式で、スライド等を使用する。

留意点･予備知識

講義時間では、すべての内分泌学を網羅できないため、市販されている図書を参考に関連分野を適宜補足すること。

遅刻、講義中の私語、携帯電話、メール、飲食は禁止。違反者は退室とする。

オフィスアワー　担当代表教員（シラバス作成者）：蔭山　和則　木曜日 15：00―17：00

授業科目名	循環器内科学・外科学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	31305	学期・単位数	前期・２単位
担当代表教員	富田　泰史	開講曜日・時限	火１・２

授業としての具体的到達目標

1. 循環器系疾患の総合的な医学的知識（内科的、外科的）を学び、その診断・治療を理解する。
2. 循環器系疾患を有する患者に寄り添うことができるように、人間的・科学的観点から循環器系疾患を包括的に理解する。
3. 循環器病学の未解決の課題に取り組むための科学的思考法の基本を学ぶ。

授業の概要

1. 心臓ならびに血管系を含めた循環器疾患について、各疾患ごとに内科、外科の立場から総合的に学ぶ。
2. 解剖学や生理学、薬理学などの基礎的な学問を有機的に結びつけながら、病態を踏まえて循環器疾患を理解し、治療の実際を学ぶ。
3. 症例を提示しながら、実臨床を踏まえての循環器疾患・診療の実際を学ぶ。

モデル・コア・カリキュラム

A-8 科学的探求　　A-8-1）医学研究への志向の涵養

D-5　循環器系　　D-5-1）構造と機能

D-5-2）診断と検査の基本　　D-5-3）症候　　D-5-4）疾患

授業の内容予定

第１回　４月９日（火）（題目：循環器系の構造と機能）

臨床心臓病学への導入として、心臓収縮の生理学を電気生理学と収縮力学の観点より概説する。特に刺激伝導系と興奮収縮連関について理解する。　循環器腎臓内科学　富田 泰史

第２回　４月 16 日（火）（題目：心電図と循環器疾患２（異常心電図１））

心房負荷、心室負荷、心室内伝導障害、電解質異常、薬剤の影響、その他の異常心電図所見と機序について学ぶ。

循環器腎臓内科学　富田 泰史

第３回　４月 23 日（火）（題目：心電図と循環器疾患４（虚血と梗塞１））

虚血性心疾患とは何かを理解し、心筋虚血時の電気的異常、心電図異常について学ぶ。

循環器腎臓内科学　富田 泰史

第４回　５月７日（火）（題目：心電図と循環器疾患６（虚血と梗塞２））

心筋梗塞の心電図変化、合併症等について学ぶ。　循環器腎臓内科学　富田 泰史

第５回　５月 14 日（火）（題目：心電図と循環器疾患８（症例検討））

心電図判読法の実際を学ぶ。　循環器腎臓内科学　富田 泰史

第６回　５月 21 日（火）（題目：心不全１）

心不全の病態：心不全の病態を理解し、その分類を説明できる。　循環器腎臓内科学　佐々木真吾

第 7 回　5 月 28 日（火）（題目：心不全２）
心不全のステージと治療：進行性疾患である心不全の段階的治療について理解する。　循環器腎臓内科学　佐々木真吾

第 8 回　6 月 4 日（火）（題目：心臓の手術）
心臓手術の補助手段を理解する。手術中の管理と術後の管理を病態生理の面から理解する。術後の異常を早期に発見するために必要な知識をうる。　胸部心臓血管外科学　福田 幾夫

第 9 回　6 月 11 日（火）（題目：冠動脈疾患１）
冠動脈の解剖と生理：冠動脈の解剖と特有の血行動態を理解する。　循環器内科　横山 公章

第 10 回　6 月 18 日（火）（題目：冠動脈疾患２）
冠動脈の病態：虚血性心疾患発生のメカニズムを学ぶ。　循環器内科　横山 公章

第 11 回　6 月 25 日（火）（題目：冠動脈疾患３）
狭心症：診断と病態に応じた治療について学ぶ。　循環器内科　横山 公章

第 12 回　7 月 2 日（火）（題目：冠動脈疾患４）
急性冠症候群：分類と急性心筋梗塞の診断について学ぶ。　循環器内科　横山 公章

第 13 回　7 月 9 日（火）（題目：冠動脈疾患５）
急性冠症候群：急性心筋梗塞に対する早期再灌流療法の重要性について学ぶ。　心臓血管病先進治療学　横田 貴志

第 14 回　7 月 16 日（火）（題目：冠動脈疾患６）
心筋梗塞の二次予防：再発予防をエビデンスに基づいて理解する。　心臓血管病先進治療学　横田 貴志

第 15 回　7 月 23 日（火）（題目：虚血性心疾患の外科）－１
虚血性心疾患に対する外科治療の基本原理を理解する。虚血性心疾患術後の管理について理解する。
胸部心臓血管外科学　皆川 正仁

7 月 30 日（火）（題目：予備日　）

授業科目名	循環器内科学・外科学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	31305	学期・単位数	前期・２単位
担当代表教員	富田　泰史	開講曜日・時限	水１・２

授業の内容予定

第１回　４月 10 日（水）（題目：心電図と循環器疾患１（理論と正常心電図））

心臓の興奮伝播と心電図の基礎（理論と 12 誘導心電図の成り立ち）を理解する。 循環器腎臓内科学　富田 泰史

第２回　４月 17 日（水）（題目：心電図と循環器疾患３（不整脈 1））

不整脈の分類、治療について学ぶ。　不整脈先進治療学　木村 正臣

第３回　４月 24 日（水）（題目：心電図と循環器疾患５（不整脈 2））

徐脈性不整脈の診断、治療について学ぶ。　不整脈先進治療学　木村 正臣

第４回　５月８日（水）（題目：心電図と循環器疾患７（不整脈 3））

上室性頻脈の診断、治療について学ぶ。　不整脈先進治療学　木村 正臣

第５回　５月 15 日（水）（題目：心電図と循環器疾患９（不整脈 4））

心房細動の診断、治療について学ぶ。　不整脈先進治療学　木村 正臣

第６回　５月 22 日（水）（題目：心電図と循環器疾患１０（不整脈 5））

心室性頻脈の診断、治療について学ぶ。　不整脈先進治療学　木村 正臣

第７回　５月 29 日（水）（題目：心エコー法）

原理と循環器疾患の診断、最新のテクノロジーについて学ぶ。　脳卒中・血管内科学　山田　雅大

第８回　６月５日（水）（題目：心臓弁膜症１）

大動脈弁疾患の病態生理、理学所見、診断方法、内科的治療等について理解する。　脳卒中・血管内科学　山田　雅大

第９回　６月 12 日（水）（題目：心臓弁膜症２）

僧帽弁疾患の病態生理、理学所見、診断方法、内科的治療等について理解する。　脳卒中・血管内科学　山田　雅大

第 10 回　６月 19 日（水）（題目：心臓弁膜症の外科１）

心臓の基本的解剖を理解する。大動脈弁疾患の病因・病態および治療について理解する。

胸部心臓血管外科学　近藤 慎浩

第 11 回　６月 26 日（水）（題目：心臓弁膜症の外科２）

僧帽弁疾患の病因・病態および治療について理解する。三尖弁疾患の病因・病態および治療について理解する。

胸部心臓血管外科学　近藤 慎浩

第 12 回　7 月 3 日（水）（題目：心筋症・心筋炎）

心筋疾患の病態と臨床像、治療法について学ぶ。　不整脈先進治療学　堀内 大輔

第 13 回　7 月 10 日（水）（題目：心膜疾患）

心膜疾患の病態と臨床像、治療法について学ぶ。　不整脈先進治療学　堀内 大輔

第 14 回　7 月 17 日（水）（題目：不整脈の非薬物療法）

重症不整脈の臨床像と非薬物治療について学ぶ。　循環器腎臓内科学　佐々木 真吾

第 15 回　7 月 24 日（水）（題目：虚血性心疾患の外科）－２

虚血性心疾患に対する外科治療の基本原理を理解する。虚血性心疾患術後の管理について理解する。

胸部心臓血管外科学　皆川 正仁

7 月 31 日（水）（題目：予備日）

教材・教科書

内　科：ステップで判読！心電図ー南江堂

外　科：心疾患の診断と手術-南江堂

他、適宜プリントを配布する。

参考文献　Braunwald’s Heart Disease (Saunders)

成績評価方法及び採点基準

学期末に筆記試験を行う。合格点に達しない場合、再履修の可能性がある。

講義は毎回出席をとる。6 割以上出席すること。6 割未満の出席の場合は学期末試験を受けることができない。

代返は認めない。代返が判明した場合は、関係者は学期末試験を受けることができない。

授業中の録音・録画・撮影は認めない。携帯電話、スマートフォンなどの私的な使用も認めない。

これらが判明した場合は、学期末試験を受けることができない。

授業形態・授業方法　　講義形式

オフィスアワー　　シラバス作成者：富田泰史　39-5057（教室）に確認してください。

授業科目名	薬理学	対象学生	３年次
時間割コード	31306	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	村上　学	開講曜日・時限	火３・４

授業としての具体的到達目標

1. 薬物・毒物の生体への作用について、個体・細胞・分子のレベルにおける作用機序を学ぶ。
2. 的確な薬物療法を行うための薬物動態、薬物相互作用について、基本的な考え方を学ぶ。

授業の概要

1. 薬物とは何か、医学における薬物の重要性について学ぶ。
2. 薬物受容体、薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）に関するモデル、薬物分布について、基本事項を習得する。
3. 各疾患の病態生理に基づく合理的な薬物治療を習得する。

モデル・コア・カリキュラム

C-3-3) 生体と薬物 ねらい:

C-3-3)-(1) 薬理作用の基本

C-3-3)-(2) 薬物の動態

C-3-3)-(3) 薬物の評価

授業の内容予定

第１回　４月９日（火）　中枢神経薬理総論：　薬物作用点としての中枢、神経伝達物質とその受容体

第２回　４月１６日（火）　麻薬性鎮痛薬：　鎮痛の薬理と麻薬性鎮痛薬、内因性オピオイド

第３回　４月２３日（火）　局所麻酔薬：　局所麻酔薬の歴史、プロカイン、リドカイン

第４回　５月７日（火）　全身麻酔薬：　全身麻酔の目的、吸入麻酔薬、静脈麻酔薬

第５回　５月１４日（火）　抗てんかん薬：　中枢神経の異常興奮、その抑制薬の作用機序

第６回　５月２１日（火）　統合失調症治療薬：　陽性症状と陰性症状、ドパミン仮説、セロトニン-ドパミンアンタゴニスト

第７回　５月２８日（火）　抗うつ薬：　うつ病の正しい理解、抗うつ薬（三環系、SSRI）

第８回　６月４日（火）　抗不安薬：　セロトニン、GABA の異常と不安症、抗不安薬

第９回　６月１１日（火）　パーキンソン病・アルツハイマー病：　ドパミン補充療法、中枢性アセチルコリンエステラーゼ阻害薬

第１０回　６月１８日（火）　消化器系治療薬：　消化性潰瘍治療薬（粘膜保護、胃酸分泌抑制）、制吐薬

第１１回　６月２５日（火）　ロールプレイ：　各疾患モデルに関し，患者・医師・薬剤師として考える

第１２回　７月２日（火）　痛風：　尿酸値を下げる薬、尿をアルカリに保つ薬、痛風発作の痛みをコントロールする薬

第１３回　７月９日（火）　リウマチ治療薬：　リウマチとは、鎮痛薬、MTX、抗体治療

第１４回　７月１６日（火）　免疫系作用薬：　免疫抑制剤

第１５回　７月２３日（火）　総括（試験）

準備学習(予習・復習)等の内容

講義内容はもとより、自ら積極的に参考書、問題集などを使用し、主体的に学習する姿勢が求められる。

教材・教科書

1. Principles of Pharmacology: The Pathophysiologic Basis of Drug Therapy, 3rd ed. 2011 (International Edition) Lippincott Williams & Wilkins
2. New 薬理学 改訂第６版 2011 年 田中千賀子、加藤隆一編 南江堂
3. イラストレイテッド薬理学 6 版［リッピンコットシリーズ］丸善株式会社
4. カッツング薬理学　エッセンシャル 丸善株式会社
5. 新しい薬理学　2018 年　西村書店

成績評価方法及び採点基準

１．講義終了後に試験を実施する。

２．１００点満点で６０点をもって合格とし、１単位を取得する。

授業形態・授業方法

１．主としてパワーポイントを使用した授業を行う。

２．授業の理解度を学生、教員の双方で把握するため、各講義で「課題」を課すことがある。授業で扱えなかった発展的内容を、適宜レポート課題とすることがある。課題の提出期限は各教官と適宜決定する。

留意点・予備知識

ノートの整理、復習、質問等により、授業の内容の把握を出来るだけ早いうちに計ること。

オフィスアワー　担当代表教員：村上　学

オフィスアワー（毎週月曜日５時～６時）を設ける。授業後に生じた疑問点などの質問に充てること。この時間帯以外にも都合がつく場合には対応する。

授業科目名	神経精神医学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	31307	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	中村　和彦	開講曜日・時限	水３・４

授業としての具体的到達目標

将来医療に携わるものにとって必要な精神医学の一般的知識を得る。

精神医学が科学であることを理解する。

精神疾患に対する偏見を取り除く。

授業の概要

精神疾患の理解の仕方、精神医学を学ぶための基礎知識としての精神医学総論並びに臨床実習に入る前に必要な、主に精神疾患についての基礎的な授業。

授業の内容予定

第１回　４月１０日（水）

題目：精神医学総論Ⅰ（歴史・概念））

精神医学のこれまでの流れとその背景にある社会との関連、その概念の成立について考える。

神経精神医学講座　中村　和彦

第２回４月１７日（水）

題目：精神医学総論Ⅱ（精神的現症のとらえ方）

様々な神経精神疾患に認められる、精神症状および精神状態について理解し、診断できるようにする。

神経精神医学講座　中村　和彦

第３回　４月２４日（水）

題目：神経精神医学総論Ⅲ（ライフサイクル）

様々な神経精神疾患の背景にある心理学的問題や生活史上問題を理解するためのライフサイクル論を解説する。

神経精神医学講座　斉藤　まなぶ

第４回　５月８日（水）

題目：精神医学総論Ⅳ（診断のための検査Ⅰ）

神経精神医学で用いられる心理検査（知能検査・人格検査）の記録、判読、所見を説明し適切に用いることが出来るようにする。

神経精神医学講座　大里　絢子

第５回　５月１５日（水）

題目：精神医学総論Ⅴ（診断のための検査Ⅱ）

神経精神医学で用いられる脳波検査に加え知能検査、血液検査などについて解説をする。

神経精神医学講座　冨田　哲

第６回　５月２２日（水）

題目：精神医学総論Ⅶ（精神症状の定義と診断面接Ⅰ）

様々な神経精神疾患に認められる、精神症状および精神状態像について理解し、診断できるようにする。
神経精神医学講座　斉藤　まなぶ

第７回　５月２９日（水）
題目：精神医学総論Ⅶ（精神症状の定義と診断面接Ⅱ）
精神科診断面接をふまえた上で、精神症状のとらえ方について理解し、診断できるようにする。
神経精神医学講座　斉藤　まなぶ

第８回　６月５日（水）
題目：統合失調症Ⅰ
統合失調症の症状について、診断学における症状の階層化を試みる。また、経過や予後についても概説する。
神経精神医学講座　中村　和彦

第９回　６月１２日（水）
題目：統合失調症Ⅰ
統合失調症の症状について、診断学における症状の階層化を試みる。また、経過や予後についても概説する。
神経精神医学講座　中村　和彦

第１０回　６月１９日
題目：双極性障害
感情障害に伴う、一般医療への影響を概説。感情障害の診断・治療・病因を理解する。
青森県立中央病院　鈴木　克治

第１１回　６月２６日（水）
題目：気分障害（うつ病）
うつ病の診断・治療・病因を理解する。環境や性格・素因との関係についても解説する。
神経精神医学講座　冨田　哲

第１２回　７月３日（水）
題目：老年期精神障害）
認知症の周辺症状とその対応について。老年期に特徴的にみられる精神障害、妄想症や死別反応の原因・症状・診断・治療を中心に理解する。
神経精神医学講座　冨田　哲

７月１０日（水）
題目：病状精神病（脳器質疾患、身体疾患）
病状精神病の成因・経過・治療法を理解できるようにする。
神経精神医学講座　中村　和彦

第１４回　７月１７日（水） 題目：神経症性障害） 環境や性格・素因が関係して引き起こされる精神障害である心因性精神障害の概念、分類、症状、治療法を理解する。 パニック障害および心的外傷後ストレス障害を中心に概念、分類、症状、治療法を理解し、診断できるようにする。 神経精神医学講座　中村　和彦 第１５回　７月２４日（水） 題目：精神医学のトピックスⅠ：特別講演 学校で自殺が起こる時、予防とポストベンションについて 浜松市精神保健福祉センター　二宮　貴至（中村　和彦）
準備学習（予習・復習）等の内容　　次回の予習ポイントをスライド、レジュメで案内
教材・教科書　　現代臨床精神医学：金原出版　　子どものこころの医学：金芳堂
成績評価方法及び採点基準　　テスト及び授業出席
授業形態・授業方法　　講義形式
留意点・予備知識　　上で記述した教科書を用いた予習が重要である。
オフィスアワー　　講座受付に事前予約をお願いします。 （受付時間　平日９：００～１６：００）　担当代表教員：中村和彦

授業科目名	小児科学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	31308	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	伊藤　悦朗	開講曜日・時限	木３・４

授業としての具体的到達目標

1. 小児の生理的成長・発達とその異常を理解する。
2. 新生児疾患を理解する。
3. 先天性代謝異常・先天異常について学ぶ。
4. 小児の血液疾患・免疫不全・固形腫瘍を学ぶ。

授業の概要

国家試験レベルでの小児学に関する知識を広く習得することを主眼とする。

1. 小児期の特徴（成長、発達等）及びその医学的、保健学的重要性について理解する。
2. 小児疾患の診察法、治療法など総論的事項について理解する。
3. 小児科学の上で重要な疾患の各論新生児疾患を理解する。

モデル・コア・カリキュラム

C-4 病因と病態	C-4-1) 遺伝的多様性と疾患	C-4-3) 代謝障害
D-1 血液・造血器・リンパ系	E-3 腫瘍	E-4 免疫・アレルギー
E-4-3)-(7) 原発性免疫不全	E-7 成長と発達	E-7-1) 胎児・新生児
E-7-2) 乳児	E-7-3) 小児期全般	

授業の内容予定

1. 4月11日（木）（題目：小児科総論・小児保健）　伊藤　悦朗（小児科学講座）

小児科総論としては、小児科学の歴史、目標と領域について理解する。小児保健としては、マススクリーニングや予防接種などについて学ぶ。

2. 4月18日（木）（題目：成長と発達）　照井　君典（小児科学講座）

「成長」を中心に、小児期の発育について、その特徴と評価の仕方について

３．4月25日（木）（題目：小児治療学）　高橋　徹（小児科学講座）

小児の内科的治療について、成人の治療とは異なる部分、治療上重要な「脱水症」と「輸液療法」について

４.5月9日（木）　（題目：新生児疾患１）　網塚　貴介（青森県立中央病院・NICU）

新生児特有の代表的な呼吸・循環器系の疾患について理解を深めてもらう。

５．5月16日（木）（題目：小児栄養）　佐々木　伸也（小児科学講座）

小児の発達生理の特徴からみた栄養の概念を理解し、代表的な小児期の栄養障害について講義する。

６．5月23日（木）（題目：新生児疾患２）　網塚　貴介（青森県立中央病院・NICU）

新生児の感染症や中枢神経疾患について理解を深めてもらう。

７.5月30日（木）（題目：先天性代謝異常１）伊藤　悦朗（小児科学講座）

先天性代謝異常の総論および糖質代謝異常などの診断と病態について学ぶ。

８．6 月 6 日（木）（題目：先天性代謝異常２）　伊藤　悦朗（小児科学講座）
アミノ酸代謝異常などの先天性代謝異常の診断と病態について学ぶ。

９．6 月 13 日（木）（題目：先天異常）　高橋　徹（小児科学講座）
総論として「原因」「小奇形と奇形症候群」。各論として「単一遺伝子疾患」「染色体異常」「環境要因による先天異常」「代表的な先天奇形症候群」。

10. 6 月 20 日（木）（題目：免疫不全）　工藤　耕（小児科学講座）
原発性免疫不全に属する各疾患の病態を知り、代表的な疾患について現時点での液性、細胞性免疫障害の機序、病態をもとに治療法や予後などを考察することができる。

11. 6 月 27 日（木）（題目：小児固形腫瘍）　照井　君典（小児科学講座）
内容：主な小児固形腫瘍の病態、治療法
到達目標：小児がんの成因、病態、診断へのアプローチ法を理解する。

12. 7 月 4 日（木）（題目：小児の貧血１）　伊藤　悦朗（小児科学講座）
小児の栄養性貧血、造血障害による貧血について学ぶ。

13. 7 月 11 日（木）（題目：小児の貧血２）伊藤　悦朗（小児科学講座）
小児の溶血性貧血について学ぶ。

14. 7 月 18 日（木）（題目：小児の造血器腫瘍１）　伊藤　悦朗（小児科学講座）
小児の白血病の分類とその病態を理解する。

15. 7 月 25 日（木）（題目：小児の造血器腫瘍２）　伊藤　悦朗（小児科学講座）
小児の白血病の治療を理解する。小児の悪性リンパ腫、組織球増殖性疾患および血球貪食症候群について学ぶ。

16. 8 月 1 日（木）予備日

教材・教科書
① Nelson Textbook of Pediatrics: Saunders 社。
② 小児科学：標準小児科学：医学書院

成績評価方法及び採点基準　期末試験及び出欠により評価する。

授業形態・授業方法　できるだけ多くのスライド、ビデオ等を用い、分かりやすい講義を行う。

留意点・予備知識
講義の時間が少なく、知識の全てを与えることは不可能である。
授業はあくまで動機づけであり、学生自らが勉強することを主眼とする。

オフィスアワー　担当代表教員：　伊藤　悦朗
講座受付に事前予約をお願いします。（受付時間　平日 9:00～12:00, 13:00～15:00）

授業科目名	外科学概論	対象学生	３年次
時間割コード	31309	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	福田　幾夫	開講曜日・時限	木９・１０

授業としての具体的到達目標

医師として日常臨床に必要な外科的知識の基本を学習する。

授業の概要

医師として日常臨床に必要な外科的知識の基本を学習する。

コア・カリキュラム区分 E-2(3)外科的治療と周術期管理および区分 E-2(5)食事と輸液療法に沿い、到達目標を明らかにして講義をすすめる。

授業の内容予定

第１回　4 月 11 日（木）（題目：外科の歴史と創傷治癒）

到達目標：創の閉鎖・治癒様式を学び、創傷治癒に影響を与える因子を述べることができる。

胸部心臓血管外科　皆川正仁

第２回　4 月 18 日（木）（題目：外科侵襲と生体防御）

到達目標：外科侵襲および感染に対する生体防御反応を血液凝固、免疫応答、内分泌系の側面から学ぶ。

胸部心臓血管外科 皆川正仁

第３回　4 月 25 日（木）（題目：Acute Care Surgery 概論）

到達目標：地域外科医療の中で重要な位置を占める外来小手術と acute care surgery（外傷外科・救急外科・重症患者管理）についての概略を学ぶ。

金子直之（非常勤講師）深谷赤十字病院救命救急センター救急部長

第４回　5 月 9 日（木）（題目：術前の評価、術後管理）

到達目標：手術の危険因子をあげることができる。予想される術後合併症を述べ、これに対する対策を述べることができる。

胸部心臓血管外科 木村大輔

第５回　5 月 16 日（木）（題目：消毒・滅菌法、手術操作の基本）

到達目標：清潔と不潔の区別を述べることができる。基本的外科手術手技および基本的外科処置について学ぶ。

消化器外科 諸橋　一

第６回　5 月 23 日（木）（題目：外科感染症の予防と管理、ショック）

到達目標：外科感染症の予防および術後感染症の治療を学ぶ。周術期の予防的抗生剤投与法の標準的考え方を述べることができる。

消化器外科 石戸圭之輔

第７回　5 月 30 日（木）（題目：栄養と輸液管理の基本）

到達目標：栄養アセスメントや栄養設計など食事を含めた栄養管理全般に関する基礎的知識を学ぶ。

また、周術期管理における輸液管理の基本的概念を学び、この要点を述べることができる。

消化器外科 長瀬勇人

第８回　6 月 6 日（木）　（題目：中心静脈栄養と経腸栄養）

到達目標：周術期管理における中心静脈栄養と経腸栄養の基本的概念を学び、この要点を述べることができる。

消化器外科 吉田枝里

第９回　6 月 13 日（木）（題目：小児静脈・経腸栄養法）

到達目標：小児外科領域の輸液・栄養法の基本的概念を学び、この要点を述べることができる。

小児外科 平林　健

第１０回　6 月 20 日（木）（題目：外科医としてのプロフェッショナリズム：女性外科医の立場から）

到達目標：医師としての職業生活と家庭生活を共に充実させるには、個人・組織・社会としてどのような取り組みが必要なのか。

第一線で活躍する女性外科医より現状を伺いながら、ワークショップ形式で提言作成を目指す。

山内英子（非常勤講師）　聖路加国際病院ブレストセンター長

第１１回　6 月 27 日（木）（題目：整形外科学概論）

到達目標：運動器疾患に関わる解剖、病態、診断について理解を深め、代表的な治療法についてその概略を学ぶ。

整形外科 和田簡一郎

第１２回　7 月 4 日（木）（題目：リハビリテーション医学総論）

到達目標：リハビリテーション医学の歴史、理念および障害に対する考え方を理解し、

代表的なリハビリテーション治療についてその概略を学ぶ。

リハビリテーション科 三浦和知

第１３回　7 月 11 日（木）（題目：臓器移植・人工臓器・再生医療概論）

到達目標：臓器移植と人工臓器の現況、再生医療の現況について学ぶ。

消化器外科 木村憲央

第１４回　7 月 18 日（木）（題目：外科治療のインフォームド･コンセント）

到達目標：手術におけるインフォームド・コンセントの注意点を学ぶ。

胸部心臓血管外科 福田幾夫

7 月 25 日（木）　予備日

準備学習(予習・復習)等の内容	担当教員が指示する。
教材・教科書 標準外科学（医学書院）、Schwartz’s Principles of Surgery(McGraw Hill), Surgery of Infants and Children(Lippencott-Raven)	
参考文献 改訂版老年医学テキスト（メジカルビュー社） 特集在宅医療の現状と課題　日本医師会雑誌　2006;135(8)	
成績評価方法及び採点基準	学期末の筆記試験と出席状況で評価する。
授業形態・授業方法	プリントまたはPCプレゼンテーションを使用する。
留意点・予備知識	自ら学ぶ姿勢を重視する。各講義の到達目標を明示して講義をすすめる。
オフィスアワー　担当教員：皆川正仁 講座受付へ事前に電話でアポイントをとってください （電話番号　0172-39-5074　　受付時間　平日9:00～16:00）	

授業科目名	社会医学	対象学生	３年次
時間割コード	31310	学期・単位数	前期・２単位
担当代表教員	井原　一成	開講曜日・時限	金１～１０

授業としての具体的到達目標

将来医師として社会医学の立場から疾病の予防や健康の維持・増進を考究し、社会に貢献できる能力を身につける。

授業の概要

本講義は、人々が健康な社会生活を営むために何が大切であるかを考えることが基本である。具体的には、我々を取り巻く生活環境や社会生活と健康との関連を分野別に理解し、それを基盤とした予防医学の概念や方法論を学ぶ。

モデルコアカリキュラム

B-1-4　疫学と予防医学　　B-1-5　生活習慣とリスク

B-1-6　社会・環境と健康　　B-1-8　保健・医療・福祉・介護の制度

B-1-9　国際保健

授業の内容予定

第１回　４月 12 日（金）3・4 時限（題目：社会医学概論①）

社会医学の意義および基礎的知識を学ぶ。　井原一成

第２回　４月 19 日（金）3・4 時限（題目：疫学①）

わが国の疫病構造と現状とその要因を学ぶ。　井原一成

第３回　５月 24 日（金）1・2 時限（題目：疫学②（臨床疫学、健診を含む）

疫学の方法論とその応用を学ぶ。井原一成

第４回　５月 24 日（金）3・4 時限（題目：社会と医療①）

青森県の健康づくりの方針と現状を学ぶ。　村下公一

第５回　６月７日（金）1・2 時限　（題目：社会と医療②）

青森県の健康づくりの方針と現状を学ぶ。　村下公一

第６回　６月７日（金）3・4 時限（題目：疫学のトピックス）

世界的な見地からみた最新の疫学的分野の現状を学ぶ。　櫻井裕

第７回　６月 21 日（金）1・2 時限（題目：疫学③（疫学方法論、曝露評価など））

疫学の方法論とその応用を学ぶ。　井原一成

第８回　６月 21 日（金）3・4 時限（題目：地域保健における自殺予防）

わが国の自殺死亡率は他の先進国と比較して高く、自殺対策は重要である。本講義では地域保健・精神保健分野における自殺予防の現場とその具体的例を学ぶ。　金子善博

第 9 回　6 月 28 日（金）3・4 時限（題目：産業保健）
わが国の労働力人口はおよそ 6,500 万人であり、産業従事者の疾病予防や健康増進は重要である。本講義では産業保健に関わる疾病対策や保健指導の現状を学ぶ。　井原一成、徳田糸代

第 10 回　6 月 28 日（金）5・6 時限（題目：母子保健）
母子保健分野における公衆衛生学的な指標や、疾病予防および保健指導の現状を学ぶ。　中村孝裕

第 11 回　7 月 5 日（金）3・4 時限（題目：小児保健・学校保健）
小児保健・学校保健分野における公衆衛生学的な指標や、疾病予防および保健指導の現状を学ぶ。
井原一成、永田和史

第 12 回　7 月 5 日（金）5・6 時限（題目：健康増進医学）
生活習慣病と運動習慣との関わり、および生活習慣病の改善・予防のための運動方法の基礎を学ぶ。
沢田かほり、徳田糸代

第 13 回　7 月 12 日（金）3・4 時限（題目：成人保健・高齢者保健）
成人保健・高齢者保健分野における公衆衛生学的な指標や、疾病予防および保健指導の現状を学ぶ。　井原一成

第 14 回　7 月 12 日（金）5・6 時限（題目：環境保健）
環境保健の考え方を理解し、それに基づいた公衆衛生学的な対策を学ぶ。　渡辺知保

第 15 回　7 月 19 日（金）5・6 時限（題目：感染症・国際保健）
感染症・国際保健（AIDS、結核対策など）の考え方を理解し、それに基づいた公衆衛生学的な対策を学ぶ。　中村孝裕

8 月 2 日（金）予備日

第 16 回　テスト（※日程の詳細は教員との話し合いで調整する）　井原一成、沢田かほり

教材・教科書　『医療職のための公衆衛生・社会医学』

成績評価方法及び採点基準
講義への出席状況及び期末試験の成績により評価する。

授業形態・授業方法
◇各種媒体を利用し、講義を主体とする。

留意点・予備知識
講義中に指示した課題等については、指示された期間内に提出すること。

オフィスアワー　担当代表教員：井原一成
金曜日 15:00～17:00　※ただし、事前に受付にて予約すること。

授業科目名	呼吸器内科学・外科学Ⅱ	対象学生	３年次
時間割コード	35301	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	田坂　定智	開講曜日・時限	月1・2

授業としての具体的到達目標

1. 各種呼吸器疾患の病理および病態生理を理解すること。
2. 各疾患の natural history を理解し、それに基づいた問診ができるようになること。
3. 呼吸生理学の知識に基づいて、呼吸機能検査の正確な解釈ができるようになること。
4. 各疾患の解剖学的・病理学的知識に基づいて、特徴的な画像診断（特に単純 X 線と X 線 CT）所見を理解すること。
5. 提示された病歴、理学所見、検査所見から病態ならびに疾患の診断を行えるようになること。
6. 各疾患の治療法の原則を習得すること。

授業の概要

1. 各種呼吸器疾患の病理および病態生理を理解すること。
2. 各疾患の natural history を理解し、それに基づいた問診ができるようになること。
3. 呼吸生理学の知識に基づいて、呼吸機能検査の正確な解釈ができるようになること。
4. 各疾患の解剖学的・病理学的知識に基づいて、特徴的な画像診断（特に単純 X 線と X 線 CT）所見を理解すること。
5. 提示された病歴、理学所見、検査所見から病態ならびに疾患の診断を行えるようになること。
6. 各疾患の治療法の原則を習得すること。

モデル・コア・カリキュラム

D-6 呼吸器系

D-6-1）構造と機能

D-6-2）診断と検査の基本

D-6-3）症候

D-6-4）疾患

F-1 症候・病態からのアプローチ

F-1-13）咳・痰

F-1-14）血痰・喀血

F-1-15）呼吸困難

F-1-16）胸痛

F-2 基本的診療知識

F-2-1）臨床推論

F-2-2）根拠に基づいた医療<EBM>

F-2-3）臨床検査

F-2-4）病理診断

F-2-5）放射線等を用いる診断と治療

F-2-6）内視鏡を用いる診断と治療

授業の内容予定

第1回　10 月　7 日（月）（題目：慢性閉塞性肺疾患１　）

肺気腫，慢性気管支炎そしてCOPDへの変遷，病態について学習する．　　髙梨　信吾（保健管理センター）

第2回　10 月 21 日（月）（題目：慢性閉塞性肺疾患２　）

COPDの診断と治療，ガイドライン，さらにびまん性汎細気管支炎などの類縁疾患について学習する．

髙梨　信吾（保健管理センター）

第3回　10 月 29 日（火）（題目：間質性肺疾患１　　）

びまん性肺疾患の考え方，特発性間質性肺炎の病態と診断，治療について学習する．　　田坂　定智（呼吸器内科学）

第4回　11 月　6 日（水）（題目：間質性肺疾患２　　）

膠原病肺，サルコイドーシス等のびまん性肺疾患の病態と診断，治療について学習する．　田坂　定智（呼吸器内科学）

第5回　11 月 11 日（月）（題目：良性腫瘍・転移性肺腫瘍）

良性肺腫瘍，転移性肺腫瘍の特徴と診断，治療について学習する．　　境　雄大（胸部心臓血管外科学）

第6回　11 月 18 日（月）（題目：アレルギー性肺疾患と血管炎）

過敏性肺炎，好酸球性肺炎、ABPM、血管炎の診断と治療について学習する．　　田坂　定智（呼吸器内科学）

第7回　11 月 25 日（月）（題目：職業性，医原性の肺疾患）

じん肺などの職業性肺疾患や放射線，薬剤に起因する肺疾患の診断，治療について学習する．　田坂　定智（呼吸器内科学）

第8回　12 月　2 日（月）（題目：呼吸不全　）

ARDS などの急性呼吸不全や慢性呼吸不全の病態，評価，管理について学習する．　田坂　定智（呼吸器内科学）

第9回　12 月　9 日（月）（題目：肺循環障害と稀少呼吸器疾患　）

肺血栓塞栓症などの肺循環障害および稀な呼吸器疾患であるリンパ脈管筋腫症，肺胞蛋白症などについて学習する．

田坂　定智（呼吸器内科学）

第 10 回　12 月 16 日（月）（題目：呼吸調節の異常　）

睡眠時無呼吸症候群をはじめとする呼吸調節の異常について学習する．　田坂　定智（呼吸器内科学）

第 11 回　12 月 23 日（月）（題目：縦隔疾患１　）

縦隔の解剖や縦隔疾患の総論的事項について学習する．

對馬　敬夫（胸部心臓血管外科学）

第 12 回　1 月 6 日（月）（題目：縦隔疾患２　）

縦隔腫瘍、重症筋無力症や各種縦隔疾患の診断・治療について学習する.　　對馬　敬夫（胸部心臓血管外科学）

第 13 回　1 月 15 日（水）（題目：胸膜疾患　）

胸水の評価方法や，気胸，胸膜炎，中皮腫の診断と治療について学習する.　　田坂　定智（呼吸器内科学）

第 14 回　1 月 20 日（月）（題目：胸壁の外科　）

胸膜疾患や胸壁疾患の外科的治療について学習する.

木村　大輔（胸部心臓血管外科学）

第 15 回　1 月 27 日（月）（題目：症例検討　　）

田坂　定智（呼吸器内科学）

2 月 3 日（月）（題目：予備日　　）

準備学習（予習・復習）等の内容

1）呼吸器系は複雑な器官であり、解剖学や生理学などの知識があやふやでは、病態や治療を理解することは難しい。2年生までに学習した内容について、関連する領域を中心に復習しておくことが有用である。

2）授業では、基本的な内容から疾患ごとの各論に進めていくので、とくに総論で扱った内容は随時復習することが望ましい。

3）国家試験で問われるような内容は極力講義に盛り込むように努めているが、理解を深めるためにも成書を通読することを薦める。

教材・教科書　　適宜プリント等を配布する

参考文献

① 呼吸器病学（医学スーパーラーニングシリーズ）（丸善出版）

② レックナー呼吸器学（丸善出版）

③ Textbook of Respiratory Medicine (vol. 1, 2)　Saunders

④ 呼吸器外科学4版（南山堂）、呼吸器腫瘍外科学（南江堂）、新外科学大系（中山書店）など

成績評価方法及び採点基準　　期末試験の成績に加え，出席や授業内テスト等も勘案して総合的に評価する.

授業形態・授業方法

内科：プリントまたは PC プレゼンテーションにより行う.

外科：毎回ハンドアウトを配布する. 講義の最後にパワーポイントで症例の写真などを供覧する.

留意点・予備知識

事前配布資料があれば講義前に読んでおくことが望ましい.

講義内容について質問があれば、随時訊いて下さい.

オフィスアワー　　担当代表教員：田坂　定智（水曜，金曜の 17:00-18:00）

＊不在のこともあるので、事前に講座受付（内線 5468）で確認を

授業科目名	消化器内科学・外科学Ⅱ	対象学生	３年次
時間割コード	35302	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	福田　眞作	開講曜日・時限	月３・４

授業としての具体的到達目標

① 下部消化管の構造と機能、下部消化管疾患の診断と外科的治療について理解できる。

② 胆道・膵疾患の診断に有用な検査法の概要とその特徴的所見を解釈できる。

③ 胆道・膵疾患の病態生理、およびその診断・治療について理解できる。

授業の概要　下部消化管疾患（外科系）と胆道・膵疾患の総論と各論について講義する。

授業の内容予定

第１回.　10 月 7 日（月）（題目：大腸の構造と機能、肛門疾患の外科治療）大腸の発生、解剖、機能、さらに痔核、裂肛、直腸肛門脱などの肛門疾患について診断法と治療法を学ぶ。特に大腸疾患における直腸診の重要性を理解し、自ら実施できることを到達目標とする。

袴田健一　消化器外科学講座

第２回.　10 月 21 日（月）（題目：急性虫垂炎・腸閉塞・腸間膜動脈閉塞症）下部消化管の Common disease について、診断と治療法を学ぶ。研修医として初期診療に携わることの多いこれらの疾患について、的確に診断できることを到達目標とする。　三浦卓也　消化器外科学講座

第３回.　10 月 29 日（火）（題目：炎症性腸疾患の外科治療）クローン病、潰瘍性大腸炎、その他の代表的非腫瘍性腸疾患の外科治療について学ぶ。病態別手術適応と術式について理解することを到達目標とする。

諸橋一　消化器外科学講座

第４回.　11 月 6 日（水）（題目：小腸腫瘍・大腸ポリープ・ポリポージス）大腸ポリープ・ポリポージス、その他の腫瘍性疾患について病態と手術適応、術式について学ぶ。遺伝性疾患に対する対応への理解も到達目標に加える。

坂本義之　消化器外科学講座

第５回.　11 月 11 日（月）（題目：大腸癌の外科治療）急増する大腸癌の診断と治療について包括的に理解を深める。大腸癌の生物学的特性、大腸癌手術の原則と種々の術式の適応について述べることができることを到達目標とする。　坂本義之　消化器外科学講座

第６回.　11 月 18 日（月）（題目：大腸癌の集学的治療、低侵襲治療）大腸癌に対する内視鏡治療、腹腔鏡手術、ロボット手術などの低侵襲治療の適応と問題点について学ぶ。また、進行大腸癌に対する化学療法と手術療法による集学的治療について学ぶ。各ステージ別に適切な治療選択ができることを到達目標とする。

諸橋一　消化器外科学講座

第７回.　11 月 25 日（月）（題目：腹膜・腹壁疾患）急性汎発性腹膜炎の原因と病態、癌性腹膜炎（腹膜播種）の原因と管理法、ソケイヘルニア、大腿ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニアなどの腹壁疾患に対する基本術式について学ぶ。いずれも common disease であり、診断と管理について十分理解することを到達目標とする。

三浦卓也　消化器外科学講座

第８回.　12 月 2 日（月）（題目：胆道および膵の形態・機能と検査法）胆汁の分泌、膵外分泌機能とその評価法、胆膵の検査と画像診断法
遠藤哲　消化器内科学講座

第９回.　12 月 9 日（月）（題目：急性膵炎、慢性膵炎）膵炎の病態と診断および内科的治療
遠藤哲　消化器内科学講座

第１０回.　12 月 16 日（月）（題目：消化器内視鏡学～胆膵領域の治療内視鏡）乳頭切開術、砕石術、胆道ドレナージ術、ステント留置術の適応と実際について学ぶ。
澤田直也　消化器内科学講座

第１１回.　12 月 23 日（月）（題目：胆石症・急性胆道炎の治療、閉塞性黄疸の治療）胆石の局在に応じた病態、診断、治療の違いを学ぶ。特に急性閉塞性化膿性胆管炎の病態と初期治療、閉塞黄疸に対する種々の胆道ドレナージ法について理解することを到達目標とする。
袴田健一　消化器外科学講座

第１２回.　1 月 6 日（月）（題目：胆道癌の外科治療）胆道癌の治療アルゴリズムを理解する。胆道癌に対する手術術式ならびに集学的治療法を適切に選択できることを到達目標とする。
木村憲央　消化器外科学講座

第１３回.　1 月 15 日（水）（題目：膵癌の外科治療（嚢胞性膵腫瘍を含む））通常型膵癌の診断、手術適応、手術術式、化学放射線治療の意義につて学ぶ。また、IPMN, MCN などの嚢胞性膵腫瘍の概念について学ぶ。病態別に適切な治療法選択ができることを到達目標とする。
石戸圭之輔　消化器外科学講座

第１４回.　1 月 20 日（月）（題目：急性・慢性膵炎の外科治療、膵内分泌腫瘍の外科治療）重症急性膵炎と慢性膵炎に対する手術適応と種々の手術術式を学ぶ。また、膵神経内分泌腫瘍の特徴と手術術式について学ぶ。
石戸圭之輔　消化器外科学講座

1 月 27 日（月）予備日
2 月 3 日（月）予備日

教材・教科書　プリントを配布する。

成績評価方法及び採点基準
学期末に消化器血液内科学講座および消化器外科学講座が、それぞれの担当分について筆記試験を行い、出席状況を考慮して評価する。

授業形態・授業方法　講義形式

オフィスアワー　シラバス作成者：遠藤　哲　月、木曜夕方以降（要事前確認 39-5053）

授業科目名	循環器内科学・外科学Ⅱ	対象学生	３年次
時間割コード	35303	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	富田　泰史	開講曜日・時限	月５・６

授業としての具体的到達目標

1. 循環器系疾患の総合的な医学的知識（内科的、外科的）を学び、その診断・治療を理解する。
2. 循環器系疾患を有する患者に寄り添うことができるように、人間的・科学的観点から循環器系疾患を包括的に理解する。
3. 循環器病学の未解決の課題に取り組むための科学的思考法の基本を学ぶ。

授業の概要

1. 心臓ならびに血管系を含めた循環器疾患について、各疾患ごとに内科、外科の立場から総合的に学ぶ。
2. 解剖学や生理学、薬理学などの基礎的な学問を有機的に結びつけながら、病態を踏まえて循環器疾患を理解し、治療の実際を学ぶ。
3. 症例を提示しながら、実臨床を踏まえての循環器疾患・診療の実際を学ぶ。

モデル・コア・カリキュラム

A-8 科学的探求　　A-8-1）医学研究への志向の涵養

D-5　循環器系　　D-5-1）構造と機能　　D-5-2）診断と検査の基本

D-5-3）症候　　D-5-4）疾患

授業の内容予定

第１回　10 月 7 日（月）（題目：高血圧１）

血圧調節機構を学習し、本態性高血圧の病態生理について理解する。　循環器腎臓内科学　富田 泰史

第２回　10 月 21 日（月）（題目：高血圧２）

血圧調節機構を学習し、高血圧の診断方法、治療、合併症について理解する。　循環器腎臓内科学　富田 泰史

第３回　10 月 29 日（火）（題目：高血圧性臓器障害としての脳卒中）

高血圧は脳卒中発症に関する最も重要な危険因子である。脳卒中の分類、病態生理、診断方法、内科治療について理解する。　弘前脳卒中・リハビリテーションセンター　目時 典文

第４回　11 月 6 日（水）（題目：高血圧３）

二次性高血圧の分類、病態生理、診断方法、治療法について理解する。　循環器腎臓内科学　富田 泰史

第５回　11 月 11 日（月）（題目：大動脈疾患）

急性並びに慢性大動脈疾患の病態生理、診断方法、内科治療について理解する。　心臓血管病先進治療学　横田 貴志

第６回　11 月 18 日（月）（題目：肺高血圧症）

肺高血圧症の病態生理、分類、診断方法、内科治療について理解する。　心臓血管病先進治療学　横田 貴志

第７回　11 月 25 日（月）（題目：胸部大動脈瘤１）

胸部大動脈瘤の成因を理解する。動脈硬化性大動脈瘤の手術適応を理解する。最新の治療を含めた外科治療法の知識を

得る。　　胸部心臓血管外科学　福田 幾夫

第 8 回　12 月 2 日（月）（題目：胸部大動脈瘤２）
胸部大動脈瘤の成因を理解する。動脈硬化性大動脈瘤の手術適応を理解する。最新の治療を含めた外科治療法の知識を得る。　胸部心臓血管外科学　福田 幾夫

第 9 回　12 月 9 日（月）（題目：動脈瘤（腹部大動脈瘤、末梢動脈））
動脈瘤の病態、診断、および外科治療について理解する。　胸部心臓血管外科学　近藤 慎浩

第 10 回　12 月 16 日（月）（題目：動脈閉塞疾患）
慢性および急性の動脈閉塞疾患についてその病態、診断、治療について理解する。　弘前中央病院　谷口 哲

第 11 回　12 月 23 日（月）（題目：静脈疾患）
深部静脈血栓症と肺塞栓症を関連する一連の疾患群としてとらえ、その予防および治療について学ぶ。下大静脈疾患の概略を理解する。下肢静脈瘤（Varicose Vein）の診断と治療について学ぶ。　村上新町病院　福田 和歌子

第 12 回　1 月 6 日（月）（題目：先天性心疾患の外科１）
先天性心疾患外科治療の基礎（手技、人工心肺）単純奇形の手術について学ぶ（PDA、ASD、VSD）。　胸部心臓血管外科学　福田幾夫

第 13 回　1 月 15 日（水）（題目：先天性心疾患の外科２）
複雑心奇形（TOF、ECD、TGA、TAPVP）の手術について学ぶ。　胸部心臓血管外科学　福田幾夫

第 14 回　1 月 20 日（月）（題目：先天性心疾患の外科３）
複雑心奇形（単心室、その他）、成人先天性心疾患の手術について学ぶ。　胸部心臓血管外科学　福田幾夫
1 月 27 日（月）（題目：予備日）
2 月 3 日（月）（題目：予備日）

教材・教科書
内　科：Braunwald’s Heart Disease (Saunders)　外　科：心疾患の診断と手術-南江堂
他、適宜プリントを配布する。

成績評価方法及び採点基準
学期末に筆記試験を行う。合格点に達しない場合、再履修の可能性がある。
講義は毎回出席をとる。6 割以上出席すること。6 割未満の出席の場合は学期末試験を受けることができない。
代返は認めない。代返が判明した場合は、関係者は学期末試験を受けることができない。
授業中の録音・録画・撮影は認めない。携帯電話、スマートフォンなどの私的な使用も認めない。
これらが判明した場合は、学期末試験を受けることができない。

授業形態・授業方法　講義形式

オフィスアワー　シラバス作成者：富田泰史　39-5057（教室）に確認してください

授業科目名	麻酔科学・緩和医療学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	35304	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	廣田　和美	開講曜日・時限	月７・８

授業としての具体的到達目標

1. 麻酔科学・緩和医療学Ⅰでは、主に周術期管理学と急性痛、慢性痛の疼痛管理学並びに緩和医療学の概念を理解することで、麻酔科学・緩和医療学への洞察を深化させる。
2. 診療の基本となるバイタルサインの取り方並びにその意義を理解させることで、医師として必要な基礎を習得させる。
3. 科学的観点から、周術期の合併症の本態並びに機序を理解させ、その治療並びに予防方法を学ぶ。

授業の概要

1. バイタルサイン、特に手術患者の原疾患並びに患者の高血圧、糖尿病、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患など合併症や気道確保に必要な術前評価方法とその意義を理解する。
2. 麻酔物(麻酔薬、局所麻酔薬等)の薬理について学習する。
3. 周術期の合併症について、発生原因並びにその機序について学ぶ。
4. 硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、末梢神経ブロックなどの区域麻酔について学習する。
5. 急性痛、慢性痛の管理並びに緩和医療の概念並びに管理法に関して学習する。

モデル・コア・カリキュラム

F-2-9) 外科的治療と周術期管理　　F-2-10) 麻酔　　F-2-16) 緩和ケア

授業の内容予定

第１回　10 月 7 日（月）（題目：臨床麻酔総論）　麻酔科学とは何かを理解する。全身麻酔機序を理解する。
担当教員：麻酔科学講座　廣田和美

第２回　10 月 21 日（月）（題目：術前評価と気道確保）　術前評価、気道確保について学ぶ。
担当教員：麻酔科学講座　廣田和美

第３回　10 月 29 日（火）（題目：麻酔薬の薬理、バイタルサイン、周術期の体温管理）　麻酔薬の薬理、基本的バイタルサイン、周術期の体温管理について学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　廣田和美

第４回　11 月 6 日（水）（題目：周術期の合併症）　周術期合併症を列挙し、概説できる。
担当教員：麻酔科学講座　北山眞任

第５回　11 月 11 日（月）（題目：痛みの治療総論）　痛みのメカニズム､痛みの分類、下行性疼痛抑制系、薬物療法、神経ブロック療法を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　木村太

第６回　11 月 18 日（月）（題目：慢性疼痛管理 1）　慢性痛の成因、神経障害性疼痛への対処について学ぶ。
担当教員：麻酔科学講座　木村太

第７回　11 月 25 日（月）（題目：慢性疼痛管理 2）　慢性痛を呈する代表的な疾患とその治療を学ぶ。
担当教員：麻酔科学講座　木村太

第８回　12 月 2 日（月）（題目：急性疼痛管理）　急性痛の疼痛管理、術後痛の成因と対処について学ぶ。
担当教員：麻酔科学講座　木村太

第９回　12 月 9 日（月）（題目：局所麻酔の基礎）　局所麻酔薬の作用機序、局所麻酔の合併症について学ぶ。
担当教員：麻酔科学講座　北山眞任

第 10 回　12 月 16 日（月）（題目：局所麻酔の臨床）　各種局所麻酔法：脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、末梢神経ブロックなど実際と理論を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　北山眞任

第 11 回　12 月 23 日（月）（題目:がん疼痛の治療 1）　がん性疼痛、がん治療による副作用の特徴を学ぶ。
担当教員：麻酔科学講座　工藤隆司

第 12 回　1 月 6 日（月）（題目:がん疼痛の治療 2）　WHO 方式薬物療法、がん性疼痛治療に用いられる薬剤の特徴を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　工藤隆司

第 13 回　1 月 15 日（水）（題目：緩和医療と緩和ケア 1）　緩和医療・緩和ケアとは、全人的な痛みとそのケア、スピリチュアルペインの概念を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　工藤隆司

第 14 回　1 月 20 日（月）（題目：緩和医療と緩和ケア 2）　緩和医療・緩和ケアとは、全人的な痛みとそのケア、スピリチュアルペインの概念を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　工藤隆司

第 15 回　1 月 27 日（月）18：00-19：00（題目：総合演習［期末試験を含む］）　学んできたことの知識の総チェックを行い、知識の固定化を図る。　担当教員：麻酔科学講座　廣田和美、北山眞任、木村太、工藤隆司
2 月 3 日（月）　予備日

準備学習（予習・復習）等の内容
1. 予習をしてくることが望ましい。
2. 講義で十分に網羅出来ない事項は、教科書を参考に適宜補足すること。

教材・教科書　各授業で配布するプリントを用いる

参考文献
臨床麻酔科学（改訂版）：文光堂ー松木明知、石原弘規編、ミラー麻酔科学：MEDSi、標準麻酔科学：医学書院など

成績評価方法及び採点基準　期末試験で評価する。授業への参加度も評価の対象とする。

授業形態・授業方法　パワーポイントを用いた通常の講義形態である。

留意点・予備知識　1. 予習をしてくることが望ましい。
2. 講義で十分に網羅出来ない事項は、教科書を参考に適宜補足すること。

オフィスアワー　各担当教員の授業終了後 30 分程度

授業科目名	内分泌・代謝学Ⅰ（内分泌）	対象学生	３年次
時間割コード	35305	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	大門　眞	開講曜日・時限	月９・１０

授業としての具体的到達目標

1.　細胞間情報伝達系の調節機序、ネットワーク機構とその異常について理解すること。

2.　内分泌の各種疾患群の病態生理、診断、治療について理解すること。

授業の概要

1.　ホルモンとは？　内分泌代謝疾患とは？　その概念を理解する。

2.　内分泌疾患の病態生理機構を理解する。

3.　内分泌疾患の診断と治療を理解する。

授業の内容予定

第１回　10 月 7 日（月）　（題目：視床下部・下垂体・副腎系：機能低下症）

副腎皮質機能低下症について理解する。　つがる総合病院　二川原　健

第２回　10 月 21 日（月）　（題目：視床下部・下垂体・副腎系：機能亢進症）

クッシング症候群について理解する。　つがる総合病院　二川原　健

第３回　10 月 29 日（火）　（題目：副腎髄質と多発性内分泌腺腫症）

褐色細胞腫と MEN について理解する。　内分泌代謝内科　照井　健

第４回　11 月 6 日（水）　（題目：レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系）

アルドステロン症について理解する。　内分泌代謝内科　照井　健

第５回　11 月 11 日（月）　（題目：内分泌検査）

内分泌疾患の検査所見と負荷試験。　内分泌代謝内科　蔭山和則

第６回　11 月 18 日（月）　（題目：高血圧・電解質異常と内分泌疾患）

内分泌性電解質異常と二次性高血圧症について理解する。　内分泌代謝内科　照井　健

第７回　11 月 25 日（月）　（題目：受容体異常症・異所性ホルモン産生腫瘍）

内分泌疾患の受容体異常症・異所性ホルモン産生腫瘍。　内分泌代謝内科　照井　健

第８回　12 月 2 日（月）　（題目：身体所見）

内分泌疾患の身体所見について理解する。　内分泌代謝内科　照井　健

第９回　12 月 9 日（月）　（題目：問題解決型診断法　１）

（下垂体機能）病歴から診断までのプロセスを理解する。　内分泌代謝内科　蔭山和則

第 10 回　12 月 16 日（月）　（題目：問題解決型診断法　2 ）
（下垂体腫瘍）病歴から診断までのプロセスを理解する。　内分泌代謝内科　蔭山和則

第 11 回　12 月 23 日（月）　（題目：問題解決型診断法　3 ）
（PA/高血圧）病歴から診断までのプロセスを理解する。　内分泌代謝内科　照井　健

第 12 回　1 月 6 日（月）　題目：問題解決型診断法　４ ）
（クッシング）病歴から診断までのプロセスを理解する。　内分泌代謝内科　高安　忍

第 13 回　1 月 15 日（水）　（題目：問題解決型診断法　５ ）
（甲状腺/副甲状腺）病歴から診断までのプロセスを理解　内分泌代謝内科　高安　忍

第 14 回　1 月 20 日（月）　予備日

第 15 回　1 月 27 日（月）　試験予定日　内分泌代謝内科　蔭山和則

第 16 回　2 月 3 日（月）　予備日

準備学習（予習・復習）等の内容

前回の講義内容を理解していないと、次の講義内容は理解できないため、必ず復習して理解しておくこと。
講義時間では、すべての内分泌学を網羅できないため、市販されている図書を参考に関連分野を適宜補足すること。

教材・教科書　講義プリント
William’s Textbook of Endocrinology

成績評価方法及び採点基準

出席状況と試験により総合評価する。
成績は秀、優、良、可、不可の５段階で評定し、不可の場合は単位を付与しない。

授業形態・授業方法　講義形式で、スライド等を使用する。

留意点・予備知識

講義時間では、すべての内分泌学を網羅できないため、市販されている図書を参考に関連分野を適宜補足すること。
遅刻、講義中の私語、携帯電話、メール、飲食は禁止。違反者は退室とする。

オフィスアワー　担当代表教員（シラバス作成者）：蔭山　和則　木曜日 15：00－17：00

授業科目名	婦人科学	対象学生	３年次
時間割コード	35306	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	横山　良仁	開講曜日・時限	火１・２

授業としての具体的到達目標

1. 女性に特有な疾患について、その発生メカニズム、病態、診断法、治療法について理解を深める。
2. 骨盤内解剖を理解する
3. 産婦人科の徴候を理解する

授業の概要

1 思春期、性成熟期、更年期、老年期における特有の疾患をエストロゲンとの関連で理解する。

2 性周期、性分化を理解する

3 性感染症、炎症性疾患を理解する

4 婦人科腫瘍学、病理、診断、治療の理解

5 女性医学、更年期疾患、ホルモン補充療法、下部尿路障害の理解

モデル・コア・カリキュラム

D-9 生殖機能

D-9-1) 構造と機能

D-9-2) 診断と検査の基本

D-9-3) 症候

D-9-4) 疾患

授業の内容予定

第１回１０月　１日（火）題目：女性性器の臨床解剖学　横山良仁

第２回１０月　８日（火）題目：産婦人科の症候とその診断学　横山良仁

第３回１０月１５日（火）題目：性周期の調節とその異常、受胎調節　福原理恵

第４回１１月　５日（火）題目：炎症性疾患、性感染症　樋口　毅

第５回１１月１２日（火）題目：女性医学　更年期症候群　　樋口　毅

第６回１１月１９日（火）題目：ホルモン療法、女性下部尿路障害　樋口　毅

第７回１１月２６日（火）題目：子宮筋腫、類腫瘍　二神真行

第８回１２月　３日（火）題目：外陰癌、膣癌、絨毛性疾患　二神真行

第９回１２月１０日（火）題目：子宮頸癌の病理・診断と治療　横山良仁

第１０回１２月１７日（火）題目：子宮体癌の病理・診断と治療　横山良仁

第１１回１２月２４日（火）題目：卵巣腫瘍の病理・診断と治療１　横山良仁

第１２回　１月　７日（火）題目：卵巣腫瘍の病理・診断と治療２　横山良仁

第１３回　１月１４日（火）題目：思春期・性分化とその異常　福原理恵

第１４回　１月２１日（火）題目：不妊症・不育症の病理と治療　福原理恵

第１５回　１月２８日（火）題目：婦人科手術その他　横山良仁

第１６回　２月　４日（火）題目：試験日

準備学習（予習・復習）等の内容 女性に関する骨盤解剖、内分泌学、病理学など基礎医学を復習しておくこと。
教材・教科書 病気がみえるシリーズ　MEDIC MEDIA 教材は講義時に配布する
参考文献　　図書館に常備してある産婦人科関連の教科書
成績評価方法及び採点基準 担当教員によっては小テスト、出席を取ることがある。成績評価は試験結果、出席状況により総合的に判断し、その結果一定以上の得点を取ったものに単位が与えられる。
授業形態・授業方法　　講義形式。スライドとハンドアウトを併用する。
留意点・予備知識 1　講義は婦人科腫瘍学、生殖内分泌学、女性医学の専門医が行うオムニバス方式をとる。教員によっては、小テストを行うことがある。出席も取ることがある。 2　講義に臨むに当たり基礎医学を復習しておくこと
オフィスアワー　　担当教員：月曜から金曜日夕方以降（要事前確認３９－５１０７）

授業科目名	腎臓内科学	対象学生	３年次
時間割コード	35307	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	大山　力	開講曜日・時限	火３・４

授業としての具体的到達目標

1. 腎臓の構造と機能を理解し、その検査法を学ぶ。
2. 腎臓病の分類を理解し、各種腎疾患について学ぶ。
3. 小児腎臓病について、理解する。

授業の概要

1. 臨床腎臓病学を理解するために必要な知識を整理し腎臓の構造と機能、それらについての検査法を学ぶ。
2. 腎臓病の分類を理解して、各種腎疾患、全身疾患の伴う腎疾患について詳細に学ぶ。
3. 小児腎臓病学について、総論から各論までを詳細に学ぶ。

モデル・コア・カリキュラム

D-8-1）構造と機能　　D-8-2）診断と検査の基本

D-8-3）症候　　D-8-4）疾患

授業の内容予定

第１回　10 月 1 日（火）（題目：腎の構造と機能）臨床腎臓病学を理解するために必要な解剖・生理について復習し、体液の組成とその調節機序を中心に腎の構造と機能について学ぶ。　腎臓内科　藤田　雄

第２回　10 月 8 日（火）（題目：尿と腎機能検査）腎臓病の診断の基本となる尿検査および腎機能検査について、ベッドサイドで必要な知識を修得する。　腎臓内科　藤田　雄

第３回　10 月 15 日（火）（題目：糸球体腎炎の分類と発症機序）腎臓内科の診断の global standard である腎生検の基本を理解し、糸球体腎炎を中心に腎疾患の発症機序と治療の概要について学ぶ。　腎臓内科　藤田　雄

第４回　11 月 5 日（火）（題目：ネフローゼ症候群）ネフローゼ症候群の診断基準、症状、病態生理、治療法について学ぶ。　腎臓内科　島田美智子

第５回　11 月 12 日（火）（題目：急性糸球体腎炎、急速進行性腎炎）急性糸球体腎炎ならびに急速進行性腎炎の原因、症状、診断、病態生理、治療法について学ぶ。　腎臓内科　島田美智子

第６回　11 月 19 日（火）（題目：慢性糸球体腎炎）慢性糸球体腎炎の原因、症状、診断、病態生理、治療法について学ぶ。　腎臓内科　島田美智子

第７回　11 月 26 日（火）（題目：全身性疾患と腎病変）膠原病や糖尿病など全身性疾患における腎病変の症状、診断、治療法について学ぶ。　腎臓内科　中村典雄（地域医療学講座）

第８回　12 月 3 日（火）（題目：遺伝性腎炎、腎硬化症、尿細管性アシドーシス）遺伝性腎炎、腎硬化症、尿細管性アシドーシスの症状、診断、治療法について学ぶ。　腎臓内科　中村典雄（地域医療学講座）

第９回　12 月 10 日（火）（題目：腎盂腎炎およびその他の尿細管間質性腎炎）腎盂腎炎、急性尿細管間質性腎炎など、代表的な尿細管間質の疾患の診断と治療について学ぶ。　腎臓内科　中村典雄（地域医療学講座）

第１０回　12 月 17 日（火）（題目：急性腎障害）急性腎障害の病態、診断と治療について学ぶ。
腎臓内科　村上礼一

第１１回　12 月 24 日（火）（題目：慢性腎不全）慢性腎不全の病態、診断と治療について学ぶ。
腎臓内科　村上礼一

第１２回　1 月 7 日（火）（題目：血液浄化療法）腎臓内科領域における特殊治療である血液浄化療法について学ぶ。
腎臓内科　村上礼一

第１３回　1 月 14 日（火）（題目：小児にみられる腎糸球体疾患Ⅰ．）小児糸球体疾患総論（血尿・蛋白尿の発症機序、腎生検 etc.）、ネフローゼ症候群（微小変化型、巣状糸球体硬化症、先天性ネフローゼ症候群の各論）。
小児科学　田中　完

第１４回　1 月 21 日（火）（題目：小児にみられる腎糸球体疾患Ⅱ．）小児の糸球体腎炎症候群（溶連菌感染後糸球体腎炎、IgA 腎症、膜性腎症、膜性増殖性糸球体腎炎、ループス腎炎、紫斑病性腎炎、アルポート症候群、良性家族性血尿などの各論）。　小児科学　田中　完

第１５回　1 月 28 日（火）（題目：小児期の腎不全その他）小児の急性・慢性腎不全・末期腎不全についての総論・各論（溶血性尿毒症症候群 etc.）。　小児科学　津川浩二

2 月 4 日（火）　予備日

準備学習（予習・復習）等の内容
予め講義テキストに目を通しておくことが望ましい。

理解を助けるために講義テキスト、パワーポイント、動画等を用いる。講義内容の要約はできるだけプリントにする。

参考文献　図書館または講座図書室の教科書、雑誌を適宜参考にすれば十分である。

成績評価方法及び採点基準　最終講義時間の筆記試験による。
腎臓内科・小児科および泌尿器科に分けて出題し、総合評価する。

授業形態・授業方法　全て講義を行う。なお講義者は分担する。

留意点・予備知識　腎、泌尿器系の解剖を前もって理解していれば講義がわかりやすい。

オフィスアワー　担当代表教員：大山　力　　シラバス作成者：中村　典雄
講座受付に事前予約をして下さい。（受付時間：平日 9：30～16：00）

授業科目名	整形外科学Ⅰ	対象学生	３年次
時間割コード	35308	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	石橋　恭之	開講曜日・時限	火５・６

授業としての具体的到達目標

１．整形外科は脊髄・脊椎から四肢のあらゆる運動器疾患を取り扱う臨床医学であり、その治療の主たる目標は機能的回復にあることを理解する。

２．整形外科で取り扱う対象疾患が、下記のようにきわめて広範囲に及ぶということを理解する。

・先天性疾患

・労働災害・交通事故などによる外傷疾患

・スポーツによる障害・外傷、炎症性疾患

・退行変性疾患

・腫瘍性疾患

・肢体不自由児の療育を含む小児整形外科疾患

３．整形外科疾患を理解する上で重要な、運動器の解剖を学ぶ。

４．整形外科診断学・治療学、外傷の初期対応に関し、総論的に学ぶ。

授業の概要

・運動器疾患における筋・骨・関節の基礎を学ぶ。

・整形外科領域の診察の流れ・診断のポイントを理解する。

・下肢の診察の流れ・診断のポイントを理解する。

・運動器に対する薬物治療を理解する。

・脊椎・上肢の診察の流れ・診断のポイントを理解する。

・整形外科における治療方法を総論的に学ぶ。

・外傷の初期治療・骨折脱臼の治療の基本を理解する。

・代表的上・下肢骨折の治療法などを理解する。

・運動器の治療に用いられるリハビリテーションを総論的に学ぶ。

・四肢再建における現状につき理解する。

・四肢に発生する骨・軟部腫瘍の診断における注意点、及び現時点での最先端の治療方法を理解する。

・各種骨・軟部腫瘍の診断・治療につき学ぶ。

授業の内容予定

題目と講師は、変更になる場合があります。

第 1 回　10 月 1 日（火）（題目：運動器系の基礎と解剖）石橋 恭之

第 2 回　10 月 8 日（火）（題目：整形外科的診察と診断総論・画像診断総論）石橋 恭之

第 3 回　10 月 15 日（火）（題目：整形外科的診察と診断、検査; 下肢）石橋 恭之

第 4 回　11 月 5 日（火）（題目：整形外科の治療; 薬物療法）山本 祐司

第 5 回　11 月 12 日（火）（題目：未定）講師未定

第 6 回　11 月 19 日（火）（題目：整形外科的診察と診断・検査; 脊椎・上肢）石橋 恭之

第 7 回　11 月 26 日（火）（題目：整形外科の治療; 総論）石橋 恭之

第 8 回　12 月 3 日（火）（題目：外傷の治療 1;総論・プライマリケア）石橋 恭之

第 9 回　12 月 10 日（火）（題目：外傷の治療 2;上肢・下肢骨折）石橋 恭之

第 10 回　12 月 17 日（火）（題目：運動器リハビリテーション）山本 祐司

第 11 回　12 月 24 日（火）（題目：未定）講師未定

第 12 回　1 月 7 日（火）（題目：骨・軟部腫瘍；総論）大鹿 周佐

第 13 回　1 月 14 日（火）（題目：骨・軟部腫瘍；各論）大鹿 周佐

第 14 回　1 月 21 日（火）（題目：期末試験と振り返り）石橋 恭之

第 15 回　1 月 28 日（火）予備日

第 16 回　2 月 4 日（火）予備日

準備学習（予習・復習）等の内容

四肢・脊椎/脊髄の機能解剖を十分理解しておくことが望ましい。

教材・教科書　ハンドアウト、スライド、ビデオ

参考文献　標準整形外科学 第 13 版 （医学書院）

成績評価方法及び採点基準

筆記試験の成績、レポート及び授業への参加度の合計点にて評価する。

授業形態・授業方法　講義形式で、ハンドアウト、スライド、ビデオを併用する。

留意点・予備知識　講義スライドの画像やビデオ撮影は原則禁止とする。

オフィスアワー　担当代表教員：手術・外来・病棟業務がありますので、担当教官にその都度確認下さい。

授業科目名	内分泌・代謝学Ⅱ	対象学生	３年次
時間割コード	35309	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	大門　眞	開講曜日・時限	火７・８

授業としての具体的到達目標

１．内分泌代謝学の基礎となる、細胞間情報伝達系の調節機序とネットワーク機構を理解する。

２．科学的な観点から、各種内分泌代謝疾患を、機序、病態の面から理解する。

３．疾患の病態生理を理解した上で、いかに診断するかを学び、病態の改善を目指したた治療を理解する。合わせて、患者さんの生活の質を健常人と変わらぬものとする、あるいは、健常人と変わらぬ寿命の確保に繋がる治療が重要な事を理解する。

授業の概要

1.　人体の恒常性の維持に内分泌代謝系がどの様に関与しているか理解する。

2.　内分泌代謝系の異常がどの様に種々疾患病態に関与するのかをを理解し、現在の治療法の意義と、これからの発展性について理解する。

3. 代謝疾患として有病率が高く、社会的にも重要な疾患と位置づけられている糖尿病に関しては、その意義、治療目標、方法等、をより詳細に理解する。

4. いくつかの治療法が進んできた希少疾患に関しても、その進歩含めてより詳細に理解する。

５。疾患と遺伝要因との関連を理解する。

モデル・コア・カリキュラム

D-12　内分泌・栄養・代謝系　　D-12-1）構造と機能

D-12-2）診断と検査の基本　　D-12-3）症候

D-12-4）疾患

E-1　遺伝医療・ゲノム医療　　E-1-1）遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性

授業の内容予定

第１回　10 月 1 日（火）（題目：低血糖）

低血糖をきたす疾患について理解し、その鑑別診断、治療法について学ぶ。　　丹藤 雄介　（保健学科）

第２回　10 月 8 日（火）（題目：消化管ホルモンと産生腫瘍）

消化管ホルモンについて種類と作用を理解し、臨床的に重要な各ホルモン産生腫瘍について学ぶ。

丹藤 雄介　（保健学科）

第３回　　10 月 15 日（火）（題目：消化吸収と臨床栄養）

消化吸収のメカニズムを理解し、その異常の診断、治療法を学ぶ。臨床における栄養状態の評価法を学ぶ。

丹藤 雄介（保健学科）

第４回　11 月 5 日（火）（題目：臨床栄養学（1）：人体栄養アセスメントと治療学プランニング）

栄養評価方法とそれにもとづいた栄養療法のプランニング方法を学ぶ。　　柳町　幸（内分泌代謝内科）

第５回　11 月 12 日　（火）（題目：臨床栄養学（2）：栄養障害の管理と治療）

栄養障害に対する栄養療法の管理と実践方法を学ぶ。　柳町　幸　（内分泌代謝内科）

第６回　11 月 19 日（火）　（題目：糖尿病総論）
糖代謝のメカニズムを理解すると共に、糖尿病とはどの様な疾患かを学ぶ。 大門　眞　（内分泌代謝内科）

第７回　11 月 26 日（火）　（題目：糖尿病の分類、成因、診断）
糖尿病の種々の成因を理解し、その成因に基づく分類、診断基準、診断法について学ぶ。
大門　眞　（内分泌代謝内科）

第８回　12 月 3 日（火）　（題目：糖尿病合併症（1））
糖尿病合併症について、その成因、症候、診断、治療法を学ぶ。　　大門　眞（内分泌代謝内科）

第９回　12 月 10 日（火）　（題目：糖尿病合併症（2））
糖尿病合併症について、その成因、症候、診断、治療法を学ぶ。　　大門　眞（内分泌代謝内科）

第 10 回　12 月 17 日　（火）（題目：糖尿病合併症（3））
糖尿病合併症について、その成因、症候、診断、治療法を学ぶ。　　大門　眞（内分泌代謝内科）

第 11 回　12 月 24 日（火）（題目：糖尿病の治療（1））
糖尿病の治療法（食事、運動、薬物療法）について、その機序と具体的な方法を学ぶ。 大門　眞（内分泌代謝内科）

第１２回 1 月 7 日（火）　（題目：糖尿病の治療（2））
糖尿病の治療法（インスリン療法）について、その機序と具体的な方法、妊娠糖尿病を学ぶ。
大門　眞（内分泌代謝内科）

第 13 回　1 月 14 日（火）　（題目：脂質代謝異常）
臨床的に問題となる脂質代謝異常について理解し、その分類、診断、治療薬の作用、種類とその適応について学ぶ。　村上　宏（内分泌代謝内科）

第 14 回　1 月 21 日（火）　（題目：核酸代謝異常と高尿酸血症）
核酸代謝を理解し、高尿酸血症の分類、診断と治療について学ぶ。　　村上　宏（内分泌代謝内科）

第 15 回　1 月 28 日（火）　（題目：糖原病）
グリコーゲン代謝を理解し、糖原病の分類と診断について学ぶ。　　村上　宏（内分泌代謝内科）

第 16 回　2 月 4 日（火）　期末試験と振り返り。　　大門　眞（内分泌代謝内科）

準備学習（予習・復習）等の内容

１）内分泌代謝学で教える、生命維持、調和のとれた生体活動の調整の機構を理解する為に、予め清書に目を通しておく事が有用。

２）授業では、基本的な内容から理解を深めるように積み上げ方式で講義を進めるので、復習し、過去の内容を念頭に置いて次の事業に臨める事が望ましい。 ３）内分泌代謝学の内容は豊富なので、とても授業では説明しきれない。コアな部分は確実に講義に盛り込むが、その周辺、あるいは、興味を持った部分のの理解を深めるためにも講義の資料に依存するのではなく、清書を購入し参照する事を薦める。
教材･教科書 授業中に適時プリントを配布する。参考文献欄に記載した書籍を含む、種々の書籍を参照してください。
参考文献 内科学（朝倉書店）、イヤーノート内科・外科編（メデックメデイア）、糖尿病治療ガイド（文光堂）、科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン（南江堂）、脂質異常症治療ガイド（日本動脈硬化学会）、臨床栄養学（南山堂）、静脈経腸栄養ガイドライン（照林社）、など。
成績評価方法及び採点基準 学期末に筆記試験を行い、授業への参加も考慮して評価する。
授業形態･授業方法　　スライドとプリントに基づいた授業を行う
留意点･予備知識　　内分泌・代謝に関する基本的な生化学、生理学の知識を有することを前提に授業を行う。
オフィスアワー　　担当代表教員：火　午後４時～６時
その他 医学の分野は日々進んでいる。ただ覚えるのではなく、その病態、機序を理解する事が重要で、それが有れば　日々の変化の理由が理解でき、翻って、確実な記憶にも繋がる。

授業科目名	放射線診断学	対象学生	３年次
時間割コード	35310	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	青木　昌彦	開講曜日・時限	火９・１０

授業としての具体的到達目標

１．各種放射線診断法の基礎と特徴、長所と短所を理解すること。

２．各人体部位、各臓器、各疾患に於ける各種診断法の選択を理解すること。

３．各臓器、各疾患における各種診断法の所見を理解し、他の臨床情報と統合して行われる放射線診断の有用性を理解すること。

授業の概要

１．各種放射線診断法の特徴、長所と短所の解説

２．各人体部位、各臓器、各疾患に於ける各種診断法の利点と欠点、使い分けの解説

３．各臓器、各疾患における各種診断法の所見を提示し、他の臨床情報と統合して行われる放射線診断の有用性を解説

D-1～D-15）人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療

E-1～E-9）全身に及ぶ生理的変化、病態、診断、治療

F-2-5）放射線等を用いる診断と治療

F-2-7）超音波を用いる診断と治療

授業の内容予定

第１回.　10 月 1 日（火）　（題目：画像診断学総論）

放射線診断の基礎、各種画像診断法の概要・特徴　　小野修一

第２回.　10 月 8 日（火）　（題目：画像診断の基礎・Xp・CT・MRI）

Xp・CT・MRI 画像の成り立ちと読影 小野修一

第３回. 10 月 15 日（火）　（題目：IVR）

IVR(画像下治療)について 対馬史泰

第４回. 11 月 5 日（火）　（題目：頭部）

中枢神経系の画像診断　　対馬史泰

第５回. 11 月 12 日（火）　（題目：頭頚部）

頭頚部の画像診断　　掛端伸也

第６回. 11 月 19 日（火）　（題目：胸部 1）

肺・縦隔の腫瘍性疾患の画像診断　小野修一

第７回. 11 月 26 日（火）　（題目：胸部 2）

肺の炎症・血管性疾患等の画像診断　　小野修一

第８回. 12 月 3 日（火）　（題目：心臓・大血管）
心大血管疾患の画像診断　小野修一

第９回. 12 月 10 日（火）　（題目：腹部）
肝胆膵など腹部の画像診断　小野修一

第 10 回. 12 月 17 日（火）　（題目：腎尿路系・後腹膜）
腎・尿路・膀胱・副腎後腹膜の画像診断　小野修一

第 11 回. 12 月 24 日（火）　（題目：男性・女性生殖器）
男性：前立腺・精巣　女性：子宮・卵巣などの画像診断　小野修一

第 12 回. 1 月 7 日（火）　（題目：骨軟部）
骨・軟部組織の画像診断　三浦弘行

第 13 回. 1 月 14 日（火）　（題目：核医学 I）
一般核医学と PET について 1　三浦弘行

第 14 回. 1 月 21 日（火）　（題目：核医学 II）
一般核医学と PET について 2　三浦弘行

1 月 28 日（火）　試験
2 月 4 日（火）　予備日

準備学習（予習・復習）等の内容

1. 放射線診断学は放射線腫瘍学と密接な関係にあるため、4 年次前期の放射線腫瘍学の講義の前に、十分に理解、習得すること。
2. 講義で十分に網羅できない事項は、教科書あるいは関連する講義を参考に適宜補足して内容を習得すること。

教材・教科書

標準放射線医学　医学書院　スクワイヤ放射線診断学　羊土社

成績評価方法及び採点基準

講義は毎回出席をとり、7 割以上の回数を出席すること。代理出席は認めない。成績評価は、試験結果、出席状況により総合判定し、その結果一定以上の得点をとったものに単位が与えられる。

授業形態・授業方法　PowerPoint による講義と講義資料配付

留意点・予備知識　近年の放射線診断学の進歩はめざましく、教科書では不十分のところもあり、講義で理解を深めること。

オフィスアワー　週日 8:30～17:00（放射線部読影室に担当教員誰か最低一名は居る予定）

授業科目名	臨床免疫学	対象学生	３年次
時間割コード	35312	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	福田　眞作	開講曜日・時限	木１・２

授業としての具体的到達目標

1. 膠原病と自己免疫疾患の病態生理を理解し、その種類を列挙できる。
2. 発熱、関節炎、皮疹の鑑別ができる。
3. 自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。

授業の概要

免疫異常に伴う疾患は、発熱・皮疹・関節炎などの主要な症候を呈し多臓器に病変を認めることから、その診断には全身を網羅する症候学が必要とされる分野である。

一方、近年の分子生物学的手法を用いた病態解明により、特定の分子を標的とした治療が行われ、疾患の予後が大きく変わりつつある。

免疫異常に基づく疾患について、基本的な症候論と標的分子による病態の解説、治療法についてとりあげる。

モデル・コア・カリキュラム

E-4 免疫・アレルギー　　E-4-1) 診断と検査の基本

E-4-2) 症候　　E-4-3) 病態と疾患

授業の内容予定

１．10 月 3 日（木）（題目：膠原病総論Ⅰ）

膠原病の概念と分類に対する理解を深める。

２．10 月 10 日（木）（題目：膠原病総論Ⅱ）

膠原病の概念と分類に対する理解を深める。

櫻庭裕丈（消化器血液内科）

３．10 月 17 日（木）（題目：関節リウマチⅠ）

診断法、治療法、生物学的製剤について習得する。

４．10 月 24 日（木）（題目：関節リウマチⅡ）

診断法、治療法、生物学的製剤について習得する。

５．10 月 31 日（木）（題目：Felty 症候群，成人発症 Still 病，RF 陰性脊椎関節症）

リウマチ性疾患の鑑別診断を含め類縁疾患について学ぶ。

金澤　洋（青森県立中央病院）

６．11 月 7 日（木）（題目：全身性エリテマトーデスⅠ）

概念と主要症候、分類基準、治療法について習得する。

７．11 月 14 日（木）（題目：全身性エリテマトーデスⅡ）

治療法、免疫抑制剤、生物製剤、ステロイドについて学ぶ。

８．11 月 28 日（木）（題目：全身性硬化症、CREST 症候群、ベーチェット病）
それぞれの疾患の病態、診断、治療法について学ぶ。

９．12 月 5 日（木）（題目：炎症性腸疾患）
クローン病・潰瘍性大腸炎に代表する粘膜免疫異常の病因・病態・生物学的製剤について学ぶ。
石黒　陽（国立弘前病院）

１０．12 月 12 日(木)（題目：血管炎症候群Ⅰ）
概念と主要症候、検査法、治療法について習得する。

１１．12 月 19 日（木）　（題目：血管炎症候群Ⅱ）
概念と主要症候、検査法、治療法について習得する。
平賀寛人（消化器血液内科）

１２．1 月 9 日（木）（題目：シェーグレン症候群、自己免疫性疾患診断学）
概念と主要症候、検査法、治療法について習得する。
櫻庭裕丈（消化器血液内科）

１３．1 月 30 日（木）（題目：MCTD, overlap 症候群, 抗アミノアシル tRNA 合成酵素抗体症候群）
概念と主要症候、分類基準、治療法について習得する。
櫻庭裕丈（消化器血液内科）

準備学習(予習・復習)等の内容
ケーススタディあり
臨床症状・データから、疾患を予測し鑑別疾患を挙げる。

教材・教科書
①Text book of Rheumatology
②Dubois’ Lupus Erythematosis
③膠原病診療ノート

成績評価方法及び採点基準
学期末に筆記試験を行い、出席状況も考慮して評価する。

授業形態・授業方法　PC、ハンドアウト使用。

留意点・予備知識　病態、症候学、診断、治療の順に進めていくため、前回授業の内容を復習して授業に臨むこと。

オフィスアワー　シラバス作成者：櫻庭裕丈
月～水曜夕方以降（要事前確認 39-5053）

授業科目名	神経精神医学Ⅱ	対象学生	３年次
時間割コード	35313	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	中村　和彦	開講曜日・時限	木３・４

授業としての具体的到達目標

将来医療に携わるものにとって必要な精神医学の一般的知識を得る。

精神医学が科学であることを理解する。

精神疾患に対する偏見を取り除く。

授業の概要

児童精神医学などの専門的な精神医学分野や精神科の治療法について学ぶ。

精神科医療の現状を理解し、精神医療が多義にわたり社会との関連に基づき成り立つことを学ぶ。

授業の内容予定

第１回　１０月３日（木）

題目：児童期の精神障害Ⅰ（発達障害）

自閉症、注意欠如・多動性障害について理解し、実際の生活場面での問題点を理解する。

神経精神医学講座　中村　和彦

第２回　１０月１０日（木）

題目：児童・青年期の精神障害Ⅱ（不登校、家庭暴力、児童虐待）

児童～青年期の精神性発達を十分に理解した上で、児童・青年期の問題の理解を深め、診断できるようにする。

神経精神医学講座　斉藤　まなぶ

第３回　１０月１７日（木）

題目：摂食障害

神経性無食欲症（拒食症、思春期やせ症）と神経性大食症（過食症）の概念、症状、治療などについて理解し、診断できるようにする。

神経精神医学講座　斉藤　まなぶ

第４回　１０月２４日（木）

題目：精神医学のトピックス（こころと脳））

高次脳機能障害の基本的原理と一般症状、および運動・行為、言語、視覚、記憶の高次障害についてその病態と診断、検査等を理解する。

松平病院　北條　敬

第５回　１０月３１日（木）

題目：パーソナリティ障害、性別違和）

人格障害の症状、対人関係の特徴、病理について理解し、診断できるようにする。性同一性障害について理解する。

子どものこころの発達研究センター　栗林　理人

第６回　１１月７日（木）

題目：生体リズムと精神障害

睡眠の生理と、睡眠不足が心身の健康に及ぼす影響、代表的な睡眠障害である非器質性不眠、ナルコプレシー、睡眠時無呼吸症候群、ムズムズ脚症候群について病態と治療に焦点を合わせて解説する。

秋田県精神保健福祉センター　清水　徹男

第７回　１１月１４日（木）

題目：てんかん

てんかんの症状、発作型分類、脳波を中心とした診断、病態生理、治療を中心に理解を深める。

保健学研究科　和田　一丸

第８回　１１月２１日（木）

題目：精神医療と法

精神医療の歴史を概観し、現状と課題について考察する。精神保健福祉法の中の入院形態および処遇に関する事項、および精神保健福祉法に関する社会的資源の概要を理解する。

弘前愛成会病院　田﨑　博一

第９回　１１月２８日（木）

題目：アルコール・薬物依存

アルコール・薬物依存症の社会的背景を含めた懸念、個々の物質の症候学的特徴（覚醒剤、アルコール、ギャンブルなど）および治療法について理解し、診断できるようにする。

神経精神医学講座　中村　和彦

第１０回　１２月５日（木）

題目：精神科救急（自殺、不安発作、てんかん重積）

精神科救急の概念および対象精神疾患とその治療について理解する。

大館市立総合病院　佐藤　靖

第１１回　１２月１２日（木）

題目：災害精神医学

東日本大震災では数多くの方が亡くなり、被災した。今だ復興は半ばである。震災時実際どのような活動が行われ、現在の震災支援について理解する。

みやぎ心のケアセンター　福地　成

第１２回　１２月１９日（木）

題目：リエゾン精神医学、緩和医療）

実際の病棟におけるリエゾン精神医学、緩和医療について理解する。

神経精神医学講座　古郡　規雄

第１３回　１月９日（木）

題目：精神科治療技法Ⅰ：薬物治療）

精神神経疾患における基本となる薬物治療の原則、治療学における新たな展開についても紹介する。

神経精神医学講座　冨田　哲

第１４回　１月２３日（木）

題目：精神科治療技法 II：身体的治療）

精神神経疾患において用いられる電気けいれん療法や高照度光療法などについて紹介する。

神経精神医学講座　古郡　規雄

第１５回　１月３０日（木）

題目：精神科治療技法Ⅲ：精神療法

精神神経疾患において用いられる精神技法（認知行動療法、支持的精神療法）などについて紹介する。

聖マリアンナ医科大学　小野　和哉

準備学習（予習・復習）等の内容

次回の予習ポイントをスライド、レジュメでお知らせ

現**教材・教科書**　代臨床精神医学：金原出版

子どものこころの医学：金芳堂

成績評価方法及び採点基準　テスト及び授業出席

授業形態・授業方法　適宜、プリント、検査機器等を使用する

留意点・予備知識　上記で記述した教材を用いた予習が重要

オフィスアワー　講座受付に事前予約をお願いします。

（受付時間 平日 9:00～16:00）　担当代表教員：中村　和彦

授業科目名	小児科学Ⅱ	対象学生	３年次
時間割コード	35314	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	伊藤　悦朗	開講曜日・時限	金１・２

授業としての具体的到達目標

1. 小児の発達とその異常を理解する。
2. 小児心疾患（先天性・後天性）について学ぶ。
3. 小児の内分泌疾患について学ぶ。
4. 小児の感染症・リュウマチ性疾患を理解する。
5. 造血幹細胞移植について学ぶ。

授業の概要

国家試験レベルでの小児学に関する知識を広く習得することを主眼とする。

1. 小児期の特徴(成長、発達等)について理解する。
2. 小児疾患の治療法について理解する。
3. 小児科学の上で重要な疾患の各論新生児疾患を理解す る。

モデル・コア・カリキュラム

D-1 血液・造血器・リンパ系

D-1-4)-(1) 貧血　　D-1-4)-(4)　腫瘍性疾患

D-2 神経系

D-2-3) 症候　　D-2-4)-(2) 変性疾患

D-2-4)-(3) 感染症・炎症性疾患・脱随性疾患　　D-2-4)-(5) 末梢神経

D-2-4)-(6) 筋疾患　　D-2-4)-(7)) 発作性疾患

D-2-4)-(9)) 先天性と周産期脳障害

D-5 循環器系　　D-12 内分泌・栄養・代謝

E-2 感染症　　E-4 免疫・アレルギー

授業の内容予定

１．10 月 4 日（金）（題目：小児神経疾患１）

急性、亜急性疾患（髄膜炎・脳炎、免疫疾患等）の症状と病態生理、診断のつけかたを学ぶ。藤田　浩史（青森病院）

２．10 月 11 日（金）（題目：小児神経疾患２）

痙攣性疾患（特にてんかん）を中心に、神経系の症状を呈する病態の解説と診断・治療法のポイントを伝える。　小出　信雄（むつ総合病院）

３．10 月 18 日（金）（題目：小児神経疾患３）

慢性疾患（筋疾患、変性疾患、代謝性疾患等）についての病態と遺伝的な考え方も含め学ぶ。藤田　浩史（青森病院）

４．11 月 1 日（金）（題目：小児の造血幹細胞移植）

小児の造血幹細胞移植について、適応疾患、方法、合併　　伊藤　悦朗（小児科学講座）

５．11 月 8 日（金）（題目：小児心疾患の診断と治療１）
小児心疾患総論：小児心疾患に特徴的な病態、診断（理学的所見、各種検査）、治療について。
高橋　徹（小児科学講座）

６．11 月 15 日（金）（題目：発達異常）
発達異常の概論と診断・対応のポイントの整理を行い、社会制度を含む発達支援の必要性を伝える。
小出　信雄（むつ総合病院）

７．11 月 22 日（金）（題目：小児心疾患の診断と治療２）
小児の心エコー検査、心臓カテーテル検査・治療について。　高橋　徹（小児科学講座）

８．11 月 29 日（金）（題目：先天性心疾患１）
非チアノーゼ性心疾患：心室中隔欠損、心房中隔欠損、房室中隔欠損、動脈管開存、肺動脈弁狭窄、大動脈縮窄など。　大谷　勝記（小児科学講座）

９．12 月 6 日（金）（題目：先天性心疾患２）
チアノーゼ性心疾患（１）：ファロー四徴、完全大血管転位、総肺静脈還流異常、Eisenmenger 症候群など。
大谷　勝記（小児科学講座）

10. 12 月 13 日（金）（題目：小児の内分泌疾患１）
小児の成長障害、甲状腺疾患及び小児糖尿病について理解する。　八木　秀樹（小児科学講座）

11. 12 月 20 日（金）（題目：先天性心疾患３）
チアノーゼ性心疾患（２）：純型肺動脈閉鎖、三尖弁閉鎖、左心低形成症候群など。　大谷　勝記（小児科学講座）

12. 1 月 10 日（金）（題目：後天性心疾患）
川崎病冠動脈障害と感染性心内膜炎について学ぶ。　大谷　勝記（小児科学講座）

13. 1 月 24 日（金）（題目：小児のリウマチ性疾患）
小児のリウマチ性疾患の総論と代表的疾患について理解する。　田中　完（小児科学講座）

14. 1 月 31 日（金）（題目：小児の感染症）
臨床的に大切な小児感染症の各論について習得する。　神尾　卓哉（小児科学講座）

15. 2 月 7 日（金）（題目：小児の内分泌疾患２）
小児の副腎及び性腺疾患について理解する。　八木　秀樹（小児科学講座）
16. 1 月 16 日（木）　予備日

教材・教科書 ①Nelson Textbook of Pediatrics: Saunders 社。 ②小児科学：標準小児科学：医学書院 ③系統小児外科学：永井書店 ④標準小児外科学：医学書院
成績評価方法及び採点基準　期末試験及び出欠により評価する。
授業形態・授業方法　できるだけ多くのスライド、ビデオ等を用い、分かりやすい講義を行う。
留意点・予備知識 講義の時間が少なく、知識の全てを与えることは不可能である。 授業はあくまで動機づけであり、学生自らが勉強することを主眼とする。
オフィスアワー　担当代表教員: 伊藤 悦朗 講座受付に事前予約をお願いします。(受付時間 平日 9:00～12:00,13:00～15:00)

授業科目名	神経内科学	対象学生	３年次
時間割コード	35315	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	冨山　誠彦	開講曜日・時限	金３・４
授業としての具体的到達目標			
授業の概要			
授業の内容予定			
準備学習（予習・復習）等の内容			
教材・教科書			
参考文献			
成績評価方法及び採点基準			
授業形態・授業方法			
オフィスアワー			

シラバスは，決まり次第，授業開始前に通知する。

授業科目名	臨床検査医学	対象学生	４年次
時間割コード	31401	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	萱場　広之	開講曜日・時限	月１・２

授業としての具体的到達目標

１、臨床検査医学の現代医学に置ける役割とその特性について理解を深める。

２、検査の質や特性、時間的変化についての理解を深めて多面的な解釈ができる。

３、検査データ解釈し病態分析を行い、適切な診断治療を選択できる。

授業の概要

１、臨床検査医学について理解を深めます。

２、単に検査を表面的に解釈するのではなく、それぞれの検査の質や特性、時間的変化についての理解を深めて多面的な解釈ができるよう導きます。

３、後期の実際の症例をもとに行われるRCPCによる病態分析実習ができるレベルに到達するよう導きます。

モデル・コア・カリキュラム

F-2-3) 臨床検査　　F-3-4) 臨床判断　　G-3-2) 検査手技

授業の内容予定

第1回.　4月15日(月)（題目：臨床検査医学総論、精度管理）

導入講義。臨床検査の特徴について触れる。さらに臨床検査の重要な業務である精度管理と統計的事項を理解する。

（担当　臨床検査医学　萱場　広之）

第2回.　4月22日(月)（題目：一般検査）

視覚的教材を用いた内容が中心となる。尿一般検査、便検査、髄液検査の特徴、意義、解釈について理解する。

（担当　臨床検査医学　萱場　広之）

第3回.　5月11日(土)（題目：予備。特に事情がない場合休講）

第4回.　5月13日(月)（題目：血液検査）

検体採取方法などの実践的レベルの注意点、危険について理解する。血液検査から得られる情報の引き出し方、その特徴、意義、解釈について理解する。（担当　臨床検査医学　齋藤　紀先）

第5回.　5月20日(月)（題目：糖代謝検査）

糖代謝検査の種類、特徴、意義、解釈などを理解する。(担当　太田西の内病院次長　杉本　一博)

第6回.　5月27日(月)（題目：生化学検査）

網羅は難しいため、基本的項目に絞って解説する。各項目についてその特徴と意義、解釈上の注意点などについて理解する。（担当　臨床検査医学　齋藤　紀先）

第7回.　6月3日(月)（題目：腫瘍マーカー）

腫瘍マーカーの特徴と臨床的利用方法、特徴と意義、解釈の注意点について理解する。

（担当　臨床検査医学　萱場　広之）

第 8 回.　6 月 10 日(月)（題目：微生物、感染症関連検査）
感染症診療において重要な検査である細菌検査の特徴、意義と解釈について理解する。検体の採取、取扱いの注意点について理解する。（担当　臨床検査医学　萱場　広之）

第 9 回.　6 月 17 日(月)（題目：免疫血清検査①）
基本的な免疫学の復習と，免疫関連疾患について国家試験問題を例にとり概説する.
（担当　臨床検査医学　齋藤　紀先）

第 10 回. 6 月 24 日(月)（題目：免疫血清検査②）
基本的な免疫学の復習と，免疫関連疾患について国家試験問題を例にとり概説する.
（担当　臨床検査医学　齋藤　紀先）

第 11 回. 7 月 1 日(月)（題目：動脈血液ガス分析①）
血液ガス分析から病態をどのように把握するか，国家試験問題を例にとり概説する.
（担当　臨床検査医学　齋藤　紀先）

第 12 回. 7 月 8 日(月)（題目：動脈血液ガス分析②）
血液ガス分析から病態をどのように把握するか，国家試験問題を例にとり概説する.
（担当　臨床検査医学　齋藤　紀先）

第 13 回. 7 月 18 日(木)1・2 時限 日時注意（題目：　RCPC 演習）
実際の症例を中心に検査データの解釈を行う。後期に行われる RCPC 実習の予行演習として担当教官が検査データの分析を行い、学生と教官がディスカッションを行いながら、講義を進める。1 コマあたり２症例程度を予定。
（担当　臨床検査医学　萱場　広之）

第 14 回. 7 月 22 日(月)（題目：熱帯医学と検査）
世界に蔓延する熱帯感染症の重要性は、地球温暖化、人類移動のグローバル化によって益々重要性が増している。本講義では、実体験に根差して、熱帯医学と臨床検査の実態をレクチャーする。
(担当　金沢大学　寄生虫感染制御学　所　正治)

第 15 回. 7 月 29 日(月)（題目：感染制御と感染症）
感染制御の実際、日常注意すべき伝染性疾患などについての理解を深める。（担当　臨床検査医学　萱場　広之）

第 16 回. 8 月 5 日(月)（題目：RCPC 実習説明および学力確認試験）
後期の RCPC 実習に向けた説明を行う。また、学力確認試験を行う。（担当　臨床検査医学　萱場　広之）

準備学習(予習・復習)等の内容

１、シラバスに沿った検査項目について予備知識を得ておくことが望ましい。

２、学習した検査が実臨床でどのように利用されているのか、他診療科の講義と関連付けて理解するよう心がける。

教材・教科書

標準臨床検査医学（第 3 版）　医学書院(編集：猪狩　淳、中原一彦）

参考文献

１、臨床に役立つ検査値の読み方・考え方(第 2 版）　総合医学社(監修：河野均也、西崎　統）

２、広範囲 血液・尿化学検査，免疫学的検査（第 7 版）、日本臨床　増刊号、　日本臨床社

３、休み時間の免疫学（第 2 版）講談社　（齊藤紀先　著）

成績評価方法及び採点基準

コース終了後試験を実施します。

授業形態・授業方法

講義形式で主にスライドやハンドアウトを併用する。必要に応じて DVD なども使用する場合があります。

留意点・予備知識

１、臨床検査医学の守備範囲は広汎なため、講義で触れるのは基本的部分に限られます。

２、プリントに盛り込めない情報もあり、講義での説明や板書からの学習が大切になります。

オフィスアワー

萱場　広之(担当代表教員/シラバス作成者）　時間：17:30～　　場所：検査部長室

その他

１、カリキュラムは変更される場合があります。その都度お知らせします。

２、質問は随時可能ですが、できるだけ講義中に行い、他の学生とも情報を共有できるように心がけてください。

授業科目名	麻酔科学・緩和医療学Ⅱ	対象学生	４年次
時間割コード	31402	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	廣田　和美	開講曜日・時限	月３・４

授業としての具体的到達目標

1. 麻酔科学・緩和医療学 II では、I で学んでいない主に集中治療を中心とした周術期管理学と小児麻酔、産科麻酔、高齢者麻酔、ロボット手術麻酔等の特殊麻酔管理の概念を理解することで、麻酔科学・緩和医療学への洞察を深化させる。

2. 周術期管理に必要なモニタリングの意義を理解することで、より高度で綿密な全身管理の概念を習得する。

3. 科学的観点から、周術期に必要な全身管理機器並びに薬剤の使用法とその原理を理解習得することで、周術期管理上の問題解決法の考え方を学ぶとともにどのような患者が、集中治療管理が必要かの判断能力を養う。

授業の概要

1. 麻酔管理に用いられる薬物(麻薬、筋弛緩薬等)の薬理について学習する。

2. 周術期、集中治療における輸液、輸血などの体液管理並びに血液浄化に関して学ぶ。

3. 周術期、集中治療における呼吸、循環、中枢神経管理並びにその管理に必要なモニタリングを学ぶ。

4. 小児、産科、高齢者、ロボット手術麻酔等の特殊麻酔管理に関して、生理学、解剖学、薬理学的違いについて学習する。

モデル・コア・カリキュラム

F-2-9) 外科的治療と周術期管理　　F-2-10) 麻酔

F-2-11) 食事・栄養療法と輸液療法　　F-2-12) 医療機器と人工臓器

F-2-13) 輸血と移植

授業の内容予定

第１回　4 月 8 日（月）（題目：麻薬、筋弛緩薬の薬理）各種麻薬、筋弛緩薬およびそれらの拮抗薬の作用機序および使用方法を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　丹羽英智

第２回　4 月 15 日（月）（題目：周術期、集中治療における体液管理）体液分布、周術期の輸液、酸塩基平衡、血液ガス分析の意義と方法を説明できる。周術期の体液管理を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　丹羽英智

第３回　4 月 22 日（月）（題目：周術期における輸血管理）輸血の種類、自己血輸血の実際、輸血副作用など周術期の輸血管理を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　丹羽英智

第４回　5 月 11 日（土）（題目：急性中毒とその治療）各種中毒の診断と治療、血液浄化法などの原理を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　丹羽英智

第５回　5 月 13 日（月）（題目：周術期、集中治療における呼吸管理 1）呼吸の評価、呼吸生理、開胸術の術中管理を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　橋場英二

第６回　5 月 20 日（月）（題目：周術期、集中治療における呼吸管理 2）人工呼吸管理、高圧酸素療法、人工肺の原理と適応を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　橋場英二

第７回　5 月 27 日（月）（題目：周術期、集中治療における循環管理 1）循環の評価、循環生理、循環作動薬、補助循環の使用法および原理・機序を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　橋場英二

第８回　6 月 3 日（月）（題目：周術期、集中治療における循環管理 2）心臓血管外科手術の術中管理を学ぶ
・脳圧の制御、低体温療法、脳保護などの集中治療管理の基礎と実際を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　橋場英二

第９回　6 月 10 日（月）（題目：周術期、集中治療における中枢神経管理 1）中枢神経系の評価、脳死判定、脳血流。担当教員：麻酔科学講座　中井希紫子

第 10 回　6 月 17 日（月）（題目：周術期、集中治療における中枢神経管理 2）開頭術の術中管理(麻酔薬と脳血流・脳圧の制御、脳保護等)を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　中井希紫子

第 11 回　6 月 24 日（月）（題目：腹腔鏡手術およびロボット支援手術の周術期管理）腹腔鏡手術およびロボット支援手術の周術期管理の実際および合併症を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　中井希紫子

第 12 回　7 月 1 日（月）（題目：小児の周術期管理）小児の特徴を理解した上で、その周術期管理を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　櫛方哲也

第 13 回　7 月 8 日（月）（題目：高齢者の周術期管理）高齢者、妊産婦の特徴を理解した上で、その周術期管理を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　櫛方哲也

第 14 回　7 月 22 日（月）（題目：妊産婦の周術期管理）妊産婦の特徴を理解した上で、その周術期管理を学ぶ。　担当教員：麻酔科学講座　櫛方哲也

第 15 回　7 月 29 日（月）18：00-19：00（題目：総合演習［期末試験］）　学んできたことの知識の総チェックを行い、知識の固定化を図る。　担当教員：麻酔科学講座　櫛方哲也、橋場英二、丹羽英智、中井希紫子

準備学習(予習・復習)等の内容

1. 予習をしてくることが望ましい。
2. 講義で十分に網羅出来ない事項は、教科書を参考に適宜補足すること。

教材・教科書　各授業で配布するプリントを用いる

参考文献

臨床麻酔科学（改訂版）：文光堂ー松木明知、石原弘規編、ミラー麻酔科学：MEDSi、標準麻酔科学：医学書院など

成績評価方法及び採点基準　期末試験で評価する。授業への参加度も評価の対象とする。

授業形態・授業方法　パワーポイントを用いた通常の講義形態である。

留意点・予備知識　1. 予習をしてくることが望ましい。
2. 講義で十分に網羅出来ない事項は、教科書を参考に適宜補足すること。

オフィスアワー　各担当教員の授業終了後 30 分程度

授業科目名	眼科学	対象学生	４年次
時間割コード	31403	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	中澤　満	開講曜日・時限	月５・６

授業としての具体的到達目標

１．眼科学（Ophthalmology）では眼・視覚系の構造と機能を理解する。

２．眼・視覚系疾患の病態について理解する。

３．眼・視覚系疾患の診断と治療について理解する。

授業の概要

１．眼科臨床医学の基本は眼球および眼窩の解剖学である。

２．眼球内にも様々な病気学的な変化が起こる。

３．それぞれの病理的変化のメカニズムについて学習する。

４．全身疾患と眼・視覚系の病態との関連を理解する。

モデルコアカリキュラム

D-13-1) 構造と機能

D-13-2) 診断と検査の基本

D-13-3) 症候

D-13-3)-(1) 眼・視覚系に関する腫瘍徴候

D-13-3)-(2) その他の徴候

D-13-4) 疾患

D-13-4)-(1) 眼・視覚系の良性疾患

D-13-4)-(2) 腫瘍性疾患

授業の内容予定

第１回　４月８日（月）眼科学入門、屈折異常と調節異常、弱視（眼科学講座：中澤　満）

近視、遠視、乱視、老視、弱視とは何かについて理解する。

第２回　４月15日（月）白内障（眼科学講座：中澤　満）

白内障とはどのような病気か、またその代表的な手術法について理解する。

第３回　４月22日（月）結膜と外眼部疾患（前田眼科：前田修司）

結膜に起こる炎症とはいかなるものかについて理解を深める。その原因や発症機構から診断や治療を考える。その他のよくみる外眼部疾患についても理解を深める。

第４回　５月11日（土）涙液と角膜疾患（眼科学講座：中澤　満）

角膜の機能とそこに起こる病気、涙液の機能と異常について理解する。角膜移植手術についても紹介する。

第５回　５月13日（月）神経眼科１。求心路、視神経、各種視野障害（眼科学講座：中澤　満）

視神経乳頭および視神経疾患に起こる病気について理解するとともに、各種中枢神経障害にともなう視野障害の特徴についてその原理とともに理解する。

第 6 回　5 月 20 日（月）神経眼科２。遠心路、瞳孔および眼球運動など（眼科学講座：中澤　満）
瞳孔反射とその異常、眼球運動とその異常について理解するとともに斜視と弱視の基本について理解する。

第 7 回　5 月 27 日（月）緑内障１。原発緑内障、発達緑内障（眼科学講座：中澤　満）
緑内障とはどのような病気なのかについて、その多様性とともに理解する。原発緑内障の各種病型を理解する。

第 8 回　6 月 3 日（月）緑内障２。続発緑内障、緑内障治療総論（眼科学講座：中澤　満）
代表的な続発緑内障について理解を深める。一般的な緑内障治療法について薬物治療と手術治療の両面から理解する。

第 9 回　6 月 10 日（月）網膜剥離（眼科学講座：中澤　満）
網膜剥離の定義を理解する。そして裂孔原性網膜剥離とはどのような病気なのか、どのような手術を行うのかについて理解する。

第 10 回　6 月 17 日（月）網膜循環障害、高血圧と眼（眼科学講座：中澤　満）
高血圧などを基盤として発症する網膜循環障害の各種病型と、高血圧にともなう網膜血管の異常所見の基本を理解する。

第 11 回　6 月 24 日（月）糖尿病網膜症。（眼科学講座：中澤　満）
なぜ糖尿病になると網膜病変が発生するのか、その治療はどうするのか、などにつき基本概念を理解する。さらに糖尿病網膜症の各病期について理解する。

第 12 回　7 月 1 日（月）黄斑疾患（眼科学講座：中澤　満）
加齢やストレスによって黄斑部に発症する 4 つの代表的疾患（黄斑上膜、黄斑円孔、中心性漿液性脈絡網膜症、加齢黄斑変性）について理解する。

第 13 回　7 月 8 日（月）ぶどう膜炎（眼科学講座：中澤　満）
眼内炎症性疾患とくにサルコイドーシス、原田病、ベーチェット病の三大ぶどう膜炎を中心に眼内炎症性疾患とは何かを理解する。

第 14 回　7 月 22 日（月）網膜色素変性、遺伝性網膜変性（眼科学講座：中澤　満）
網膜色素変性に代表される遺伝性網膜変性疾患の発症に関わる分子遺伝学と臨床ならびに視細胞保護、再生医療および人工視覚などの最先端の治療研究について理解する。

第 15 回　7 月 29 日（月）眼科腫瘍疾患（眼科学講座：中澤　満）
網膜芽細胞腫やぶどう膜悪性黒色腫に代表される眼内腫瘍および眼窩腫瘍や結膜、眼瞼腫瘍などに代表される眼外腫瘍の基本を解説する。

第 16 回　8 月 5 日（月）全身疾患と眼、献眼と角膜移植（眼科学講座：中澤　満）
血液疾患、循環器疾患、代謝性疾患、内分泌疾患、自己免疫疾患などの全身性疾患に伴う眼所見を解説する。角膜移植手術の基礎となる献眼への理解を深める。

準備学習（予習・復習）等の内容

本シラバスとは別の「眼科学シラバス 2019」を全員に配布するので講義内容の予習、復習をはじめ定期試験対策、実習対策、国試対策などに活用されたい。

教材・教科書

眼科学シラバス 2019 を予習復習に活用するのが望ましい。

参考文献

中澤　満、村上　晶、園田康平　編集、「標準眼科学」第 14 版、医学書院
　数ある眼科学教科書のうちで内容的に最も優れている。3 年ごとに改訂して最新の内容を要領よく網羅するように配慮されている。

成績評価方法及び採点基準

毎回の小テストでは講義内容の理解を促すとともに出席が確認される。学則により期末試験の受験には２／３以上の出席が必要とされている。期末試験は最終日に予定している。60%以上の正解者には単位を認定する。

授業形態・授業方法

板書、パワーポイント、手術ビデオなどを用いた講義を行う。当日のパワーポイント画像はできるだけコピー（モノクロ）をして学生に配布するほか、PDF 版を眼科担当委員に配布するのでカラーでの画像閲覧を希望する学生は各自コピーすることができる。過去の眼科試験問題は同じく PDF 版として可能な限り公開するので参考にするように努められたい。

留意点・予備知識

眼鏡やコンタクトレンズまたは結膜炎などで眼科を受診した経験のある学生諸君は多いと思うが、眼科が実際に扱う疾患は学生諸君の実体験を大きく越えた多彩かつ広範囲なものであることを講義で理解して欲しい。本講義で述べられる項目は学生諸君には実体験がないことばかりかと思われるが、これは臨床実習にて体験学習うをすることとなる。

オフィスアワー　　担当代表教員・シラバス作成者：中澤　満、毎週火曜日午後 4 時~6 時

授業科目名	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	対象学生	４年次
時間割コード	31404	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	松原　篤	開講曜日・時限	月７・８

授業としての具体的到達目標

1.耳鼻咽喉領域で扱う、聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚などの感覚の受容機構を理解し、それらの検査法の意義や病態、および治療法を学ぶ。

2.耳鼻咽喉領域の炎症、感染症、アレルギー性疾患など種々の病気について、病態と治療法を学ぶ。

3.頭頸部領域の良性・悪性腫瘍やのう胞性疾患について理解を深め、治療法を学ぶ。

授業の概要

1.耳（外耳・中耳・内耳）、鼻（鼻腔・副鼻腔）・咽喉頭（上中下咽頭・喉頭）の解剖学的構造や生理学的機能について学び、感覚受容のメカニズムとその重要性を学ぶ。

2.耳鼻咽喉領域の感覚器障害（難聴、めまい、嗅覚障害、味覚障害）の検査法と治療法を学ぶ。

3.耳鼻咽喉領域の炎症性疾患および感染症について、すなわち中耳炎、副鼻腔炎、咽喉頭炎など種々の疾患の病態と治療法を学ぶ。

4.耳鼻咽喉領域のアレルギー性疾患、すなわちアレルギー性鼻炎、好酸球性中耳炎・副鼻腔炎について発症のメカニズムを理解し治療法を学ぶ。

5.頭頸部領域の良性・悪性腫瘍、すなわち舌癌、咽頭癌、喉頭癌や唾液腺腫瘍の病態と治療法を学ぶ。

6.頭頸部領域ののう胞性疾患、すなわち副鼻腔のう胞や、頸部のう胞などの発生メカニズムと治療法を学ぶ。

授業の内容予定

第１回　４月８日（月）（題目：側頭骨の構造と聴平衡覚の受容）側頭骨とその周辺の解剖について学ぶ。聴覚や平衡覚の受容の仕組みついて理解する。伝音難聴と感音難聴の病態を理解する。松原　篤

第２回　４月 15 日（月）（題目：頭頸部の基本的診察技能）鼻副鼻腔・口腔・咽喉頭の基本知識（解剖）と診察技能について学ぶ。画像診断（単純 X 線、CT など）について学ぶ。阿部　尚央

第３回　４月 22 日（月）（題目：聴覚・平衡覚機能検査）難聴の診断を行うための検査、および耳管の機能検査とその意義について学ぶ。めまいの診断を行うための検査と意義について学ぶ。佐々木　亮

第４回　５月 11 日（土）（題目：鼻腔の機能と検査法、鼻疾患）上気道の基礎知識、および機能と検査について理解する。アレルギー性鼻炎、鼻出血、鼻中隔弯曲症など種々の鼻腔疾患を学ぶ。高畑　淳子

第５回　５月 13 日（月）（題目：神経耳科学疾患の原因、診断、治療）感音性難聴やめまいをきたす種々の疾患の鑑別と治療について学ぶ。顔面神経麻痺の部位診断と治療について学ぶ。佐々木　亮

第６回　５月 20 日（月）（題目：種々の副鼻腔疾患の診断と治療）急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎などを学ぶ。鼻、副鼻腔良性腫瘍・悪性腫瘍について理解する。副鼻腔内視鏡手術の実際について学ぶ。工藤　直美

第７回　５月 27 日（月）（題目：頭頸部のアレルギー性疾患）・種々の頭頸部のアレルギー関連疾患、すなわち口腔

アレルギー症候群、好酸球性副鼻腔炎、好酸球性中耳炎、ANCA 関連血管炎について理解する。松原　篤

第 8 回　6 月 3 日（月）（題目：咽喉頭疾患と救急疾患）急性喉頭蓋炎、仮性クループ、喉頭乳頭腫など種々の咽喉頭疾患について学ぶ。気管、食道の異物、・顔面外傷など救急疾患について学ぶ。高畑　淳子

第 9 回　6 月 10 日（月）（題目：口腔・咽喉頭の機能、機能障害、気管切開）口腔、咽喉頭の機能・機能障害（嚥下障害、音声障害）、反回神経麻痺、気管切開について理解する。味覚検査、耳下腺造影など咽喉頭の検査や意義を学ぶ。松原　篤

第 10 回　6 月 17 日（月）（題目：外耳疾患と中耳疾患１）種々の外耳疾患について学ぶ。急性中耳炎、滲出性中耳炎などについて学ぶ。佐々木　亮

第 11 回　6 月 24 日（月）（題目：中耳疾患２）慢性中耳炎、真珠性中耳炎などの原因、診断、治療（鼓室形成術）について学ぶ。伝音難聴を来す中耳疾患および特殊な中耳炎などについて理解する。佐々木　亮

第 12 回　7 月 1 日（月）（題目：難聴遺伝子と人工聴覚器）難聴遺伝子について、最新の検査法や検査の意義について学ぶ。人工内耳・人工中耳などの最先端の医療を理解する。宇佐美　真一

第 13 回　7 月 8 日（月）（題目：頭頸部悪性腫瘍）口腔・咽喉頭の悪性腫瘍の症状、診断、治療、予後について学ぶ。阿部　尚央

第 14 回　7 月 22 日（月）（題目：口腔・咽頭・扁桃疾患、唾液腺疾患）先天奇形および種々の口腔疾患を学ぶ。扁桃炎とその鑑別、病巣感染症と睡眠時無呼吸症候群などについて理解する。耳下腺炎、唾石症、唾液腺良性腫瘍・悪性腫瘍などを学ぶ。松原　篤

第 15 回　7 月 29 日（月）講義内容総復習①
第 16 回　8 月 5 日（月）講義内容総復習②（試験を含む）

準備学習（予習・復習）等の内容
講義開始前に耳鼻咽喉・頭頸部領域の解剖・生理については充分に理解しておくこと。
感染・免疫・腫瘍に関する基礎的な知識をよく復習しておくこと。
耳鼻咽喉科学が部位は狭いが内容が多岐に渡るため、理解が不十分だと思う場合には、適宜テキスト（特に指定はしない）を用いてよく理解しておくこと。

成績評価方法及び採点基準　講義は毎回出席をとる。成績評価は、試験結果および出席回数により総合判定する。

授業形態・授業方法　PC プレゼンテーションを中心に講義を進める。講義内容についてはプリントを配布する。

留意点・予備知識　頭頸部領域の解剖を良く理解することは臨床の観点から重要である。
また、病態の理解には生理・感染・免疫・腫瘍に関する基礎知識が必要である。

オフィスアワー　松原　篤（担当代表教員/シラバス作成者）月、水、金　17：00～18：00

授業科目名	周産期医学	対象学生	４年次
時間割コード	31406	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	横山　良仁	開講曜日・時限	火１・２

授業としての具体的到達目標

1 妊娠に伴う母体の生理的な変化を学ぶ

2 妊娠中の病理を学ぶ

3 胎児、胎児付属物の生理、病理を学ぶ

4 分娩のメカニズム、異常分娩を学ぶ

5 妊娠と薬剤

6 分娩モニタリングを読解する

授業の概要

1 妊娠による母体の変化、合併症の発生

2 胎児発育、胎児評価、胎児超音波診断

3 分娩の管理

4 妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病

5 妊娠中の薬剤の影響、母子感染症

6 胎児モニタリングの基礎から実践へ

モデル・コア・カリキュラム

D-10 妊娠と分娩

D-10-1) 構造と機能

D-10-2) 診断と検査の基本

D-10-3) 症候

D-10-4) 疾患

D-10-5) 産科手術

授業の内容予定

第１回４月９日（火）妊娠による母体の生理的変化　田中幹二

第２回４月１６日（火）胎児発育と産科診断法、胎児発育の評価　田中幹二

第３回４月２３日（火）胎児・胎盤付着物の生理と病理　田中幹二

第４回５月　７日（火）切迫流産・早産・前期破水　田中幹二

第５回５月１４日（火）多胎妊娠・血液型不適合妊娠　尾崎浩士

第６回５月２１日（火）胎児超音波診断　橋本哲司

第７回５月２８日（火）分娩のメカニズムと管理　田中幹二

第８回６月　４日（火）分娩の異常とその処置　田中幹二

第９回６月１１日（火）産科出血とショック／産褥　田中幹二

第１０回６月１８日（火）妊娠高血圧症候群と関連疾患　田中幹二

第１１回６月２５日（火）妊娠と内科疾患①　田中幹二

第１２回７月　２日（火）妊娠と内科疾患②　田中幹二

第１３回７月　９日（火）母子感染症／妊娠授乳と薬物　伊東麻美

第１４回７月１６日（火）妊娠と外科疾患、産科手術学　松倉大輔 第１５回７月２３日（火）胎児モニタリングの基礎から実践　松倉大輔 第１６回７月３０日（火）試験日
準備学習（予習・復習）等の内容 　シラバスに記載された病名に関する用語の定義を予習し理解しておくこと
教材・教科書　　病気がみえるシリーズ 教材は講義中に配布する
参考文献　　図書館に常備されている教科書はどれも有用である
成績評価方法及び採点基準　　期末試験で一定以上の得点を取ることで単位が付与されるか決定される
授業形態・授業方法　　講義形式。スライドとハンドアウトを併用する。
留意点・予備知識 1　講義は周産期医学、新生児学の専門医が行うオムニバス方式をとる。教員によっては、小テストを行うことがある。出席を取ることがある。 2　講義に臨むに当たり基礎医学を復習しておくこと
オフィスアワー　　担当教員：月曜から金曜日夕方以降（要事前確認３９－５１０７）

授業科目名	脳神経外科学	対象学生	４年次
時間割コード	31407	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	大熊　洋揮	開講曜日・時限	火３・４

授業としての具体的到達目標

1. 脳神経外科疾患の病態や発生機序を理解する。
2. 画像を含めた診断法を理解する。
3. 脳神経外科的治療法を理解する。

授業の概要

1. 中枢神経系の解剖、機能を再度確認し、それをもとに病態生理を理解する。
2. 脳神経外科疾患として、脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、先天性疾患、機能的脳神経外科疾患、脳神経外科救急などの分野に大別し、その個々の疾患の詳細を理解する。
3. それらの疾患の診断法、治療法を的確に把握する。

授業の内容予定

第１回　4 月 9 日（火）　脳神経外科学的解剖、病態生理　（題目：脳神経外科学総論１）
脳神経外科学講座　大熊洋揮

第２回　4 月 16 日（火）　脳神経外科学的症候学、神経学的診察法　（題目：脳神経外科学総論２）
脳神経外科学講座　奈良岡征都

第３回　4 月 23 日（火）　脳神経外科学的検査法、脳神経外科学的治療法概論　（題目：脳神経外科学総論３）
脳神経外科学講座　奈良岡征都

第４回　5 月 7 日（火）　脳血管障害・総論　（題目：脳血管障害１）　脳神経外科学講座　大熊洋揮

第５回　5 月 14 日（火）　虚血性脳血管障害　（題目：脳血管障害２）　脳神経外科学講座　大熊洋揮

第６回　5 月 21 日（火）　出血性脳血管障害　（題目：脳血管障害３）　脳神経外科学講座　大熊洋揮

第７回　5 月 28 日（火）　脳腫瘍総論　（題目：脳腫瘍 1）　脳神経外科学講座　浅野研一郎

第８回　6 月 4 日（火）　脳腫瘍各論、グリオーマ系腫瘍　（題目：脳腫瘍２）　脳神経外科学講座　浅野研一郎

第９回　6 月 11 日（火）　脳腫瘍各論、グリオーマ系腫瘍　（題目：脳腫瘍３）　脳神経外科学講座　浅野研一郎

第 10 回　6 月 18 日（火）　脳神経外科にて診療する外傷の総論・各論　（題目：頭部外傷）
脳神経外科学講座　嶋村則人

第 11 回　6 月 25 日（火）　不随意運動･難治性疼痛･てんかん　（題目：機能的脳神経外科）
脳神経外科学講座　片山耕輔

第 12 回　7 月 2 日（火）　小児に特有な疾患、先天性奇形　（題目：小児脳神経外科、先天性奇形）
脳神経外科学講座　嶋村則人

第 13 回　7 月 9 日（火）　脳血管内治療の総論・各論　（題目：脳血管内治療）　脳神経外科学講座　嶋村則人

第 14 回　7 月 16 日（火）　脳神経外科救急疾患の一般　（題目：脳神経外科救急）　脳神経外科学講座　伊藤勝博

第 15 回　7 月 23 日（火）　脳卒中の初期診療方法　（題目：脳卒中初期診療）　脳神経外科学講座　大熊洋揮

第 16 回　7 月 30 日（火）　脳神経外科学　試験　（題目：試験）　脳神経外科学講座　大熊洋揮

準備学習（予習･復習）等の内容　教科書による予習を前提として講義を行う。

教材･教科書　推薦教科書：ニュースタンダード脳神経外科学（三輪書店）
標準脳神経外科学（医学書院）

成績評価方法及び採点基準　筆記試験を行う。６割以上を合格とする。

授業形態･授業方法　スライド、ビデオなどを中心に進める。内容の要点のプリントを配布する。

留意点･予備知識
救急疾患の中で脳神経外科的疾患の占める割合は高く、その初期診療には全ての医師が携わることになる。全国的な脳神経外科医師の減少傾向の中、これら初期診療は一般医に委ねられる比率が高くなってきている。従って、脳神経外科疾患に関する最低限の知識を身につけることが将来の専攻科に関わらず必須であることを念頭に置き講義に参加すること。

オフィスアワー　担当代表教員：大熊洋揮　月曜日　午後（事前連絡必要）

医師を目指す者として最低限の礼儀を有して授業に臨むこと。目に余る場合は退室を命じる。

授業科目名	整形外科学Ⅱ	対象学生	４年次
時間割コード	31408	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	石橋　恭之	開講曜日・時限	火５・６

授業としての具体的到達目標

１．整形外科は脊髄・脊椎から四肢のあらゆる運動器疾患を取り扱う臨床医学であり、その治療の主たる目標は機能的回復にあることを理解する。

２．整形外科で取り扱う対象疾患は、下記のようにきわめて広範囲に及ぶということを理解する。

・先天性疾患
・労働災害・交通事故などによる外傷疾患
・スポーツによる障害・外傷
・炎症性疾患
・退行変性疾患
・腫瘍性疾患
・肢体不自由児の療育を含む小児整形外科疾患

３．脊椎・脊髄疾患、神経･筋疾患など、整形外科の各論を中心に学ぶ。

授業の概要

・代表的脊椎・脊髄疾患の診断・治療を理解する。
・CP・筋ジストロフィーなど代表的神経・筋疾患を理解する。また感染性疾患のケアーを学ぶ。
・骨粗鬆症、骨軟化症などの診断について学び、老齢化の進んだ現在における骨粗鬆症治療の重要性を認識する。
・変形性関節症・壊死性疾患、リウマチ性疾患の診断治療を理解する。
・外傷の初期治療・骨折脱臼の治療の基本を理解する。
・手の機能解剖を復習し、外傷以外の手疾患について学ぶ。
・末梢神経の解剖を復習し、特に末梢神経の Entrapment neuropathy について学ぶ。
・股関節の機能解剖を復習し、外傷以外の股関節疾患について学ぶ。
・肩関節・肘関節の機能解剖を復習し、骨折以外の肩関節疾患について学ぶ。
・膝関節及び足関節の機能解剖を復習し、外傷以外の膝関節及び足部疾患について学ぶ。
・スポーツ医の役割、スポーツ現場での救急処置、代表的脊椎スポーツ外傷の病態・治療を学ぶ。
・上肢の野球肘・肩障害、下肢の膝靭帯損傷など代表的スポーツ外傷　・障害の病態・治療を学び、治療する上での留意点などを理解する。

授業の内容予定	題目と講師は、変更になる場合があります。 第 1 回　4 月 9 日（火）（題目：脊椎・脊髄疾患；総論）和田 簡一郎 第 2 回　4 月 16 日（火）（題目：脊椎・脊髄疾患；各論）和田 簡一郎 第 3 回　4 月 23 日（火）（題目：未定）講師未定 第 4 回　5 月 7 日（火）（題目：脊椎・脊髄損傷）熊谷 玄太郎 第 5 回　5 月 14 日（火）（題目：神経･筋疾患・感染性疾患）熊谷 玄太郎 第 6 回　5 月 21 日（火）（題目：代謝性骨疾患、骨・関節系統疾患）田中 直 第 7 回　5 月 28 日（火）（題目：非感染性骨・関節・軟部組織疾患）原田 義史 第 8 回　6 月 4 日（火）（題目：外傷の初期対応と治療）浅利 享 第 9 回　6 月 11 日（火）（題目：手外科）上里 涼子 第 10 回　6 月 18 日（火）（題目：手外科・末梢神経障害）上里 涼子 第 11 回　6 月 25 日（火）（題目：股関節外科)原田 義史 第 12 回　7 月 2 日（火）（題目：肩・肘関節外科）佐々木 規博 第 13 回　7 月 9 日（火）（題目：膝関節・足の外科）佐々木 静 第 14 回　7 月 16 日（火）（題目：スポーツ外傷 ・障害；総論）木村 由佳 第 15 回　7 月 23 日（火）（題目：スポーツ外傷 ・障害；各論）木村 由佳 第 16 回　7 月 30 日（火）（題目：期末試験と振り返り）石橋 恭之
準備学習(予習･復習)等の内容	四肢・脊椎/脊髄の機能解剖を十分理解しておくことが望ましい。
教材･教科書	ハンドアウト、スライド、ビデオ
参考文献	標準整形外科学 第 13 版 （医学書院）
成績評価方法及び採点基準	筆記試験の成績、レポート及び授業への参加度の合計点にて評価する。
授業形態･授業方法	講義形式で、ハンドアウト、スライド、ビデオを併用する。
留意点･予備知識	講義スライドの画像やビデオ撮影は原則禁止とする。
オフィスアワー	担当代表教員：手術・外来・病棟業務がありますので、担当教官にその都度確認下さい。

授業科目名	泌尿器科学	対象学生	４年次
時間割コード	31409	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	大山　力	開講曜日・時限	火７・８

授業としての具体的到達目標

１．副腎、腎、尿路、男性生殖器系の構造と機能を理解する。

２．副腎、腎、尿路、男性生殖器系の症候と検査法を理解する。

３．pediatrics から geriatrics までをカバーしている領域であることを理解する。

４．副腎、腎、尿路、男性生殖器系の外科的疾患に関して、診断法と治療法を理解する。

５．排泄、性機能など人間の尊厳に関わる機能異常を対象にしている領域であることを十分に理解する。

６．腫瘍学、内分泌・代謝学、感染症学、病理学、薬理学、免疫学、神経学、生理学、生化学、放射線治療学・診断学などの知見を臨床応用する学際的学問分野であることを理解する。

授業の概要

１．副腎、腎、尿路、男性生殖器系の構造と機能を理解するために、最初の講義は臨床解剖学とする。

２．副腎、腎、尿路、男性生殖器系の症候と検査法を理解するために、症候学と検査に関する講義枠を確保し、さらに各論として各疾患における症候と検査を詳説する。

３．pediatrics から geriatrics までをカバーしている領域であることを理解するために、小児泌尿器科と加齢男性医学の講義を特設した。

４．gender に対する理解を深める目的で、性分化とその異常に関する講義枠を新設した。

５．腫瘍学、内分泌・代謝学、感染症学、病理学、薬理学、免疫学、神経学、生理学、生化学、放射線治療学・診断学などの知見を臨床応用する学際的学問分野であることを理解できるように、各講義において臨床応用の実例に関する最新の情報を提供する。

６．副腎、腎、尿路、男性生殖器系の外科的疾患に関して、診断法と治療法の進歩を確実に認識させるため、講義の最終回は腎・泌尿器外科学の進歩に関する講義枠を新設した。

モデル・コア・カリキュラム

D-8-1)構造と機能　　D-8-2)診断と検査の基本　　D-8-3)症候　　D-8-4)疾患

授業の内容予定

1.　4 月 9 日（火）（題目：腎・泌尿器科臨床解剖学）

泌尿器科学（Urology）の講義全体のガイダンスと成績評価法に関する説明を行う。その後に、腎・泌尿器疾患の画像診断や泌尿器科手術に必要な解剖：腎・泌尿器臨床解剖について講義する。担当教員：大山　力（泌尿器科）

2.　4 月 16 日（火）（題目：腎・尿路・生殖器系の診断法と検査法）

泌尿器科の診療に必要な診断技術について講義する。理学所見の取り方、各種画像診断、細菌学的検査、生検法などについて概説する。担当教員：橋本安弘（泌尿器科）

3.　4 月 23 日（火）（題目：腎の良性腫瘍と悪性腫瘍）

腎の嚢胞性疾患を含む良性腫瘍と腎癌の診断と治療について講義する。腎腫瘍性病変の鑑別診断、腎細胞癌の腫瘍学的特徴を把握して、その治療法について理解できるように講義する。薬物療法として分子標的薬と最新の免疫チェックポイント阻害剤に関して概説する。担当教員：畠山真吾（泌尿器科）

4.　5月7日（火）（題目：尿路結石症）
腎結石、尿管結石などの病因を解説し、その診断と最新の治療法を紹介する。
担当教員：川口俊明（青森県立中央病院泌尿器科）

5.　5月14日（火）４年次健康診断のため授業なし

6.　5月21日（火）（題目：膀胱癌と腎盂・尿管癌）
腎盂・尿管・膀胱の上皮は移行（尿路）上皮であり、そこに発生する悪性腫瘍は尿路上皮癌として共通した特徴がある。本講義では、尿路上皮癌の診断と治療について概説する。ロボット支援膀胱全摘除術や免疫チェックポイント阻害剤、腸管を利用した新膀胱造設術などの最新医療技術も紹介する。担当教員：米山高弘（泌尿器科）

7.　5月28日（火）（題目：前立腺癌のすべて）
近年頻度が急増し、重要な疾患になっている前立腺癌。その疫学、診断、治療法について最新の薬物療法も交えて概説する。前立腺癌の知識はプライマリーケアとしても重要である。担当教員：大山　力（泌尿器科）

8.　6月 4日（火）（題目：下部尿路の通過障害と機能障害）
社会の高齢化に伴って尿失禁や夜間頻尿など下部尿路症状に対する社会的重要度が増している。本講義では神経因性膀胱、前立腺肥大症、過活動膀胱、尿失禁について病態を理解し、urodynamic study などの診断法や手術療法、薬物療法について知識を習得し理解を深める。担当教員：浪間孝重（東北労災病院泌尿器科）

9.　6月11日（火）（題目：副腎疾患、精巣腫瘍、陰茎癌）
原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫など副腎疾患の外科的治療について講義する。さらに、男性の外陰部に発生する悪性腫瘍として、陰茎癌と若年男性に好発する精巣腫瘍に関して概説する。
担当教員：米山高弘(泌尿器科)

10.　6月18日（火）（題目：小児泌尿器科：Pediatric Urology）
先天性水腎症、膀胱尿管逆流症、停留精巣、精巣捻転などの小児泌尿器科疾患を小児泌尿器科の専門家が講義する。担当教員：坂井清英（宮城県立こども病院泌尿器科）

11.　6月25日（火）（題目：腎移植のすべて）
生体腎移植、献腎移植、ドナー腎採取術、組織適合性試験、抗体スクリーニング、免疫抑制剤、術後感染症、臓器移植法と倫理的問題点、移植患者の感想など、腎移植に関するすべての情報を１回の講義にまとめて効率よく概説する。担当教員：畠山真吾（泌尿器科）

12.　7月 2日（火）（題目：尿路および生殖器系の感染症）
急性膀胱炎、急性腎盂腎炎、急性・慢性前立腺炎、精巣上体炎などの尿路・男性生殖器感染症と低年齢化と耐性菌の出現が問題になっている性行為感染症の診断と治療について講義する。担当教員：米山高弘（泌尿器科）

13.　7月9日（火）（題目：女性泌尿器科：Female Urology）
尿失禁、骨盤性器脱、女性尿道疾患、間質性膀胱炎など女性の泌尿器疾患の診断と治療について講義する。
担当教員：橋本安弘（泌尿器科）

14.　7月16日（火）（題目：男性不妊症、男性性機能障害、男性の加齢）
男性不妊症の病態、診断と対応法、男性性機能障害について講義する。また、加齢に伴って引き起こされる様々な病態を対象にするGeriatric Urology,とAging maleの概念を紹介する。担当教員：今井　篤(泌尿器科)

15.　7月23日（火）（題目：性の分化と異常）
性分化は遺伝的性（genetic sex）により性腺の性（gonadal sex）が決定され、その後、外陰部の性（phenotypic sex）や脳の性（brain sex, gender identity）が分化していく。そして人間の性別には「社会的、文化的に形成される性（gender）」が存在する。性分化異常症は、一般的に出生時の外性器異常によって発見されることが多い。複雑で深遠な問題を含有するテーマをわかりやすく解説する。教科書43章654項
担当教員：山本勇人（泌尿器科）

16.　7月30日（火）（題目：腎・泌尿器外科手術の進歩）
経皮的アプローチ、内視鏡医学、低侵襲治療をリードしてきた腎・泌尿器外科学の進歩をわかりやすく説明する。従来の開放手術からEndourology, Laparoscopic surgery, Robotic surgeryという低侵襲治療への見事な進化を理解してほしい。

準備学習(予習・復習)等の内容
特に予習の必要はないが、講義の際に配布したハンドアウトを再度見直して復習することが望ましい。

教材・教科書　理解をしやすくする目的で、毎回講義の概要を記載したハンドアウトを配布する。
講義はパワーポイント、動画を用いて行う。講義の内容は原則として
Smith & Tanagho's General Urologyに準拠するが、進歩の早い領域なので、講義の内容は必ずしも教科書と同様ではない。

参考文献　図書館または泌尿器科学講座所蔵の教科書、学術誌を必要に応じて参考にすれば十分である。

成績評価方法及び採点基準
出席確認をと理解度チェックを目的とした講義毎の小テストと講義最終会終了後に実施される筆記試験によって
成績を評価する。出席率は7割以上を必須とする。総合評価で60点以上を合格とする。

授**授業形態・授業方法**　業は講義形式で行う。尚、担当は3名の学外講師を含む。9名の教員で分担する。

留意点・予備知識
これまでに学習した解剖学、生理学、薬理学、免疫学などの知識を整理しておくと理解しやすい。

オフィスアワー　担当代表教員：大山　力
シラバス作成者：大山　力
泌尿器科学講座受付に事前予約をして下さい。
受付時間：平日9:30-16:00

授業科目名	放射線腫瘍学	対象学生	４年次
時間割コード	31410	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	青木　昌彦	開講曜日・時限	火９・１０

授業としての具体的到達目標

1.放射線腫瘍学の基礎的事項から治療に至る概要を理解すること。

2.放射線腫瘍学は解剖学、生理学、病理学、生物学、物理学といった基礎科目と臨床腫瘍学全般の知識を要求される総合的な分野である。内容が高度かつ多岐に渡るので、講義では放射線腫瘍学の全貌と重要事項の要点を習得すること。

3.放射線腫瘍学は悪性腫瘍の診断と治療を行う全診療科と密接に関連しているため、集学的治療における放射線治療の役割について習得すること。

授業の概要

1.放射線治療の種類と治療計画・治療方法について概説する。

2.放射線治療の病態・ステージ別の治療方針について概説する。

3.放射線治療の疾患別・ステージ別治療成績について概説する。

4.放射線治療の急性期・晩期有害事象について疾患・照射部位と結びつけながら学ぶ。

5.最先端の放射線治療について学ぶ。

モデル・コア・カリキュラム

E-3-3）治療

E-6-1）生体と放射線

E-6-2）医療放射線と生体影響

E-6-3）放射線リスクコミュニケーション

F-2-5）放射線等を用いる診断と治療

授業の内容予定

第１回　4月9日（題目：放射線腫瘍学総論）

放射線腫瘍学・放射線治療とはどういうものか？（放射線腫瘍学講座：青木昌彦）

第２回　4月16日（題目：高精度放射線治療）

定位照射、強度変調照射、画像誘導照射、粒子線治療について（放射線腫瘍学講座：青木昌彦）

第３回　4月23日（題目：放射線生物学）

なぜ放射線で癌を治せるのか？　（放射線腫瘍学講座：廣瀬勝己）

第４回　5月7日（題目：放射線物理学）

放射線物理学の基礎、放射線治療の手順と工夫について（東北大学放射線治療科：角谷倫之）

第５回　5月14日（題目：肺癌・縦隔腫瘍の放射線治療）

進行肺癌の化学放射線治療、早期肺癌の定位照射などについて（附属病院放射線部：畑山佳臣）

第６回　5月21日（題目：Oncological emergency）

Oncoloical emergencyにおける放射線治療の役割について（放射線腫瘍学講座：川口英夫）

第７回　5 月 28 日（題目：前立腺癌の放射線治療）
前立腺癌の外部照射、小線源療法など（放射線腫瘍学講座：青木昌彦）

第８回　6 月 4 日（題目：脳腫瘍の放射線治療）
脳腫瘍の放射線治療と治療後の認知障害など（附属病院放射線部：畑山佳臣）

第９回　6 月 11 日（題目：頭頸部癌の放射線治療①）
咽頭・喉頭癌等の放射線治療法全般および化学放射線治療（放射線腫瘍学講座：川口英夫）

第 10 回　6 月 18 日（題目：頭頸部癌の放射線治療②）
①に引き続き動注療法、強度変調照射法など（放射線腫瘍学講座：川口英夫）

第 11 回　6 月 25 日（題目：婦人科癌の放射線治療）
子宮頸癌を中心とした婦人科癌の放射線治療について（放射線腫瘍学講座：青木昌彦）

第 12 回　7 月 2 日（題目：乳癌の放射線治療）
乳房温存療法、進行乳癌に対する術後照射などの理解（附属病院放射線治療科：佐藤まり子）

第 13 回　7 月 9 日（題目：消化器癌の放射線治療）
食道癌を中心とする消化器癌の放射線治療全般について（附属病院放射線部：畑山佳臣）

第 14 回　7 月 16 日（題目：悪性リンパ腫・血液疾患の放射線治療）
血液疾患に対する放射線治療の役割について（放射線腫瘍学講座：青木昌彦）

準備学習（予習・復習）等の内容
1. 放射線腫瘍学は放射線診断学と密接な関係にあるため、3 年次後期の放射線診断学を復習すること。
2. 講義で十分に網羅できない事項は、教科書あるいは関連する講義を参考に適宜補足して内容を習得すること。

教材・教科書　標準放射線医学　医学書院
がん・放射線療法 2017　篠原出版
放射線治療計画ガイドライン 2016　金原出版

参考文献　講義時に紹介する

成績評価方法及び採点基準
講義は毎回出席をとり、7 割以上の回数を出席すること。代理出席は認めない。成績評価は、試験結果、出席状況により総合判定し、その結果一定以上の得点をとったものに単位が与えられる。

授業形態・授業方法　PowerPoint による講義と講義資料配付

留意点・予備知識
近年の放射線治療の進歩はめざましく、教科書では不十分のところもあり、講義で理解を深めること。

オフィスアワー　青木昌彦（シラバス作成者）月・火・水・金　15：00～18：00

授業科目名	法医学	対象学生	４年次
時間割コード	35402	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	高橋　識志	開講曜日・時限	水１・２

授業としての具体的到達目標

1. 法律のかかわる医療・医学の問題に関し，社会の要請を見通し，解決するための実践的な思考方法を学ぶこと.
2. 死の概念，特に内因死と外因死の違いや内容につき，人間的・科学的観点から理解すること.
3. 異状死・異状死体の取扱い方法や，死亡診断書・死体検案書の作成方法を習得し，卒業後の実践に応用すること.

授業の概要

1. 内因死や外因死の病態生理や診断方法につき，多数の解剖事例・死体検案事例をもとに理解する．具体的には突然死（成人の内因性急死・乳児急死），損傷死，窒息死，中毒死，異常環境死について学習する.
2. 死亡診断書・死体検案書の具体的な作成方法につき，模擬症例をもとに習得する．これに関連し，死後経過時間推定に関する知識（死体現象）や個人識別に関する知識（法医遺伝学），さらに異状死・異状死体の実務的な取扱い法を学ぶ.
3. 実務上の関連項目として，臨床法医学（生体鑑定の手法・小児虐待の診断）や，法医放射線学（死後画像診断の方法）についても学習する.

モデル・コア・カリキュラム

B-2-1）死と法

B-2-2）診療情報と諸証明書

E-9-1）生物的死と社会的死

授業の内容予定

第１回　４月 10 日（水）　（題目：イントロダクション）　授業形式の説明，法医学の領域の紹介
法医学講座　高橋　識志

第２回　４月 17 日（水）　（題目：損傷 1）　総論：定義，死因との関係，法医学的な記載方法　各論 1：変色，圧迫痕，表皮剥脱　法医学講座　高橋　識志

第３回　４月 24 日（水）　（題目：損傷 2）　各論 2：創，頭蓋内損傷　法医学講座　高橋　識志

第４回　５月８日（水）　（題目：窒息 1）　総論：定義，窒息死の機序，窒息死の一般所見　各論 1：頸部圧迫
法医学講座　高橋　識志

第５回　５月 15 日（水）　（題目：窒息 2）　各論 2：溺水，浴槽内死亡，気道閉塞，酸欠など
法医学講座　高橋　識志

第６回　５月 22 日（水）　（題目：死体現象）　死体現象の定義，死後経過時間の推定方法，早期死体現象，晩期死体現象，特殊死体現象　法医学講座　高橋　識志

第７回　５月 29 日（水）　（題目：法中毒トピックス）　東北大学法医学分野　臼井　聖尊

第 8 回　6 月 5 日（水）　（題目：異常環境による死亡）　低体温症（凍死），焼死と焼損死体，熱中症，感電　法医学講座　高橋　識志
（6 月 12 日：日本法医学会学術全国集会のため休講）

第 9 回　6 月 19 日（水）　（題目：小児法医学）　秋田大学法医科学講座　美作　宗太郎

第 10 回　6 月 26 日（水）　（題目：法医遺伝学［法医 DNA 学］）　関西医科大学法医学講座　橋谷田　真樹

第 11 回　7 月 3 日（水）　（題目：成人の突然死 1）　総論：定義，法医学上の問題点，統計的傾向　各論：循環器疾患，呼吸器疾患　法医学講座　高橋　識志

第 12 回　7 月 10 日（水）　（題目：成人の突然死 2，異状死の取り扱い）　突然死各論：アルコール関連障害，感染症など　異状死の定義をめぐる問題，異状死の届け出方法　法医学講座　高橋　識志

第 13 回　7 月 17 日（水）　（題目：監察医からみた検案実務）　東京都監察医務院　森　晋二郎

第 14 回　7 月 24 日（水）　（題目：死亡時画像診断［Ai］について）　板柳中央病院　長谷川　範幸

第 15 回　7 月 31 日（水）　（題目：死亡診断書・死体検案書の書き方）　診断書/検案書の選択基準，具体的な記載方法　法医学講座　高橋　識志

準備学習（予習・復習）等の内容
法医学は応用医学であるため，これまでに履修した基礎医学・社会医学・臨床医学の知識が基本となる．

教材・教科書　とくに指定しない．高橋担当分は講義内容のハンドアウトを配布する．

参考文献　福島編．法医学 第 3 版，南山堂．
髙取監修．エッセンシャル法医学 第 5 版，医歯薬出版．
渡辺，齋藤．死体の視かた 第 3 版，日本法令出版．
DiMaio, DiMaio. Forensic Pathology, 2nd ed. CRC Press.
その他，講義中に適宜紹介する．

成績評価方法及び採点基準　筆記試験による．

授業形態・授業方法　PC プレゼンテーションを中心とした講義を行う．

留意点・予備知識　実際の解剖例・検案例などを提示する．
全ての講義において，事例の口外，スライドの撮影・Web アップロードは厳禁．

オフィスアワー　高橋　識志（担当代表教員・シラバス作成者）：随時（不在のことあり）

授業科目名	症候学	対象学生	４年次
時間割コード	31411	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	加藤　博之	開講曜日・時限	水３・４

授業としての具体的到達目標

日常臨床で高頻度に遭遇する症候・病態に適切に対応できるようになるために、主な症候・病態について鑑別診断を挙げながら初歩的な臨床推論を行うことができる。

15)授業の概要 1. 主な症候・病態の成因、発生機序、病態生理を述べることができる。

2. 主な症候・病態の鑑別診断を挙げ、一定の原則に基づいて分類することができる。

3. 複数の鑑別診断から一つの確定診断に至るための鑑別点を述べることができる。

＜モデル・コア・カリキュラム＞

F-1-1)発熱　F-1-2)全身倦怠感　F-1-3)食思(欲)不振

F-1-4)体重減少・体重増加　F-1-5)ショック　F-1-7)意識障害・失神

F-1-8)けいれん　F-1-9)めまい　F-1-10)脱水

F-1-11)浮腫　F-1-12)発疹　F-1-13)咳・痰

F-1-14)血痰・喀血　F-1-15)呼吸困難　F-1-16)胸痛

F-1-17)動悸　F-1-18)胸水　F-1-19)嚥下困難・障害

F-1-20)腹痛　F-1-21)悪心・嘔吐　F-1-22)吐血・下血

F-1-23)便秘・下痢　F-1-24)黄疸　F-1-25)腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤

F-1-26)貧血　F-1-27)リンパ節腫脹　F-1-28)尿量・排尿の異常

F-1-29)血尿・タンパク尿　F-1-30)月経異常　F-1-33)頭痛

F-1-34)運動麻痺・筋力低下　F-1-35)腰背部痛　F-1-36)関節痛・関節腫脹

F-2-1)臨床推論

授業の内容予定

第１回　4月10日（水）　症候学、医療面接、ショック、発熱

第２回　4月17日（水）　けいれん、意識障害・失神、関節痛・関節腫脹

第３回　4月24日（水）　チアノーゼ、脱水、全身倦怠感

第４回　5月8日（水）　肥満・やせ、黄疸、発疹

第５回　5月15日（水）　貧血、出血傾向、リンパ節腫脹

第６回　5月22日（水）　浮腫、動悸、胸水

第７回　5月29日（水）　胸痛、呼吸困難

第８回　6月5日（水）　咳・痰、血痰・喀血、めまい

第９回　6月12日（水）　頭痛、運動麻痺・筋力低下

第１０回　6月19日（水）　腹痛、悪心・嘔吐、腰背部痛

第１１回　6月26日（水）　嚥下困難・障害、食思(欲)不振

第１２回　7月3日（水）　便秘・下痢、吐血・下血

第１３回　7月10日（水）　休講

第１４回　7月17日（水）　腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤、タンパク尿

第１５回　7月24日（水）　血尿、尿量・排尿の異常、月経異常

第１６回　7月31日（水）　総合演習

準備学習（予習・復習）等の内容 ・自分が医師になった際に、どのような知識・思考法が求められるのかを、常に想像しながら学習すること。 ・本科目では１回ごとの授業の復習が大事である。毎回欠かさず復習すること。
教材・教科書 内科症候学：外来診療のすべて（Medical View 社）、診療診断学（高久史麿監修、医学書院）、内科診断学（福井次矢編、医学書院）、臨床推論－EBM と病態生理から症例を考える（後藤英司編、メジカルビュー社）、救急外来診療で役立つ症候から鑑別診断の進めかた（瀧　健治、加藤博之、河野寛幸、増田裕幸編、羊土社）
参考文献 図説病態内科講座 18 巻　症状・症候１（高久史麿監修、メジカルビュー社）、図説病態内科講座 19 巻　症状・症候２（高久史麿監修、メジカルビュー社）、救急医学　救急患者の初期対応と以後の治療方針（瀧　健治、西村謙一、十時忠秀編著、新興医学出版社）、症状からみる病態生理の基本（斉藤宣彦、照林社）、ER 流研修指導医㊙心得 47（加藤博之、羊土社）
成績評価方法及び採点基準 期末試験（筆記試験）と小テストおよび出席状況で評価する。期末試験の詳しい日時は 7 月頃に決定する。
授業形態・授業方法　　プリントまたはスライド、PC プレゼンテーションを使用する。
留意点・予備知識　　自ら学ぶ姿勢、自ら考える姿勢と出席を極めて重視する。
オフィスアワー　　担当代表教員：加藤博之　授業の行われる日の午前 9：00～10：00

授業科目名	救急・災害医学	対象学生	４年次
時間割コード	31412	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	花田　裕之	開講曜日・時限	水５・６

授業としての具体的到達目標

①日本における救急医学の歴史と救急医療体制について理解する。

②救急が扱う心肺蘇生法、外傷、ショック、敗血症、体温異常、中毒などの病態と診断法について理解する。

③災害の種類と災害医療体制について講義と、シミュレーション実習で理解する。

被ばく傷病者に対応するための緊急被ばく医療についての講義を行う。

授業の概要

①臓器別専門診療が発達した医療体制で救急医学がなぜ必要なのか、診療方法はいかなるものなのかを理解する。

②救急医が救急医療体制全体で、また救急医療現場で果たす役割を理解する。

③主に救急医が中心となって扱う疾患について病態と治療法を理解する。

④救急医の役割が大きい災害医療について理解する。

⑤高齢化社会における救急医の役割を理解する。

授業の内容予定

第１回　４月 10 日（水）（題目：救急・災害総論）救急医療の歴史と救急医学が扱う疾患を理解する。また、災害の分類について理解し、日本の災害医療体制がどのように整備されてきたかを学ぶ。救急災害医学講座　花田裕之

第２回　４月 17 日（水）（題目：心肺蘇生法とそのエビデンス）2015 年ガイドラインに準じた心肺蘇生法を習得するとともに、ガイドラインに至ったエビデンスを理解する。救急災害医学講座　花田裕之

第３回　４月 24 日（水）（題目：外傷総論・各論）
外傷の分類、重症度評価を理解する。主な外傷として、胸部外傷の成因、病態、症状、診断、治療を理解する。
救急災害医学講座　伊藤勝博

第４回　５月８日（水）（題目：緊急被ばく医療）緊急被ばく医療の基本的知識を理解し、東日本大震災で行われた対応を学ぶ。救急災害医学講座　伊藤勝博

第５回　５月 15 日（水）（題目：意識障害・環境による障害）意識障害の鑑別診断と治療法を理解する。熱中症や低体温症といった環境要因による代表的疾患の病態、治療を理解する。救急災害医学講座　矢口慎也

第６回　５月 22 日（水）（題目：腹部外傷と Acute Care Surgery）腹部外傷の成因、病態、症状、診断、治療を理解する Damage Control Surgery 歴史背景と概念を学ぶ。Acute Care Surgery とは何か理解する。
救急災害医学講座　石澤義也

第７回　５月 29 日（水）（題目：プレホスピタルケアとメディカルコントロール）病院前救護の基礎的知識を理解し、メディカルコントロールの概念やドクターヘリの役割について学ぶ。青森県立中央病院　齋藤兄治

第 8 回　6 月 5 日（水）（題目：ショック、敗血症、多臓器不全）ショックの分類とその治療法を理解する。敗血症、多臓器不全の病態と診断基準を学ぶ。救急災害医学講座　花田裕之

第 9 回　6 月 12 日（水）（題目：ER 診療）ER 診療の基本的知識を理解し、実診療について学ぶ。また、患者の重症度や緊急度を理解して、治療の優先順位について学ぶ。健生病院　太田正文

第 10 回　6 月 19 日（水）（題目：中毒）薬剤、化学物質、自然毒などの急性中毒に対する「全身管理」「吸収阻害」「排泄促進」「解毒・拮抗剤」の原則を理解し、代表的な中毒の対応を理解する。救急災害医学講座　花田裕之

第 11 回　6 月 26 日（水）次回実習のため振替

第 12 回　7 月 3 日（水）5,6,7,8 時限（題目：災害医療・トリアージ・多数傷病者対応実習）
実際にスタート法でトリアージできるようになる。弘前市で多数傷病者が発生し、弘前大学医学部付属病院は 100 名程度の患者の受け入れを行いながら、三次救急の対応も担わなくてはならない。机上シミュレーションで多数傷病者対応を学ぶ。
（5 限は、大講義室にて講義。6 限～8 限は、病院大会議室にて実習）
救急災害医学講座　伊藤勝博・矢口慎也・石澤義也・花田裕之

準備学習（予習・復習）等の内容
授業時間内で救急医学分野すべてを網羅できないため、救急医学特有の疾患中心の授業となる。各診療科での救急疾患はそれぞれの診療科で学ぶこと。また、授業で扱えなかった分は教科書で補うこと。

教材・教科書
標準救急医学　医学書院
救急蘇生法の指針 2015　医療従事者用　へるす出版
外傷専門診療ガイドライン　へるす出版
AMLS 日本語版　へるす出版

参考文献
急性中毒ハンドブック　医学書院
救急診療指針　へるす出版

成績評価方法及び採点基準
単位認定は 100 点満点で 60 点以上の成績評価を得たものを合格とする。

授業形態・授業方法　スライドを用いたプレゼンテーション形式による講義

オフィスアワー　担当代表教員：花田裕之　講座受付　：山本千種
講座受付（39-5375）に事前に予約すること。

授業科目名	臨床腫瘍学	対象学生	４年次
時間割コード	31413	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	佐藤　温	開講曜日・時限	水７・８

授業としての具体的到達目標

1. がん医療の実臨床現場に応用できるがんに関する基礎知識を理解する.
2. 各悪性腫瘍に対する適切な診療ができるように各標準治療の知識を理解する.
3. 治療する立場として，苦痛を抱えるがん患者に向き合う姿勢を習得する.
4. 薬物治療開発の結果解釈の仕方と方法論を習得する.
5. がん医療における，チーム医療の内容とその重要性について理解する.

授業の概要

1. がん診療に必要な病態・診断・治療等に関する基礎知識を体系的に学ぶ.
2. 各悪性腫瘍の病期ごとの標準(薬物)治療を臓器横断的に学ぶ.
3. 実臨床現場において実践される，苦痛を抱えるがん患者への治療知識を包括的に学ぶ.
4. 薬物療法における臨床試験，治験等について，結果解釈の仕方と方法論について学ぶ.
5. がん医療における，チーム医療の内容とその重要性について学ぶ.

授業の内容予定

第１回　４月 17 日（水）（題目：がんに関する基礎知識Ⅰ - 診断-）がんの診断と病期分類について学ぶ，取扱い規約と治療ガイドラインについて学ぶ．石黒　敦

第２回　４月 24 日（水）（題目：がんに関する基礎知識Ⅱ　- 概論-）がんにかかわる疫学/統計について学ぶ，がんの臨床試験について学ぶ．佐藤　温

第３回　５月 08 日（水）（題目：がん薬物療法総論Ⅰ）殺細胞性抗がん薬について学ぶ，術前、術後補助薬物療法の意義について学ぶ．高畑　武功

第４回　５月 15 日（水）（題目：がん薬物療法総Ⅱ）分子標的薬（抗体薬・小分子化合物）について学ぶ．伊東　重豪

第５回　５月 22 日（水）（題目：がん薬物療法総論Ⅲ）がん薬物療法に対する支持療法について学ぶ，有害事象判定法について学ぶ．佐藤　温

第６回　５月 29 日（水）（題目：がん薬物療法総論Ⅳ）Oncology emargency について学ぶ，間質性肺炎及び腫瘍随伴症候群について学ぶ．石黒　敦

第７回　６月 05 日（水）（題目：がん薬物療法総論Ⅴ）免疫療法、内分泌療法について学ぶ，代替療法、サプリメントの実情・限界について学ぶ．高畑　武功

第８回　６月 12 日（水）（題目：【各論】肝癌、膵胆道癌の薬物療法）肝癌、膵癌、胆道癌の薬物療法及び治療戦略について学ぶ，神経内分泌腫瘍，消化管間質腫瘍について学ぶ．高畑　武功

第 9 回　6 月 19 日（水）特別講義（題目：がん診療における患者の生と死）医療現場の実際から、医療倫理について学ぶ．がん・感染症センター都立駒込病院名誉院長　佐々木 常雄　※レポート有

第 10 回 6 月 26 日（水）（題目：【各論】大腸癌、原発不明癌の薬物療法）大腸がんの薬物療法について学ぶ，原発不明がんの薬物療法について学ぶ．佐藤　温

第 11 回 7 月 10 日（水）特別講義（題目：がんの臨床試験とがん薬物療法の現場）新規抗癌剤・新規レジメンの開発の実際の展開について学ぶ，地域医療の視点からがん医療の現場を学ぶ．三沢市立三沢病院事業管理者　坂田　優　※レポート有

第 12 回 7 月 17 日（水）（題目：【各論】悪性リンパ腫の薬物療法）悪性リンパ腫の薬物療法について学ぶ，治癒が期待される薬物療法実践の姿勢を学ぶ．久保　恒明

第 13 回 7 月 24 日（水）5.6 時限（題目：【各論】肺癌・乳癌の薬物療法）肺癌の標準薬物療法について学ぶ，乳癌の標準薬物療法及び治療戦略について学ぶ．西條　康夫

第 14 回 7 月 24 日（水）7.8 時限（題目：【各論】食道・胃癌の薬物療法）食道癌の標準薬物療法と治療戦略について学ぶ，胃癌の標準薬物療法について学ぶ．佐藤　温

第 15 回 7 月 31 日（水）（題目：【総括】がん医療現場の実際）医療にかかわる倫理原則について学ぶ，チーム医療や緩和医療について学ぶ．佐藤　温

準備学習（予習・復習）等の内容

1. 薬理学、生化学等の基礎知識の復習をしておくことが望まれる．
2. 各論での該当臓器専門科の講義の復習及び教材による予習をしておくことが望まれる．
3. 定期筆記試験範囲は授業内容のみでなく，教材・教科書のすべての範囲を含む．

教科書

1. 新臨床腫瘍学（改訂第 5 版）　日本臨床腫瘍学会編集（南江堂）2018 年
2. 適宜、ハンドアウト等のプリント類（含む資料）を配布する

参考図書

1. がん診療レジデントマニュアル　第 7 版　国立がんセンター内科レジデント編（医学書院）2016 年
2. What's New in Oncology がん治療エッセンシャルガイド（南山堂）2015 年

成績評価方法及び採点基準

1. 出席点及び授業態度を加味し、定期筆記試験により統括的評価を行う．
2. 特別講義はレポート評価を行う．

授業形態・授業方法　プリントとスライドによる講義に加え、双方向性講義の形式を取り入れる

留意点・予備知識 講義時間で、臨床腫瘍学の全てを網羅することはできないので、講義で十分でない事項は、適宜教科書/参考図書を参考に適宜補足して、内容を習得すること.
オフィスアワー　担当代表教員/シラバス作成者：佐藤　温　　毎週月曜日　15:00～16:00 ※その他，教室秘書を通して適宜時間調整します
その他 1.　実臨床で使用される最新の治療内容情報を提供する，その知識を実臨床にどのように応用できるのかという視点で理解して頂きたい. 2.　本科目の学習を通して，がん医療の社会的問題を理解して頂きたい. 3.　本科目の知識習得を前提に，後期「コミュニケーション実習」を行います.

授業科目名	血液内科学Ⅰ	対象学生	４年次
時間割コード	31414	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	玉井　佳子	開講曜日・時限	水９・１０

授業としての具体的到達目標

1. 止血・血栓の機序を理解する。
2. 出血性疾患、血栓傾向を学ぶ。
3. 各種貧血の鑑別を習得する。
4. 輸血医学の実際を学ぶ。

授業の概要　国家試験レベルでの血液疾患全体の知識を広く習得することを主眼とする。
適宜、最新の病態生理・治療の進歩を紹介する。

授業の内容予定

第１回　４月 10 日（水）（題目：血液総論）血液総論　血液の組成、血球成分、血漿成分について学ぶ。
山形和史（消化器血液内科）

第２回　４月 17 日（水）（題目：止血の機序）止血の生理的メカニズムを理解する。　高見秀樹（消化器血液内科）

第３回　４月 24 日（水）（題目：止血機能検査と疾患）止血異常の診断に必要な臨床検査と、異常をきたす疾患を学ぶ。　高見秀樹（消化器血液内科）

第４回　５月８日（水）（題目：先天性出血性疾患Ⅰ）血友病とフォンウィルブランド病を中心とした先天性凝固因子異常の病態・診断・治療を学ぶ。　玉井佳子（輸血・再生医学）

第５回　５月 15 日（水）（題目：先天性出血性疾患Ⅱ）先天性血小板異常症の病態・診断・治療を学ぶ。
山形和史（消化器血液内科）

第６回　５月 22 日（水）（題目：後天性出血性疾患・血栓傾向）後天性出血性疾患の病態を学ぶ。血栓傾向（特に凝固阻止因子異常）について学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第７回　５月 29 日（水）（題目：貧血総論）貧血の定義、成因、分類について概説する。
玉井佳子（輸血・再生医学）

第８回　６月５日（水）（題目：小球性貧血）鉄欠乏性貧血の原因・診断・治療を学ぶ。鉄欠乏性貧血と鑑別が必要な他の小球性貧血について学ぶ　玉井佳子（輸血・再生医学）

第９回　６月 12 日（水）（題目：大球性貧血）巨赤芽球性貧血の病態・分類・診断・治療を学ぶ。
玉井佳子（輸血・再生医学）

第 10 回　６月 19 日（水）（題目：正球性貧血・溶血性貧血Ⅰ）溶血性貧血の概念と分類を学ぶ。　遺伝性球状赤血球症について学ぶ。　玉井佳子（輸血・再生医学）

第 11 回　６月 26 日（水）（題目：正球性貧血・溶血性貧血Ⅱ）免疫性溶血性貧血の病態・分類・診断・治療を学ぶ。
玉井佳子（輸血・再生医学）

第 12 回　７月３日（水）（題目：正球性貧血・幹細胞異常による造血障害）再生不良性貧血、赤芽球癆、発作性夜間血色素尿症について学ぶ。玉井佳子（輸血・再生医学）

第 13 回　７月 10 日（水）（題目：貧血の鑑別）代表的な貧血の診断・鑑別を中心に臨床問題を通じて学ぶ。
山形和史（消化器血液内科）

第 14 回　７月 17 日（水）（題目：血液型の基礎と臨床）血液型の基礎を理解し、輸血治療に必要な基礎知識を学ぶ。
玉井佳子（輸血・再生医学）

第 15 回　７月 24 日（水）（題目：輸血療法Ⅰ）輸血用血液製剤の種類や輸血前検査、輸血副作用について学ぶ。
玉井佳子（輸血・再生医学）

第 16 回　７月 31 日（水）（題目：輸血療法Ⅱ）内科・外科・救急・周術期の輸血療法の実際を学ぶ。
玉井佳子（輸血・再生医学）

教材･教科書

・イラスト血液内科（文光堂）
・病態生理できった内科学・血液疾患（医学教育出版社）
・クリニカルアイ　血液・造血器（医学評論社）
・病気が見えるシリーズ　血液（メディックメディア社）
・よくわかる輸血学（羊土社）

成績評価方法及び採点基準　　期末試験、授業の出席状況や聴講態度により評価する。

授業形態･授業方法　　配布したプリントを主体とします。
液晶プロジェクターを使用することもあります。

留意点･予備知識

・ポイントをおさえた講義を心がけますので復習を重視して学習してください
・基本的な点の講義になりますので、わからない事や聞き逃した点は、その場で遠慮せずに質問・確認して下さい
・講義を超えた範囲での興味がある点の質問も歓迎します（こちらは、出来れば講義後にお願いします）

オフィスアワー　　シラバス作成者：山形和史　月曜夕方以降（要事前確認　39-5053）

授業科目名	形成外科学	対象学生	４年次
時間割コード	31418	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	漆舘　聡志	開講曜日・時限	木３・４

授業としての具体的到達目標

１，形成外科であつかう疾患について理解すること

２，形成外科的治療の根本となる創傷治癒について理解すること

３，形成外科で行う保存的治療と外科的治療について理解すること

授業の概要

モデル・コア・カリキュラム

C-4-5）炎症と創傷治癒　　C-4-6）腫瘍　　D-3-1）構造と機能

D-3-2）診断と検査の基本　　D-3-3）症候　　D-3-4）疾患

F-1-37）外傷・熱傷　　F-2-9）外科的治療と周術期管理

授業の内容予定

第１回　4月11日（木）　（題目：形成外科総論）

形成外科とはどのような診療科であるのかを理解するため、その定義、歴史、対象疾患、手技などについて学習し，形成外科の役割についてその概要を理解する。　漆舘聡志

第２回　4月18日（木）　（題目：創傷治癒）

「傷をきれいに治す」「傷跡（瘢痕）を目立たなくする」ためには、どうしたらよいか。実際の治療にも役立つ、創傷治癒の基本的知識を学習する。　漆舘聡志

第３回　4月25日（木）　（題目：形成外科的手技）

形成外科では、一般外科と同様な手技に加え、形成外科特有の手技が存在する。形成外科にて行われる基本的な治療手技（縫合法、組織移植、軟膏治療等）について講義する。　齋藤百合子

第４回　5月9日（木）　（題目：再建外科学Ⅰ：皮弁）

形成外科では、腫瘍切除後や外傷による体表面の欠損に対し、さまざまな手術法を駆使して再建を行っている。その手術法の一つである皮弁を用いた各種再建法の基礎と臨床例について講義する。　漆舘聡志

第５回　5月16日（木）　予備日

第６回　5月23日（木）　予備日

第７回　5月30日（木）　（題目：再建外科学Ⅱ：植皮）

形成外科では、腫瘍切除後や外傷による体表面の欠損に対し、さまざまな手術法を駆使して再建を行っている。その手術法の一つである植皮について講義する。　齋藤百合子

第８回　6月6日（木）　（題目：外傷学Ⅰ：熱傷）

熱傷は局所の熱による反応のみならず、重症になると全身にダイナミックな反応を起こすものである。熱傷による局所的、全身的変化の病態および治療について講義する。　三上　誠

第９回　6 月 13 日（木）　　（題目：特別講義：美容外科）
美容は主に美容外科と美容皮膚科に分類される。美容外科分野では代表的な手術症例を提示し、美容皮膚科分野では紫外線による光老化を中心に、その対策やレーザー治療およびスキンケアを含めた講義をおこなう。
福士信哉（向井中野クリニック院長）

第 10 回　6 月 20 日（木）　　（題目：外傷学 II：顔面軟部組織損傷、顔面骨骨折）
瘢痕や変形が目立ちやすい顔面の軟部組織損傷、骨折は形成外科で扱う疾患である。その特殊性も含めて診断、治療について講義する。　　横井克憲

第 11 回　6 月 27 日（木）　　（題目：表在性先天異常 I）
頭の先からつま先まで体表面のあらゆる先天異常を形成外科では扱っている。症例を紹介しながら、その診断、治療について講義する。　　横井克憲

第 12 回　7 月 4 日（木）　　（題目：表在性先天異常 II：唇顎口蓋裂）
唇顎口蓋裂は、関連科とのチームアプローチが必要であり、また、出生直後から成人に至るまで継続した治療を要する、形成外科の中でも重要な疾患の一つである。その治療の流れ、詳細について講義する。　　横井克憲

第 13 回　7 月 12 日（金）1.2 時限　曜日変更注意　　（題目：特別講義：耳介の先天異常）
小耳症をはじめとする耳介の先天異常に対する、保存的治療および外科的治療について解説する。特に小耳症手術は形成外科治療の中でも最も高度な技術を要する疾患であり、良好な結果を得るために必要な知識、技術につき講義をおこなう。　　四ッ柳高敏（札幌医科大学形成外科教授）

第 14 回　7 月 18 日（木）　　（題目：肥厚性瘢痕、ケロイド、難治性潰瘍）
肥厚性瘢痕、ケロイドはともに創傷治癒過程においてコラーゲン線維の生成が過剰に起こり、瘢痕が隆起した状態であるが、病態像は種々の点で異なる。両者の相違点、治療法について講義する。
難治性潰瘍とは、治療に抵抗性の潰瘍であるが、その原因としては血行障害、感染など様々な因子があげられる。難治性潰瘍の原因、創管理などについて講義する。　　三上　誠

第 15 回　7 月 25 日（木）　　（題目：形成外科学講義総括：試験対策）
これまでの講義内容を復習の意味も含め総括するとともに、過去に出題された形成外科関連の国家試験問題などの解説をおこない試験に向けて形成外科の理解を深める。　　漆舘聡志
第 16 回　8 月 1 日（木）　　試験（予定）　　漆舘聡志

教材・教科書　　プリントを配布する。

成績評価方法及び採点基準　　期末試験および出欠席、授業態度等により総合的に評価する。

授業形態・授業方法　　主として PC プレゼンテーションによる授業を行う。

留意点・予備知識　　遅刻をしないこと。

オフィスアワー　　担当代表教員：漆舘聡志、オフィスアワーは特に設けませんので相談がある場合には下記アドレスにメールで連絡してください。

授業科目名	皮膚科学	対象学生	４年次
時間割コード	31415	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	澤村　大輔	開講曜日・時限	木５・６

授業としての具体的到達目標

1. 皮膚科学（dermatology）総論は、皮膚の構造と機能を学び，環境からの防御，免疫の場としての意義を学ぶ。人間的・科学的観点から人体の病気（疾病、疾患）の概念を理解すること。

2. 科学的観点から、皮膚疾患の機序（病理）やその本態・メカニズム（病態）を習得すること。

3. 皮膚疾患の機序・本態から、患者をいかに治すかという基本的な問題解決の基礎的思考を学ぶこと。

授業の概要

1. 皮膚疾患の拡がりを知り、その分類を理解し、各疾患の成り立ちを知る。

2. 皮膚科学は、解剖学、組織学、生化学、免疫学などを基礎とし、皮膚疾患の概念基盤を学ぶ。

3. 基本的な皮膚病変を理解し、次いで、各疾患を作り上げている病変の形態学的変化について学ぶ。（具体的には、細胞の障害、代謝の異常、免疫、炎症、感染症、循環の障害、腫瘍、神経病理について疾患と結びつけながら学ぶ。）

モデル・コア・カリキュラム

D-3-1）構造と機能　　D-3-2）診断と検査の基本

D-3-3）症候　　D-3-4）疾患

授業の内容予定

第１回　４月 11 日（木）皮膚の構造と機能・発疹学・皮膚病理組織学

：皮膚は人体最大の臓器であり，内蔵の鑑である。皮膚の構造と機能を学び，環境からの防御，免疫の場としての意義を学ぶ。発疹の形態は一様ではなく、組織像も多彩である。皮膚病変から，全身が見えてくる。

皮膚科学講座　澤村　大輔

第２回　４月 18 日（木）湿疹・接触皮膚炎・アトピー性皮膚炎・薬疹・中毒疹

：社会問題となっているアトピー性皮膚炎を中心に，最近の病因論，治療法について学ぶ。皮膚科学の臨床の重要な位置を占める多彩な皮疹と原因薬剤の検索法を学ぶ。　皮膚科学講座　澤村　大輔

第３回　４月 25 日（木）水疱症・膿疱症

：先天性表皮水疱症の遺伝子診断は弘前大学が本邦で初めて高度先進医療に指定された．また，免疫異常に伴う水疱症も高齢社会で増加しており，臨床医には必須の知識である。　皮膚科学講座　澤村　大輔

第４回　５月９日（木）膠原病・血管炎・紫斑症

：全ての膠原病が，皮膚粘膜症状を呈するといっても過言ではない。診断基準にかかわる皮疹の見方，組織変化，免疫組織学について学ぶ。また、主な血管炎についても学ぶ。　皮膚科学講座　松﨑　康司

第５回　５月 16 日（木）ウイルス性皮膚疾患

：皮疹をみれば原因ウィルスが推測できる。特徴的所見を見逃してはいけない。単純疱疹，水痘，伝染性紅斑，風疹，麻疹，伝染性軟属腫などの特徴を学ぶ。　皮膚科学講座　中野　創

第 6 回　5 月 20 日（月）9･10 時限　　曜日変更注意　皮膚は地球を救う
：弘前大学出身、大阪大学の玉井克人教授が、先生の行っている再生誘導医学の研究を通して、皮膚がいかに素晴らしいかを熱く語る。　大阪大学再生誘導医学講座　玉井　克人

第 7 回　5 月 23 日（木）紅斑紅皮症・色素異常症
：色素沈着性病変は多彩である。遺伝性疾患，後天性疾患，その近代的治療法を学ぶ。また、紅斑を主徴とする紅斑性疾患も皮膚科では重要である。　皮膚科学講座　松﨑　康司

第 8 回　5 月 30 日（木）良性腫瘍・代謝異常症・形成異常
：皮膚には多くの良性腫瘍があるが、その主なものを学ぶ。また、糖・蛋白・脂質・など様々な体内物質の代謝異常により、臓器障害を来たす。皮膚病変はそれぞれ特徴的であり、それらの理解は、臨床実地において非常に有用である。
皮膚科学講座　六戸　大樹

第 9 回　6 月 6 日（木）光線過敏症・物理化学的皮膚障害
：ヒトは紫外線から逃れて生活することは出来ない。紫外線は皮膚の老化，多くの皮膚癌の元凶となる。また、熱傷や褥瘡の管理も重要である。
皮膚科学講座　中野　創

第 10 回　6 月 13 日（木）角化症
：代表的皮膚疾患である乾癬は，難治性のゆえに社会問題化している。特徴的な臨床像，組織像，治療法は試験問題としても格好の材料になる。遺伝性角化症も概説する。皮膚科学講座　中野　創

第 11 回　6 月 20 日（木）悪性腫瘍
：皮膚悪性腫瘍は急増している。従って，皮膚腫瘍の診断は生命の予後を決定する意味で極めて重要である。とくに，悪性黒色腫の非観血的診断法，病理組織学，治療は必須の知識となる。皮膚科学講座　会津　隆幸

第 12 回　6 月 27 日（木）皮膚細菌感染症・皮膚真菌症・動物性皮膚疾患
：日常の皮膚疾患のおよそ 30%を占める。皮疹から病原菌，原因となる医動物を推測し，予防法とアドバイスについて地域医療には必要である。また、真菌感染症も皮膚には多い。皮膚科学講座　会津　隆幸

第 13 回　7 月 4 日（木）母斑・母斑症・血管腫
：赤あざ，黒あざ，広範な先天奇形などは精神的衝撃が大きくメンタルケアも重要である。併せて近代的レーザー治療の適応，手術的適応についての適切なアドバイスができるような知識を学ぶ。皮膚科学講座　中島　康爾

第 14 回　7 月 11 日（木）性行為感染症・皮膚結核・ハンセン病・サルコイドーシス
：梅毒のみが性病ではない。ヘルペスウィルス，疣贅ウィルス，AIDS ウィルス（HIV），真菌症から疥癬にいたるまで，現代の性病は多彩である。予防法と治療法の実際を学ぶ。
皮膚結核，ハンセン病の知識は，本邦のみならず世界に羽ばたく臨床医には必須である。サルコイドーシスの皮疹の多様性と全身症状の関連も必須の知識である。皮膚科学講座　相樂　千尋

第 15 回　7 月 18 日（木）蕁麻疹・皮膚付属器疾患

：蕁麻疹や皮膚掻痒の原因は多彩であり、内臓病変が明らかになることもある。毛髪，爪甲の疾患は，少なくない。全身性疾患との合併も無視できない。診断と治療法を学ぶ。皮膚科学講座　滝吉　典子

準備学習（予習・復習）等の内容

1.講義で十分に網羅できない事項は、テキスト（教科書）を参考に適宜補足して、内容を習得すること。このため、教科書は必ず 1 冊は準備すること。講義時間で皮膚科学のすべてを網羅することはできないので、テキスト（教科書）を参考に適宜補足して、内容を習得すること。

教科書および参考書

1.やさしい皮膚科学（澤村大輔著、発行：診断と治療社）

2.あたらしい皮膚科学（清水宏著、発行：中山書店）

3.皮膚科学（大塚藤男著、金芳堂）

成績評価方法及び採点基準　　授業終了後に筆記試験を行う。

授業形態・授業方法　　教科書並びにスライドによる説明を行う。

授業担当に、1 名の学外講師を含む。

留意点・予備知識

1.積極的な予習は講義の理解を深める。欠席しないこと。

2.講義で十分に網羅できない事項は、テキスト（教科書）を参考に適宜補足して、内容を習得すること。このため、教科書は必ず準備すること。

オフィスアワー　　澤村　大輔（担当代表教員/シラバス作成者）　木曜日午後、時間帯は事前に問い合わせる。

授業科目名	歯科口腔外科学	対象学生	４年次
時間割コード	31416	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	小林　恒	開講曜日・時限	木７・８

授業としての具体的到達目標

口腔顎顔面の構造と機能を正しく理解し、これらの機能に障害をもたらす種々の疾患の病態・診断・治療等に関する基礎的知識の修得する。

授業の概要

1. 口腔顎顔面の構造と機能を正しく理解する。
2. 咀嚼と嚥下について理解する
3. 顎口腔に発生する各疾患の症状と診断そして治療法を学ぶ

モデル・コア・、カリキュラム

D-7-1)　構造と機能　　D-14-1)　構造と機能　　D-14-3)　口腔系に関する主要症候

D14-4) -(1) 口腔系の良性腫瘍　D14-4) -(2) 腫瘍性疾患

授業の内容予定

第１回　４月 11 日（木）（題目：口腔顎顔面の発生・構造・機能）口腔・顎顔面を構成する臓器の発生学・解剖学的知識を復習し、主な機能について理解を深める。歯科口腔外科学講座　小林恒

第２回　４月 18 日（木）（題目：歯と歯周組織Ⅰ）歯と歯周組織に発生する疾患、特に齲蝕と歯周病の病因・病態・予防法などについて学ぶ。　歯科口腔外科学講座　小林恒

第３回　４月 25 日（木）（題目：歯と歯周組織の疾患Ⅱ）

齲蝕と歯周病による口腔機能障害とそれらに継発する重篤な疾患について学ぶ。　歯科口腔外科学講座　小林恒

第４回　５月９日（木）（題目：顎口腔の嚢胞性疾患）

顎口腔領域において発生頻度の高い嚢胞性疾患の分類と病態ならびに診断・治療法について学ぶ。

歯科口腔外科学講座 中川祥

第５回　５月 16 日（木）（題目：顎口腔の良性腫瘍）

顎口腔領域に発生する良性腫瘍（歯原性・非歯原性）の分類と病態ならびに診断・治療法について学ぶ。

歯科口腔外科学講座 中川祥

第６回　５月 23 日（木）（題目：顎関節疾患）

顎関節の構造と機能ならびに顎関節疾患の病態・治療法、特に顎関節症の病因・病態について学ぶ。

弘前大学医学部附属病院　久保田耕世

第７回　５月 30 日（木）（題目：口腔顎顔面の外傷）

顎口腔領域における軟組織・硬組織の外傷、特に顎骨骨折の病態・診断・治療法について学ぶ。

弘前大学医学部附属病院　久保田耕世

第 8 回　6 月 6 日（木）（題目：顎変形症）
口腔顎顔面の形態異常を呈する疾患、特に下顎前突症の病態と診断、外科的顎矯正手術による治療法について学ぶ。
弘前大学医学部附属病院　久保田耕世

第 9 回　6 月 13 日（木）（題目：全身疾患と口腔病変）
全身疾患の部分症状としての口腔病変と口腔病変により他臓器に発症する疾患について学ぶ。　学部長講師　木村博人

第 10 回　6 月 20 日（木）（題目：唾液腺の機能と疾患、口腔ケアの意義）咀嚼・嚥下・構音における唾液の補助的機能と唾液腺に発症する主な疾患について学ぶ。次に、がん患者などの周術期や高齢者における口腔ケアの意義について概説する。　学部長講師　木村博人

第 11 回　6 月 27 日(木）（題目：歯科用インプラントによる口腔機能の回復）種々の原因による歯の欠損に対して歯科用インプラントを用いた機能回復について学ぶ。　秋田大学歯科口腔外科　福田雅幸

第 12 回　7 月 4 日(木）（題目：顎口腔の悪性腫瘍ー総論ー）顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の疫学・病因・分類・病態・診断・治療法について総論的に学ぶ。歯科口腔外科学講座　小林恒

第 13 回　7 月 11 日（木）（題目：口腔粘膜疾患と薬剤性顎骨壊死）口腔粘膜疾患の診断と治療およびビスフォスフォネート製剤を中心とした薬剤に起因して顎骨壊死について学ぶ。北海道大学歯学部口腔診断内科　北川善政

第 14 回　7 月 18 日（木）（題目：顎口腔の悪性腫瘍ー各論ー）口腔癌の病態と治療法・手術法ならびに術後機能回復などについて、代表的な症例を供覧し理解を深める。歯科口腔外科学講座　小林恒

第 15 回　7 月 25 日（木）　学期末試験・演習　歯科口腔外科学講座　小林恒

第 16 回　8 月 1 日（木）　予備日

初回講義時に授業内容を要約した講義ノートを配布する。

参考文献　口の中がわかる　ビジュアル歯科口腔外科学読本　クイッテンセンス出版

成績評価方法及び採点基準
講義毎に出欠を取り、講義 13 回のうち２／３以上の出席を学期末試験の受験資格とする。出席点と学期末試験を合わせて 100 点満点とする。単位認定は 100 点満点で 60 点以上の成績評価を得た者を合格とする。

授業形態･授業方法　主としてスライドを用いた講義形式とする。

留意点･予備知識　口腔・顎顔面領域の解剖学的名称、講義ノートは予習しておくことが望ましい。

オフィスアワー　担当代表教員・シラバス作成者：小林　恒　月曜日 12：30～13：30
予め電話で確認して下さい（39-5127）

授業科目名	小児外科学	対象学生	４年次
時間割コード	31417	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	袴田　健一，平林　健	開講曜日・時限	木９・１０

授業としての具体的到達目標

1.小児外科概論において、小児特に新生児特有の生理機能の特性を学び、その術前・術中・術後管理法を理解する。

2.各疾患の基礎となる解剖学的・発生学的・生理学的な特性に基づいて、その病態を理解する。

3.各疾患の病態ならびに小児特に新生児の生理機能の特性を踏まえた上で、患者をいかに診断・治療するかという問題解決の基本的な知識を学ぶ。

授業の概要

1.小児外科は、一般的には16歳未満の小児を対象とする外科であり、一般的には成人の消化器・一般外科に相当する領域を担当している。

2.小児外科で扱う疾患は内臓や体表の先天性形成異常が多く、その特性・病態を学ぶ。

3.小児外科では、未熟児・新生児から思春期前後の広い年齢層を担当するが、各年齢層に特有な生理機能を理解する。

モデル・コア・カリキュラム

E-7-1）胎児・新生児　　E-7-2）乳幼児　　E7-3）小児期全般　　E7-4）思春期

授業の内容予定

第１回　　4月11日（木）

（題目：小児外科–術前、術後管理）　担当：小児外科：平林　健

各題目における代表的な小児外科疾患の概念、発生、症状、診断、および治療法を理解する。

第２回　4月18日（木）外科学会のため休講　　→4月15日（月）5コマ に振替

（題目：顔面・頚部・呼吸器疾患）　担当：小児外科：小林　完

小児に発生する頸部疾患ついての診断、治療を理解する。小児呼吸器外科の概念・疾患・治療法を理解する。

第３回　　4月25日（木）

（題目：食道疾患）　担当：小児外科：平林　健

先天性食道閉鎖症・先天性食道狭窄症の病型、診断治療法について理解する。食道アカラシアの病態、治療を理解する。

小テスト①：短答式（第１回及び第２回講義範囲）

第４回　　5月9日　（木）

（題目：横隔膜疾患）　担当：小児外科：平林　健

横隔膜ヘルニア、弛緩症との鑑別、治療法の相違を理解する。

小テスト②：短答式（第３回講義範囲）

第５回　　5月16日（木）

（題目：胃・十二指腸疾患）　担当：小児外科：小林　完

胃食道逆流症の検査法や手術適応、内服治療について理解する。肥厚性幽門狭窄症の病態、診断治療法について理解する。

第６回　　5 月 23 日（木）小児外科学会のため休講　→　5 月 27 日（月）5 コマに振替
（題目：消化管閉鎖、狭窄、胎便性疾患、新生児壊死性腸炎）　担当：小児外科：平林　健
十二指腸閉鎖、狭窄、腸閉鎖、胎便性疾患、新生児壊死性腸炎の形態学的相違、治療について理解する。
小テスト④：短答式（第４回及び第５回講義範囲）

第７回　　5 月 30 日（木）
（題目：小腸・大腸疾患）　担当：小児外科：平林　健
腸回転異常症の病型、病態、治療法について理解する。腸重積の整復法について理解する。若年発症の炎症性腸疾患の病型、病態、治療法について理解する。
小テスト⑤：短答式（第６回講義範囲）

第８回　　6 月 6 日　（木）
（題目：鼠径ヘルニア、腹壁異常）　担当：小児外科：小林　完
鼠径ヘルニアの発生、腹壁異常の概念を理解する。

第９回　　6 月 13 日（木）
（題目：ヒルシュスプルング病、直腸肛門奇形）　担当：小児外科：平林　健
ヒルシュスプリング病の病態、診断治療法について理解する。直腸肛門奇形の病型、治療について理解する。
小テスト⑥：短答式（第７回及び第８回講義範囲）

第１０回　6 月 20 日（木）
（題目：肝・胆・門脈疾患）　担当：小児外科：小林　完
胆道閉鎖症、拡張症、門脈圧亢進症の病態について理解する。

第１１回　6 月 27 日（木）
（題目：膵、脾疾患）　担当：小児外科：平林　健
膵嚢胞、膵炎の病態、治療について理解する。脾摘の適応と疾患、脾摘病態を理解する。
小テスト⑦：短答式（第９回及び第 10 回講義範囲）

第１２回　7 月 4 日　（木）
（題目：悪性固形腫瘍）　担当：小児外科：小林　完
神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫、横紋筋肉腫、奇形腫の診断と治療、グループスタディについて理解する。

第１３回　7 月 11 日（木）
（題目：悪性固形腫瘍Ⅱ）
担当：聖路加国際病院副院長 小児総合医療センター長　松藤　凡
患児の QOL に配慮した小児悪性固形腫瘍の治療。

第１４回　7 月 18 日（木）
（題目：小児外傷）　担当：小児外科：小林　完
小児外傷の特徴を理解する。

第１５回　7 月 25 日（木）
（題目：新生児外科＆小児外科総括）　担当：小児外科：平林　健
各論で、学んだ新生児外科疾患を総括し、新生児外科疾患の特殊性を再度学び直す。併せて小児外科全体を総括する。
小テスト⑧：短答式（第 11 回、第 12 回及び第 14 回講義範囲）

第１６回　8 月 1 日　（木）
（題目：考査）
小児外科の理解度を　論述形成式の問題で　考査・評価。

準備学習（予習・復習）等の内容
1.小児外科学は、解剖学・発生学の基本的知識を踏まえた上で学ぶと理解が深まるため、各講義の前には、講義内容分野に相当する解剖学・発生学の復習は行った上で、履修すること。
2.講義で十分に理解できない部分は、オリジナルプリントを参考に補足すること。

教材・教科書
Nelson Textbook of Pediatrics:Saunder 社、標準小児外科学：医学書院。Pediatric Surgery: Year Book Medical Publishers、Operative Pediatric Surgery: CRC Press
他にグレイ解剖学：エルゼビア社、ムーア人体発生学、ラーセン最新人体発生学、ラングマン人体発生学等の内容理解は必須である。

成績評価方法及び採点基準
論述形式の期末試験ならびに、隔週程度で行う短答式の小試験の結果により判断する。

授業形態・授業方法　オリジナルプリントとスライド、ビデオを用い、わかり易い講義を行う。

留意点・予備知識　授業はあくまで動機づけであり、学生自ら勉強することを主眼とする。

オフィスアワー　小児外科学講座　平林　健：　月曜日　１８：００～（要事前連絡）

授業科目名	医療安全学	対象学生	４年次
時間割コード	31419	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	福田　幾夫，大徳　和之	開講曜日・時限	金５・６

授業としての具体的到達目標　　医療における安全性確保を学習する

コミュニケーションとチーム医療を学習する

授業の概要

コアカリキュラム A-2「医療における安全性確保」および A-3「コミュニケーションとチーム医療」に基づき、到達目標を掲げて学習する。

授業の内容予定

第 1 回　4 月 12 日（金）（題目：医療安全学授業のオリエンテーション）

医療安全学の目的、スケジュールについて解説する。

医療安全に関する用語、医療安全活動の歴史、有害事象の疫学についても解説する。

医療安全推進室　大徳和之

第 2 回　4 月 19 日（金）（題目：薬剤被害者の生の声を聴く）

胸部心臓血管外科学　福田幾夫（薬剤被害者）（学務担当）

第 3 回　4 月 26 日（金）（題目：医療事故被害者の声を聴く）

1. 実際の医療事故被害者の立場から、患者医師関係、情報の非対称の解消、医療事故の再発防止について考える。
2. 企業人としての経験、人材育成などから、専門力と人間性をバランス良く育むことの重要性を考える。

胸部心臓血管外科学　福田幾夫（医療の良心を守る市民の会）

第 4 回　5 月 10 日（金）（題目：ヒューマンエラーとシステムアプローチ）

1. 医療事故とはどのような状況で起こりやすいかを説明できる。
2. 医療事故を防止するための組織的リスク管理の重要性を説明できる。

胸部心臓血管外科学　福田幾夫

第 5 回　5 月 17 日（金）（題目：チーム医療とコミュニケーション-1）**場所：基礎大講堂**

5・6 時限　　1. チーム医療について説明できる。

7・8 時限　　2. チームパフォーマンスを高めるためのコミュニケーションスキルを学ぶ。

（2 コマ）　　大阪大学医学部附属病院クオリティーマネジメント部　中島和江

第 6 回　5 月 24 日（金）（題目：ハイリスク領域における安全確保）

ハイリスクエリアである救命救急外来の安全管理上の問題点と対策を学ぶ。

災害救急医学　花田裕之

第 7 回　5 月 31 日（金）（題目：くすりと医療安全）

医療事故と医薬品の関わり、事故防止のための医薬品安全管理について理解する。

薬剤学講座　新岡丈典

第 8 回　6 月 7 日（金）　（題目：医師として医療システムの質を向上させる）

藤田保健衛生大学病院医療の質・安全管理部教授　安田あゆ子

第 9 回　6 月 14 日（金）（題目：地域医療における医療安全）

地域のプライマリケアを担う診療所における医療安全の取り組みについて学ぶ

沢田内科医院　沢田美彦

第 10 回　6 月 21 日（金）（題目：医療法学-1）

法制度と医師の professionalism について学ぶ。

伊藤佑輔法律事務所弁護士　伊藤佑輔

第 11 回　6 月 28 日（金）（題目：医療法学-2）

法医療事故紛争、医療事故の法的責任について理解する。

伊藤佑輔法律事務所弁護士　伊藤佑輔

第 12 回　7 月 5 日（金）（題目：事例分析法）

事例分析方法について学び、説明できる。代表的なツールを用いて事例分析を実際に行い、理解を深める　　医療安全推進室　大徳和之

第 13 回　7 月 12 日（金）（題目：チーム医療とコミュニケーション-2）

5・6 時限　　医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制について説明し、チームの一員として参加
7・8 時限　　できる。
（2 コマ）　　自分の能力の限界を認識し、他の医療従事者に必要に応じて援助を求めることができる。
「レナードの朝」を通してチーム医療と医療倫理を考える。

胸部心臓血管外科学　福田幾夫

第 14 回　7 月 19 日（金）（題目：患者-医療者間のコミュニケーション、患者参加と医療安全）

安全性向上のための患者・医療者間のコニュニケーションのあり方について学ぶ。

患者と医療者との協働による安全な医療の構築の重要性について学ぶ。

東京海上日動メディカルサービス　山内桂子

第 15 回　7 月 26 日（金）（題目：事例研究発表）

課題については後日、連絡する。

胸部心臓血管外科学　福田幾夫

医療安全推進室　大徳和之

教材・教科書 「加我君孝、高本真一編．医の原点 3．癒されぬものからの視点」（金原出版）、「L.コーン他編．人は誰でも間違える」（日本評論社）、「竹内正監修．医療原論」（弘文堂）、その他資料を適時配布する。ロビン・ウィリアムズ主演「レナードの朝」を教材ビデオとして使用する。
参考文献 ジェームス・リーズン著「組織事故」（日科技連）、吉松和哉著「医者と患者」（岩波書店）、日野原重明訳「平静の心．オスラー博士講演集」、小松原明哲ら訳「現場安全の技術　ノンテクニカルスキル・ガイドブック」
成績評価方法及び採点基準 出席、講義での議論、演習での発表、レポートなどにより評価する。
授業形態・授業方法 講義だけでなく、演習などを通して理解を深める。講義によっては事前に資料を配布し、これに基づいて議論を行うので資料を読み込んでおくことが必要である。
留意点・予備知識 事前配布資料については必ず目を通しておくこと。出席は毎回チェックする。毎回学生による講義評価を行う。 講義の日時を変更する際は、事前に連絡する。
オフィスアワー　　担当代表教員：福田幾夫、大徳和之 講座受付へ事前に電話でアポイントをとってください （電話番号　0172-39-5074　　受付時間　平日 9:00～16:00）

授業科目名	血液内科学Ⅱ	対象学生	４年次
時間割コード	31420	学期・単位数	前期・１単位
担当代表教員	玉井　佳子	開講曜日・時限	金９・１０

授業としての具体的到達目標

1.白血球系の異常疾患について各論を学ぶ。

2.造血器腫瘍の病態・診断・治療を理解する。

3.造血器腫瘍の鑑別診断を習得する。

授業の概要

国家試験レベルでの血液疾患全体の知識を広く習得することを主眼とする。

適宜、最新の病態生理・治療の進歩を紹介する。

授業の内容予定

第１回　４月 12 日（金）（題目：白血球総論）

白血球系疾患を学習するうえでの基礎医学的事項を復習する。玉井佳子（輸血・再生医学）

第２回　４月 19 日（金）（題目：白血球減少症・白血球増加症）

白血球の分類と、白血球の数的異常をきたす病態を学ぶ。対馬健一（大町内科）

第３回　４月 26 日（金）（題目：造血器腫瘍総論）

造血器腫瘍の分類・診断のための検査法を学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第４回　５月 10 日（金）（題目：白血病総論）白血病の概念・病態を学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第５回　５月 17 日（金）（題目：急性白血病Ⅰ）急性白血病の分類・病態を学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第６回　５月 24 日（金）（題目：急性白血病Ⅱ）急性白血病の治療・予後を学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第７回　５月 31 日（金）（題目：骨髄異形成症候群・その他の白血病）

骨髄異形成症候群の病態・分類・治療を学ぶ。その他の白血病（慢性リンパ性白血病・成人Ｔ細胞性白血病など）についての概略を学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第８回　６月７日（金）（題目：骨髄増殖性腫瘍Ⅰ）

慢性骨髄性白血病の病態・分類・治療を学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第９回　６月 14 日（金）（題目：骨髄増殖性腫瘍Ⅱ）

その他の骨髄増殖性腫瘍（真性多血症、本態性血小板血症、骨髄線維症）についての概略を学ぶ。

山形和史（消化器血液内科）

第 10 回　６月 21 日（金）（題目：リンパ球増殖性疾患Ⅰ）
悪性リンパ腫の病態・分類・診断・治療を学ぶ。間山　恒（消化器血液内科）

第 11 回　６月 28 日（金）（題目：リンパ球増殖疾患Ⅱ・血漿蛋白異常）
多発性骨髄腫、原発性マクログロブリン血症などの血漿蛋白異常を生じる疾患を学ぶ。鎌田耕輔（消化器血液内科）

第 12 回　７月５日（金）（題目：化学療法）
がん化学療法の基本と造血器悪性腫瘍の化学療法について学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第 13 回　７月 12 日（金）（題目：支持療法）
造血器悪性腫瘍治療における支持療法としての感染症治療・輸血治療について学ぶ。山形和史（消化器血液内科）

第 14 回　７月 19 日（金）（題目：造血幹細胞移植）
血液疾患における造血幹細胞移植の実際を学ぶ。久保恒明（青森県立中央病院）

第 15 回　７月 26 日（金）（題目：造血器腫瘍の鑑別）
代表的な白血球系疾患の診断・鑑別を中心に、一年間で学んだ血液疾患について臨床問題を通じて学ぶ。
山形和史（消化器血液内科）

第 16 回　８月２日（金）　　予備日

教材・教科書
・イラスト血液内科（文光堂）
・カラーテキスト血液病学　第２版（中外医学社）
・ここまできた白血病/MDS 治療（中山書店）
・病気が見えるシリーズ　血液（メディックメディア社）

成績評価方法及び採点基準　期末試験、授業の出席状況や聴講態度により評価します

授業形態・授業方法　スライドを主体とする講義形式が大半です。
スライドのハンドアウトを配布します

留意点・予備知識
ポイントをおさえた講義を心がけますので復習を重視して学習してください
基本的な点の講義になりますので、わからない事や聞き逃した点は、その場で遠慮せずに質問・確認して下さい
講義を超えた範囲での興味がある点の質問も歓迎します（こちらは、出来れば講義後にお願いします）

オフィスアワー　　シラバス作成者：山形和史　月曜夕方以降（要事前確認 39-5053）

授業科目名	リハビリテーション医学	対象学生	４年次
時間割コード	35401	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	津田　英一	開講曜日・時限	火３・４

授業としての具体的到達目標

1. 疾病によって生じた機能障害や能力低下を治療対象とするというリハビリテーションの特色を理解する。

2. リハビリテーション診断に必要な障害の評価法、各種検査法を理解する。

3. 代表的な疾患に対するリハビリテーション治療（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）について学ぶ。

授業の概要

・リハビリテーション医学では疾病によって生じた機能障害や能力低下を治療対象とするという特色がある。

・本講義では脳血管疾患・外傷性脳損傷、脊椎脊髄疾患、運動器疾患、神経筋疾患、先天性疾患、内部障害、がん、廃用症候群における障害の評価、各種検査法（電気診断、画像診断、動作解析）、リハビリテーション治療（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）について学ぶ。

・リハビリテーション医学は比較的新しい学問領域であり、近年盛んに臨床導入されている新たな治療概念や最先端リハビリテーション工学などの最新知見も紹介する。

モデル・コア・カリキュラム

F-2-14) リハビリテーション

授業の内容予定

第１回　9 月 17 日（火）（題目：リハビリテーション医学・総論）

リハビリテーション医学の歴史、理念、基本的な考え方を学ぶ。

津田 英一

第２回　9 月 24 日（火）（題目：機能解剖学・運動生理学・障害学）

リハビリテーションに必要な機能解剖、運動生理および障害の病態・評価を学ぶ。

津田 英一

第３回　10 月 1 日（火）（題目：電気診断・画像診断・動作解析）

各種検査法の適応、手技、解釈について理解する。

三浦 和知

第４回　10 月 8 日（火）（題目：理学療法・作業療法）

理学療法および作業療法における各種手技、適応、治療成績について理解する。

津田 英一

第５回　10 月 15 日（火）（題目：特別講義）

小児疾患のリハビリテーション

芳賀 信彦（東京大学リハビリテーション科教授）

第６回　11 月 5 日（火）（題目：言語聴覚療法・嚥下機能訓練）
言語聴覚療法および嚥下機能訓練における各種手技、適応、治療成績について理解する。
三浦 和知

第７回　11 月 12 日（火）（題目：特別講義）
ロボットリハビリテーション
中島 孝（国立病院機構新潟病院院長）

第８回　11 月 19 日（火）（題目：特別講義）
脳血管障害のリハビリテーション
岩田　学（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター院長）

第９回　12 月 17 日（火）（題目：義肢・装具療法）
各種義肢・装具の特徴、構成、適応、練習方法について理解する。
三浦 和知

第１０回　12 月 24 日（火）（題目：がんのリハビリテーション）
がんのリハビリテーションの概念、適応、アプローチについて学ぶ。
津田 英一

第１１回　1 月 7 日（火）　（題目：アスレティックリハ・障害者スポーツ）
スポーツ障害・外傷に対するリハビリテーション、障害者スポーツの特徴について理解する。
津田 英一

教材･教科書　講義のハンドアウトを配布する。

参考文
リハビリテーション医学・医療コアテキスト（医学書院）
標準リハビリテーション医学（医学書院）

成績評価方法及び採点基準　試験の成績及び出席の合計点にて評価する。

授業形態･授業方法　PC プレゼンテーション・ビデオなどを使用する。

留意点･予備知識
外部講師による講義ではレポートを提出する。
講義スライドの写真・ビデオ撮影は原則禁止とする。

オフィスアワー
臨床業務があるため、事前にリハビリテーション医学講座受付（内線 5473）に確認。
担当代表教員・シラバス作成者：津田 英一

授業科目名	病理診断学	対象学生	４年次
時間割コード	35403	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	黒瀬　顕	開講曜日・時限	木１・２

授業の概要

「病理診断学」は実際の医療現場における臨床医療としての病理診断学について学習する.

このため，３年次の「病理と病態」ならびに「人体の病理と病態実習」で学習した疾患の機序・病態・病理形態学的変化が基盤となる.

これらの知識に疾患概念や臨床的特徴を総括して，病理診断が行われる.

総論での臨床医療・医学における病理診断学の役割に引き続き，各臓器別に代表的疾患の病理学的特徴と病態，さらに診断と治療に重要なポイントについて学ぶ.

そしてこれらの病理組織診断，細胞診，病理解剖がどのように臨床医療に生かされているのかを理解する.

モデル・コア・カリキュラム

F-2-4)　基礎的診療知識・病理診断

D-6-4)-(9) 呼吸器系・疾患・腫瘍性疾患

C-4-1) 遺伝子的多様性と疾患

C-4-2) 細胞傷害・変性と細胞死

C-4-3) 代謝障害

C-4-4) 循環障害，臓器不全

C-4-5) 炎症と創傷治癒

C-4-6) 腫瘍

E-3-1) 定義・病態

E-3-2) 診断

E-3-5) 各論

D-5-1) 構造と機能

D-5-4)-(2) 虚血性心疾患

D-5-4)-(5) 心筋・心膜疾患

D-5-4)-(7) 動脈疾患

D-7-4)-(1) 食道疾患

D-7-4)-(2) 胃・十二指腸疾患

D-7-4)-(3) 小腸・大腸疾患

D-7-4)-(8) 腫瘍性疾患

D-9-4)-(3) 生殖機能・疾患・腫瘍性疾患

D-4-4)-(1) 運動器（筋骨格）系・疾患・一般的疾患

D-4-4)-(3) 運動器（筋骨格）系・疾患・腫瘍性疾患

D-12-3)-(2) 甲状腺腫

D-12-4)-(1) 視床下部・下垂体疾患

D-12-4)-(2) 甲状腺疾患

D-12-4)-(3) 副甲状腺疾患とカルシウム代謝異常

D-12-4)-(4) 副腎皮質・髄質疾患

D-12-4)-(5) 糖代謝異常

D-12-4)-(10) 腫瘍性疾患

D-1-4)-(4) 腫瘍性疾患

授業の内容予定

第１回　9 月 19 日（木）（題目：　病理診断学総論１）：　病理診断内容（組織診断，細胞診断）とその意義，および臨床医と病理医との連携の重要性を理解する．病理診断学講座 黒瀬　顕

第２回　9 月 26 日（木）（題目：　病理診断学総論２，呼吸器疾患）呼吸器腫瘍の発見から治療までの病理診断の関与を学ぶ　病理診断学講座　黒瀬　顕

第３回　10 月 3 日（木）（題目：　肝胆膵疾患主要な肝胆膵疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する．これらには，肝炎，肝硬変，胆嚢癌，膵炎，膵癌などが含まれる．病理生命科学講座　鬼島　宏

第４回　10 月 10 日（木）（題目：　循環器疾患）
　主要な循環器疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する．これらには、虚血性心疾患，心筋症，心筋炎，動脈瘤などが含まれる．分子病態病理学講座　水上浩哉

第５回　10 月 17 日（木）（題目：　腎疾患）主要な腎疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する．これらには、糸球体腎炎，腎癌などが含まれる．病理生命科学講座　鬼島　宏

第６回　10 月 24 日（木）（題目：　消化管疾患）主要な消化管疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する．これらには、消化性潰瘍，炎症性腸疾患，食道癌，胃癌，大腸癌などが含まれる。分子病態病理学講座　水上浩哉

第７回　10 月 31 日（木）（題目：　女性生殖器疾患）子宮，卵巣に発生する主な腫瘍について，病理形態学的特徴と診断ポイントを臨床像とともに理解する．病理診断学講座　加藤哲子

第８回　11 月 13 日（水）1.2 時限　日時注意（題目：　運動器疾患）骨，軟部，関節病変について，病理形態学的特徴と診断ポイントを臨床像とともに理解する．病理診断学講座　加藤哲子

第９回　11 月 14 日（木）（題目：　内分泌疾患）
主要な内分泌疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する．下垂体、甲状腺、副腎，膵ランゲルハンス島などの主要疾患が対象となる．分子病態病理学講座　水上　浩哉・板橋智映子

第 10 回　11 月 21 日（木）（題目：　造血器・リンパ系疾患）主要な造血器・リンパ系疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する．これらには、白血病，骨髄異形成症候群，リンパ節炎，悪性リンパ腫などが含まれる．分子病態病理学講座　水上浩哉

第 11 回　12 月 19 日（木）（題目：　乳腺・細胞診）皮膚・乳腺に発生する主要な疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する．臨床細胞診断学とはどのような学問領域なのかを把握する．医療における細胞診の現状・重要性・基本事項を理解する．病理生命科学講座　諸橋聡子・鬼島　宏

第 12 回　1 月 9 日（木）（題目：　男性生殖器・膀胱疾患）
主要な男性生殖器・膀胱疾患の疾患概念・病理形態学的特徴・診断ポイントを理解する。これらには，前立腺癌，精巣腫瘍，膀胱癌などが含まれる．病理生命科学講座　吉澤忠司　・鬼島　宏

準備学習（予習・復習）等の内容

講義内で病理診断学の全てを網羅することはできないので，テキストを参考に適宜補足して内容を習得すること．

教材・教科書

以下のうち１冊は必ず準備すること．

1.Pathologic basis of disease (9 版), Saunders

2.病態病理学　＋　器官病理学，南山堂

臨床各科の教科書を適宜参照し，臨床所見と病理所見との対応を行うこと．

参考文献

各疾患の臨床的事項や病理診断の位置付けは臨床医学の教科書を参考にすること．

成績評価方法及び採点基準

講義は毎回出席をとり規定の規準を満たすこと．成績評価は試験結果，出席状況により総合判定し，その結果一定以上の得点をとったものに単位が与えられる．

授業形態・授業方法

講義形式で、ハンドアウトやスライドを併用する．

留意点・予備知識

講義内で病理診断学の全てを網羅することはできないので，テキストを参考に適宜補足して内容を習得すること．

オフィスアワー　　随時

その他

１．附属病院における病理診断科業務は，臨床講座である病理診断学講座，基礎講座である分子病態病理学講座，病理生命科学講座および脳神経病理学講座で分担している．興味のある学生はこれらの講座を訪れて欲しい．

２．病理診断学講座は附属病院病理診断科・病理部で病理診断や細胞診に当たり，基礎研究棟で遺伝子解析を行っている．

３．附属病院病理診断科・病理部において臨床とのカンファレンスが行われている．学生の参加を歓迎する．

４．病理解剖に積極的に見学に来て欲しい．

授業科目名	臨床薬理・和漢薬学	対象学生	４年次
時間割コード	35404	学期・単位数	後期・１単位
担当代表教員	横山　良仁	開講曜日・時限	金９・１０

授業としての具体的到達目標

授業計画の前半を①臨床薬理学、後半を②和漢薬学として展開する。

1 創薬や育薬の過程において、臨床薬理学がなぜ必要となるのか、また、医薬品添付文書に記載されている「薬物動態」の項目内容を、実臨床でどのように活用すればよいのか理解する。

2 吸収・分布・代謝・排泄の過程における薬物動態の個体差要因や、それらに及ぼす薬物代謝酵素やトランスポーターの影響について理解する。

3 臨床上、不利益となる薬物同士の組み合わせを把握し、薬物動態の面から、なぜその組み合わせが不適切なのか理解する。

4 体内からの薬物の消失や組織移行性の指標となる薬物動態パラメータを把握し、これらの値を薬物投与設計にどのように利用すればよいか理解する。

5 血中濃度治療域が狭く、個体内・固体間変動が大きい薬物の個別化投与設計法
および実臨床におけるその実践方法について理解する。

6 過去に国内で発生した薬害から学んだ教訓とは何か、また、医薬品を使用するうえで避けて通れない副作用の種類・機序・対策について理解する。

7 何故この授業が行われるのかについて、如何に東洋医学の普遍性を如何に担保するか、「東洋の知」は「西洋の知」とは異なったパラダイムである、異なったパラダイムの和諧を求めるには、さて何が問題なのか。相補代替医療（ＣＡＭ）について、世界の動向、日本の現状と周辺の医療制度、ＣＡＭのＥＢＭ、現代西洋医学とＣＡＭの統合医学、等々について考える。更に、漢方医薬の薬物相互作用・有害作用について、具体例を挙げ、問題点を解説する。

8 漢方の基本概念と診断治療法、漢方医薬の成分（生薬）について概説する。また、漢方処方の実際を、外科領域から解説する。

9 鍼灸医学の基礎について、中国伝統医学の基本病態と治療、経穴の位置、カラダに秘められたネットワーク、鍼灸医学の世界（特にドイツ）での動向、等々を解説する。又、鍼灸医学の基礎を学んだうえで、講師の指導の下、実習として鍼を自分で試してみる。

10 産婦人科で漢方療法が頻用される理由および産婦人科領域で頻用される主な漢方薬（いわゆる３大漢方薬：加味逍遥散、桂枝茯苓丸、当帰芍薬散）について、第一線の産婦人科学的立場からＥＢＭに基づいて解説する。

11 わが国における緩和医療・緩和ケアの現状、代替医療・相補医療としての東洋医学、キリスト教・仏教・儒教にみる死生観と「老・病・死」の捉え方、緩和医療における漢方治療、緩和医療に用いられる「補剤」を中心とした各種の方剤、緩和医療における東洋医学の将来、等について解説する。

12 和漢薬学の診察方法を学ぶ（演習形式）

授業の概要

1 臨床薬理学とは、薬物の人体における作用と動態を研究し、合理的薬物治療を確立するための科学である。

2 臨床薬理学では、薬物の効果や副作用に個体差が生じる原因を、薬物動態学的アプローチで解析し、薬物療法の適正化を図るための知識を習得する。

3 和漢薬学では、漢方医学の基礎理論、漢方医薬による薬物療法の実際、さらに各臨床分野における漢方医療の役割について学ぶ。

授業の内容予定

第１回 9 月 20 日（金）（題目：臨床薬理学総論）創薬や育薬の過程において、臨床薬理学がなぜ必要となるのかを学ぶ
担当教員：弘前大学薬剤部教授　新岡丈典

第２回 9 月 27 日（金）（題目：薬物動態の個体差要因）吸収・分布・代謝・排泄の過程における薬物動態の個体差要因について学ぶ　担当教員：弘前大学薬剤部　新岡丈典

第３回 10 月 4 日（金）（題目：薬物動態学的相互作用）臨床上、不利益となる薬物同士の組み合わせを学ぶ
担当教員：弘前大学薬剤部　新岡丈典

第４回 10 月 11 日（金）（題目：薬物動態パラメータと PK-PD 理論の活用法）体内からの薬物の消失や組織移行性の指標となる薬物動態パラメータを学ぶ　担当教員：弘前大学薬剤部　新岡丈典

第５回 10 月 18 日（金）（題目：Therapeutic Drug Monitoring）
血中濃度治療域が狭く、個体内・固体間変動が大きい薬物の個別化投与設計法および実臨床におけるその実践方法について理解する。担当教員：弘前大学薬剤部　新岡丈典

第６回 11 月 1 日（金）（題目：薬の副作用とその対策）医薬品を使用するうえで避けて通れない副作用の種類・機序・対策について学ぶ　担当教員：弘前大学薬剤部　新岡丈典

第７回 11 月 8 日（金）題目：東洋医学入門、ＣＡＭ，漢方医薬の薬物相互作用有害作用）漢方医薬の薬物相互作用・有害作用について学ぶ　担当教員：弘前大学病態薬理学教授　村上　学

第８回 11 月 15 日（金）（題目：婦人科疾患と漢方）産婦人科で漢方療法が頻用される理由および産婦人科領域で頻用される主な漢方薬を学ぶ　担当教員：大阪市立大学女性生涯医学産科婦人科学　蔭山　充

第９回 11 月 22 日（金）（題目：漢方医学の基礎・外科領域と漢方）漢方の基本概念と診断治療法、漢方医薬の成分（生薬）について学ぶ　担当教員：八戸市立市民病院脳神経外科　川村　強

第１０回 12 月 20 日（金）（題目：鍼灸医学の基礎理論）鍼灸医学の基礎について学ぶ　担当教員：東北大学 CYRIC サイクロトロン核医学研究部教授　関　隆志

第１１回 1 月 10 日（金）（題目：緩和医療と漢方治療）緩和医療における漢方治療、緩和医療に用いられる「補剤」を学ぶ　担当教員：弘前大学麻酔科講師　木村　太

第１２回 1 月 16 日（木）漢方実習（会場：学習支援センター１号棟 ３階・４階）
担当教員：アラヤ医院院長新谷哲一他、漢方診療医師

準備学習(予習・復習)等の内容	各講義で紹介する。
教材・教科書	各講義で紹介する。
参考文献	各講義で紹介する。
成績評価方法及び採点基準 臨床薬理、和漢薬学に分けて試験・評価を行い、両者 60 点以上を以て合格とする。出席点、レポート内容から評価する。	
授業形態・授業方法	オムニバス形式。1 月 16 日は和漢薬学の診察の実際等演習形式とする。
留意点・予備知識	レポートテーマは講義中に伝える。
オフィスアワー	産科婦人科学講座へ直接確認すること（39-5107）。

《MEMO》

《専門科目/演習・実習科目》
３～４年次
授　業　計　画

授業科目名	病理学実習	対象学生	3年次
時間割コード	31311	学期・単位数	前期・1単位
担当代表教員	水上　浩哉	開講曜日・時限	火５～１０，水５～１０

授業としての具体的到達目標

1.　病理学実習は病理学総論で習得した知識を基に病理標本の所見を理解すること

2.　病理標本から得られた所見を基に病気の病態、分類を習得すること

3.　各臓器の病理標本から得られた所見を基に、総和としての患者の病態を理解すること

4.　病理標本に基づく患者の病態から適切な治療を選択できること

授業の概要

1.　基礎医学の知識を土台として多くの疾病の基盤となる主要な病気の病理変化について学ぶ。

2.　疾病を顕微鏡観察により把握し、臨床症候、治療指針との関連について理解する。

3.　疾病の内容について講義によって学んだ後に、実際の顕微鏡観察を行う。

モデルコアカリキュラム

C2-2)-(1)　組織・各臓器の構造と機能

C4-1）遺伝的多様性と疾患

C4-2）細胞傷害・変性と細胞死

C4-3）代謝障害

C4-4）循環不全、臓器不全

C4-5）炎症と創傷治癒

C4-6）腫瘍

授業の内容予定

第１回　４月 9 日（火）

（題目：呼吸器疾患の病理①）鼻、上気道疾患の炎症、腫瘍について学ぶ。

分子病態病理学講座　水上　浩哉

第２回　４月 10 日（水）

（題目：呼吸器疾患の病理②）肺の非腫瘍性疾患の病理。肺炎、結核、肺線維症などについて学ぶ。

病理診断学講座　黒瀬　顕

第３回　４月 16 日（火）

（題目：呼吸器疾患の病理③）　肺腫瘍・縦隔疾患の病理について学ぶ。

青森県立中央病院　黒滝　日出一

第４回　４月 17 日（水）

（題目：消化管疾患の病理①）　上部消化管の非腫瘍性疾患、腫瘍性疾患などについて学ぶ。

分子病態病理学講座　水上　浩哉

第５回　４月 23 日（火）

（題目：消化管疾患の病理②）　下部消化管の非腫瘍性疾患、腫瘍性疾患について学ぶ。

分子病態病理学講座　水上　浩哉

第 6 回　4 月 24 日（水）
（題目：消化管疾患の病理③）　その他の消化管疾患について学ぶ。
分子病態病理学講座　水上　浩哉

第 7 回　5 月　7 日（火）
（題目：肝胆膵の病理①）急性肝炎、慢性肝炎、アルコール性肝炎、肝硬変などについて学ぶ。
病理生命科学講座　鬼島　宏

第 8 回　5 月 8 日（水）　スケッチ点検および予備

第 9 回　5 月 14 日（火）スケッチ点検および予備

第 10 回　5 月 15 日（水）
（題目：肝胆膵の病理②）　肝癌、胆管癌、胆嚢炎などについて学ぶ。
病理生命科学講座　鬼島　宏・羽賀　敏博

第 11 回　5 月 21 日（火）
（題目：泌尿・男性生殖器の病理①）腎、精巣、前立腺の腫瘍について学ぶ。
青森労災病院 山岸　晋一朗

第 12 回　5 月 22 日（水）
（題目：泌尿・男性生殖器の病理②）　糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などについて学ぶ。
病理生命科学講座　鬼島　宏

第 13 回　5 月 28 日（火）
（題目：肝胆膵の病理③）急性膵炎、慢性膵炎、膵癌などについて学ぶ
分子病態病理学講座　八木橋　操六・水上　浩哉

第 14 回　5 月 29 日（水）
（題目：乳腺・女性生殖器の病理①）乳腺の炎症、腫瘍について学ぶ。
病理生命科学講座　鬼島　宏・諸橋聡子

第 15 回　6 月 4 日（火）
（題目：乳腺・女性生殖器の病理②）　卵巣、子宮の炎症、腫瘍について学ぶ。
病理診断学講座 加藤　哲子

第 16 回　6 月 5 日（水）
（題目：皮膚・運動器の病理①）　皮膚の炎症性疾患、皮膚腫瘍、軟部組織腫瘍について学ぶ。
青森市民病院 楠美　智巳

第 17 回　6 月 12 日（水）　　スケッチ点検および予備

第 18 回　6 月 14 日（金）（7 時限～）　スケッチ点検および予備

第 19 回　6 月 19 日（水）
（題目：皮膚・運動器の病理②）　皮膚の炎症性疾患、皮膚腫瘍、軟部組織腫瘍について学ぶ。
青森市民病院 楠美　智巳

第 20 回　6 月 21 日（金）　（実験動物慰霊式のため、9 時限（16：00）～）
題目：内分泌･代謝の病理①）下垂体、甲状腺、副甲状腺の疾患について学ぶ。
分子病態病理学講座　　水上　浩哉

第 21 回　6 月 26 日（水）
（題目：内分泌・代謝の病理②）　副腎皮質／髄質由来の良性、悪性腫瘍と膵島組織由来の神経内分泌腫瘍の病理に関して学ぶ。
分子病態病理学講座　　水上　浩哉

第 22 回　　6 月 28 日（金）（7 時限～）
（題目：血液の病理①）　正常骨髄像、貧血の見方、骨髄異形成症候群について学ぶ。
分子病態病理学講座 八木橋　操六

第 23 回　7 月 3 日（水）
（題目：リンパ節の病理①）　特異性、非特異性リンパ節炎などについて学ぶ。
八戸市立市民病院　　矢嶋　信久

第 24 回　7 月 5 日（金）（7 時限～）
（題目：血液の病理②）　急性および慢性の骨髄性白血病、リンパ性白血病について学ぶ。
分子病態病理学講座 八木橋　操六

第 25 回　7 月 10 日（水）
（題目：リンパ節の病理②）悪性リンパ腫、ホジキンリンパ腫、非などについホジキンリンパ腫て学ぶ。
分子病態病理学講座 水上　浩哉

第 26 回　7 月 12 日（金）（7 時限～）
（題目：中枢神経疾患の病理①）　脳梗塞、脳炎、ワーラー変性、筋萎縮性側索硬化症における脊髄病変とブニナ小体について学ぶ。
脳神経病理学講座 若林　孝一

第 27 回　7 月 17 日（水）

（題目：中枢神経疾患の病理②）　脱髄病変の特徴、アルツハイマー病に出現する神経原線維変化と老人斑、パーキンソン病におけるレビー小体について学ぶ。

脳神経病理学講座 若林　孝一

第 28 回　7 月 19 日（金）（7 時限～）

（題目：中枢神経疾患の病理③）　グリア系・神経細胞系腫瘍や髄膜腫等，代表的脳腫瘍について学ぶ。

病理診断学講座 黒瀬　顕

第 29 回　7 月 24 日（水）

（題目：総合）　いままで学習した知識を活用して、一人の患者の病態について総合的に学ぶ。

分子病態病理学講座　　水上　浩哉

第 30 回　7 月 30 日（火）　スケッチ点検および予備

第 31 回　7 月 31 日（水）　　スケッチ点検および予備

準備学習(予習･復習)等の内容

1. 希望によりハンドアウトを事前に配布するので、記載されている疾患についてあらかじめ学習する。
2. 希望により実習室の開放を行うこともある。

教材･教科書

1. 教科書は必ず自分のものを用意し、常に参照するようにすること。
2. 実習の際、正常構造の知識が必要とされるため、組織学の教科書も用意すること。
3. 実習前半の時間に、病理学（各論）に相当する講義を行う。それに対応しつつ、教科書（エッセンシャル病理学、標準病理学、Rubin “Pathology”, Robbins ”Pathologi Basis of Diseases）英文版））を基準に疾患を学び、実習スライドは、①カラーアトラスマクロ病理学(西村出版)、②組織病理アトラス(文光堂)、③病理組織の見方と鑑別診断(医歯薬出版)、④マクロ病理アトラス(文光堂)、⑤アンダーソン病理学カラーアトラス（MEDSi）、⑥カラーアトラス基礎組織病理学(西村書店)、⑦神経病理を学ぶ人のために(医学書院)などを参考にして実際を学ぶ。

参考文献

2003 年に作製した分子病態病理学講座作成の病理組織学実習書およびそれに付随する CD-ROM が用意されている。また、CD-ROM の内容は、学内のインターネットから閲覧も可能となっている（http://pathology1.jp/index.html）。とくに血液疾患については、ネットで画像の確認をすること。

成績評価方法及び採点基準

1. 実習期間中、積極的な学習態度、観察記録(スケッチ：どこをどのようにみたか、ポイントとなる事項など記載)の提出を求め、その都度評価する。
2. 実習終了後、筆記試験、鏡検による試験(ランニング方式)を行う。スケッチにおいて、粗末な描写や必要事項が欠如したものは再観察、再提出を要する。評価が著しく低い場合、スケッチが終了しない場合は試験資格を剥奪する。疾病の各論についての知識を、筆記試験、査問等を行う。

授業形態・授業方法

1. 観察記録(スケッチ)用紙はA4用紙を配布する。それを整理するバインダーを用意すること。
2. スケッチは色鉛筆を用いてカラーで描くこと。説明を十分入れること。
3. 各実習の開始は12時40分に基礎講義室でその日の実習内容についての講義を1時間強行う(2時頃まで)。その後、組織実習室に移動し、それぞれ鏡検観察を行う。
4. 実習所定時間中は、教官やティーチングアシスタントが実習室にいるので遠慮なく質問をすること。
5. 全標本を観察し、スケッチすること。スケッチ用紙は表だけを用いて、通常2つのプレパラート標本を描くこと。

留意点・予備知識

各項目における標本について基本的な解剖学、組織学、生化学などの知識について予習等の準備が必須であり、かつ標本観察後は基礎医学についての補充的な復習が必要である。この補充のために、教科書での復習が不可欠であり、ノート、プリントなどを参考にする。必要な情報は適宜分子病態病理学講座のホームページに載せるので参照のこと。

オフィスアワー

担当代表教員/シラバス作成者：月曜日　16：00-17：00

その他

1. 実習不履行、スケッチの不正が明白な場合試験資格は与えられない。
2. 実習期間中、所定時間に不在のもの、態度が著しく悪いもの、スケッチの模写は欠席もしくは不正行為とみなす。（試験資格を剥奪する）。

《MEMO》

授 業 科 目 名	薬理学実習	対 象 学 生	3年次
時 間 割 コード	31312	学 期 ・単 位 数	前期･1単位
担 当 代 表 教 員	村上　学	開講曜日･時限	火５～１０

授業としての具体的到達目標

1. 薬物・毒物の生体への作用について、個体・細胞・分子のレベルにおける作用機序を学ぶ。
2. 的確な薬物療法を行うための薬物動態、薬物相互作用について、基本的な考え方を学ぶ。

授業の概要

1. 薬物とは何か、医学における薬物の重要性について学ぶ。
2. 薬物受容体、薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）に関するモデル、薬物分布について、基本事項を習得する。
3. 各疾患の病態生理に基づく合理的な薬物治療を習得する。

モデル・コア・カリキュラム

C-3-3) 生体と薬物 ねらい:

C-3-3)-(1) 薬理作用の基本

C-3-3)-(2) 薬物の動態

C-3-3)-(3) 薬物の評価

授業の内容予定

第１回　６月１１日（火）　薬理学実習オリエンテーション

実習のねらい、概要等について説明する。 また実習テキストその他の資料を配付する。

第２回　６月１８日（火）　心筋シュミレーション：コンピュータープログラムを用い、心筋における電流、外液のイオン環境による影響をシュミレーションプログラム（Kyoto Model）で検討する。（村上）（コンピューター室）

第３回　６月２５日（火）　インフォームドコンセント：　アルコール代謝実習におけるインフォームドコンセント取得を例に、インフォームドコンセントについて学ぶ。（村上）（第１講義室）

第４回　７月２日（火）　アルコール代謝：パッチテスト、および PCR にてアルコール代謝酵素の個人差、しいては薬物遺伝学を体感する。（村上）　（第１、２実習室）

第５回　７月９日（火）　薬理学実習に関する総括　（実習試験）：　薬理学実習で学んだ薬物効果、耐性、薬物遺伝学等について、総括する。

第６回　７月１６日（火）　予備日

準備学習(予習･復習)等の内容

薬理学教室作製の「薬理学実習」（実習テキスト）を事前に配付するので、事前にその内容を良く把握しておき、実習に臨むこと。

教材・教科書

1. Principles of Pharmacology: The Pathophysiologic Basis of Drug Therapy, 3rd ed. 2011 (International Edition) Lippincott Williams & Wilkins
2. New 薬理学 改訂第６版 2011 年 田中千賀子、加藤隆一編 南江堂
3. イラストレイテッド薬理学 6 版［リッピンコットシリーズ］丸善株式会社
4. カッツング薬理学　エッセンシャル 丸善株式会社
5. 新しい薬理学　2018 年　西村書店

参考文献

1. Principles of Pharmacology: The Pathophysiologic Basis of Drug Therapy, 3rd ed. 2011 (International Edition) Lippincott Williams & Wilkins
2. New 薬理学 改訂第６版 2011 年 田中千賀子、加藤隆一編 南江堂
3. イラストレイテッド薬理学 6 版［リッピンコットシリーズ］丸善株式会社
4. カッツング薬理学　エッセンシャル 丸善株式会社
5. 新しい薬理学　2018 年　西村書店

成績評価方法及び採点基準

１．実習には特別な理由がない限り、全てに出席しなければならない。 その上で、各実習項目についての全てのレポートを期限内に提出しなければならない。

２．レポートを採点し、全てをまとめて実習の成績とする。

３．学習内容をもとに、試験を実施する予定である。

４．１００点満点で６０点をもって合格とする。

授業形態・授業方法

各テーマに基づき、薬理学の基礎を実地で習得する。

留意点・予備知識

１．実習開始までに実習室に入室し、名札を付けた白衣を着用しておくこと。

２．実習開始時にその日の実習テーマに関する詳しい説明があるので、注意して聞くこと。

３．薬理学実習テキスト、USB メモリー、その他の資料を持参すること。

４．医学生として、良識ある行動が求められる。

オフィスアワー　（毎週月曜日５時～６時）を設ける。授業後に生じた疑問点などの質問に充てること。この時間帯以外にも都合がつく場合には対応する。

授業科目名	社会医学実習	対象学生	3年次
時間割コード	31313	学期・単位数	前期・2単位
担当代表教員	井原　一成	開講曜日・時限	金１～１０

授業としての具体的到達目標

地域保健活動の企画から運営までの実践力を身につける。

授業の概要

現状の医学部教育において、地域社会における保健活動の実態やそれに対する地域住民のニーズに接することはほとんどない。そこで、本授業では地域保健活動の実際を学内外での講義および実習で学ぶ。

モデルコアカリキュラム

G-4-3　地域医療実習

授業の内容予定

第1回　4月19日（金）5・6時限（題目：社会医学実践各論①）

地域住民の健康度を把握するための手法（動脈硬化、肺機能、身体組成、骨密度など）を説明する。　沢田かほり、徳田糸代

第2回　4月26日（金）1・2時限（題目：社会医学実践各論②）

健康度を把握するための手法と疫学調査の実施方法について学ぶ。　梅田孝

第3回・第4回　4月26日（金）3-8時限（題目：社会医学実践各論③）

健康度を把握するための手法（動脈硬化、肺機能、身体組成、骨密度など）、体力を把握するための手法（筋力、柔軟性、有酸素作業能力など）を実習する。　井原一成、沢田かほり

第5回・第6回　5月10日（水）1-6時限（題目：社会医学実践各論④）

健康度を把握するための手法（動脈硬化、肺機能、身体組成、骨密度など）、体力を把握するための手法（筋力、柔軟性、有酸素作業能力など）を実習する。　井原一成、沢田かほり

第7回　5月17日（金）1-6時限（題目：社会医学実践各論⑤　中間試験）

健康度を把握するための手法（動脈硬化、肺機能、身体組成、骨密度など）、体力を把握するための手法（筋力、柔軟性、有酸素作業能力など）について実習試験を行う。　井原一成、沢田かほり

第8回・第9回・第10回・第11回　5月31日（金）1-6時限（題目：社会医学実践各論⑥）

岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診にて地域住民の健康度を把握する。（5月31日が実習日に振り分けられた者のみ参加、他の者は5月25日・26日、6月1日・2日のいずれかに振り分けられる。）

第12回・第13回　7月19日（金）1-4時限（題目：ディスカッション）

社会医学とは何か、地域の健康づくりにおける自分の果たすべき役割とは何か、考える。　井原一成、沢田かほり、弘前市、弘前保健所

第 14 回・第 15 回　7 月 26 日（金）1-4 時限（題目：ディスカッション２）
社会医学とは何か、地域の健康づくりにおける自分の果たすべき役割とは何か、考える。　井原一成､沢田かほり、弘前市、弘前保健所

8 月 2 日（金）予備日

第 16 回　レポート提出期限

成績評価方法及び採点基準
講義・実習への出席状況、および中間テストと実習に関するレポートの成績により評価する。

授業形態･授業方法
◇4 月 26 日（社会医学実践各論③）、5 月 10 日（社会医学実践各論④）、5 月 17 日（社会医学実践各論⑤）は学生全体を 3 グループに分け、各グループ単位で実習および中間試験を行う。
◇社会医学実践各論⑥（岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診における実習）は基本的には 5 月 31 日を実施日とする。しかし、人数の都合により学生全体を 5 グループに分け、5 月 25 日・26 日、6 月 1 日・2 日のいずれかに振り分ける。

留意点･予備知識
講義中に指示した課題等については、指示された期限内に提出すること。
また、岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診における実習の集合時間は早朝であるが、決して遅刻しないこと。

オフィスアワー　　担当代表教員：井原一成
金曜日 15：00～17：00　※ただし、事前に受付にて予約すること。

授 業 科 目 名	特別教育科目（研究室研修）	対 象 学 生	4年次
時 間 割 コード	35316	学 期 ・ 単 位 数	後期･3単位
担 当 代 表 教 員	今泉　忠淳	開講曜日･時限	水５～１０，木５～１０，金５～１０

授業としての具体的到達目標

１、リサーチマインドを育てる。

２、研究倫理について学習する。

授業の概要

１、配属された研究室において研究テーマを設定する。

２、そのテーマを研修する。

３、実研究活動の一部を体験する。

４、研修の内容を英語で発表する。

５、研究倫理についても学習する。

モデル・コア・カリキュラム

A-8-1）医学研究への志向の涵養

B-3-1）倫理規範と実践倫理

授業の内容予定

1.７月中に各学生の配属先ならびに研修テーマを決定する。

2.１０月２日（水）から配属先にて研究室研修を開始する。

研究倫理教育の一環として，ｅラーニングプログラム「eL CoRE」（エルコア）を受講すること。

3.最終週（２月５日～７日）に基礎大講堂で発表会を行う。

発表は英語で行い、その発表をもって「医学英語 III」の成績評価を行う。

4.研修終了後、レポートを作成し、２月１４日（金）に学務係に提出すること。

・論文形式とすること（要旨、目的、方法、結果、考察、文献、感想、などに章立て）

・関連した英文文献を検索、入手して読み、引用すること。

・パワーポイントを張り付けただけのものは認めない。

・教員が作成した論文をコピー・ペーストした場合には「不可」になります。

・提出前に指導教員のチェックを受けること。

・英文、和文、どちらでも可とするが、英文を推奨する。

【到達目標】

・必要な文献を検索、入手することができる。

・英文論文を読み、その内容を理解し、要約できる。

・パワーポイントを用いて英語で発表を行い、質問に答えることができる。

・論文形式のレポートを作成できる。

成績評価方法及び採点基準

・研修中の指導教員による評価、 発表会における審査員による評価、

レポートの内容の評価、　　以上の３点により総合的に評価を行い、

60 点以上を合格とする。

オフィスアワー　代表教員：金曜日１６００－１７００　他、随時。

授業科目名	総合教育演習Ⅰ（CBT）	対象学生	4年次
時間割コード	35407	学期・単位数	後期・1単位
担当代表教員	鬼島　宏	開講曜日・時限	集中

授業としての具体的到達目標

臨床実習を開始しようとする医学生（医師の資格のない学生）が実習に参加できるだけの能力と適性が備わっているかどうかを評価・確認する全国共用試験

授業の概要

・公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）が実施する、全国すべての医学科学生が受験しなければならない臨床実習前の全国統一基準試験

・CBT は computer based testing の略で、客観的臨床能力試験（objective structured clinical examination: OSCE）とともに、臨床実習を開始しようとする医学生（医師の資格のない学生）が実習に参加できるだけの能力と適性が備わっているかどうかを評価・確認する全国共用試験

・320 題の問題がコンピューター上にランダムに出題、約 6 時間かけて解答。

・基礎医学、臨床医学の各分野から、医学教育モデル・コア・カリキュラムの範囲内で出題。

・合格しなければ 5 年次に進級することはできない。

・9 月 4 日（水）に実施予定である。

授業の内容予定

共用試験実施評価機構より、試験問題が各コンピューターにランダムに送信される。試験前に予行を行い、問題の解答法などについて説明する。

成績評価方法及び採点基準

CATO による全国統一基準（合格ライン）をクリアしたものを合格とする。

授業形態・授業方法　CBT に関するガイダンスを行い、操作方法等、説明する。

留意点・予備知識　合格ラインをクリアしない者には再試験を行う。

オフィスアワー　鬼島　宏（担当代表教員/シラバス作成者）　月曜日/水曜日 17:00～18:00

授業科目名	ＰＢＬ	対象学生	4年次
時間割コード	35405	学期・単位数	後期･6単位
担当代表教員	富田　泰史	開講曜日･時限	月１・２，火１・２， 水３・４，木３・４， 金１～４

授業としての具体的到達目標

1. シナリオから問題点を抽出し、検索・学習・整理することにより、問題解決能力を身につける。
2. 科学的根拠に基づく論理的思考と科学的に実証する方法論を身につける。
3. 医療チーム内で必要とされるコミュニケーション能力の基本を身につける。

授業の概要

1. シナリオの中から問題点を抽出し、鑑別診断を挙げ、確定診断に至る過程を自ら学ぶことにより、診療参加型臨床実習に対応できる臨床推論能力を養う。
2. 自学自習による問題解決を数多く経験することにより、臨床医に必要とされる新しい医学情報を自ら継続的に獲得する術の基本を学ぶ。
3. 小グループ内での討論により、臨床の場で必要とされる患者・医師間、および医療チーム内でのコミュニケーション能力の基本を学ぶ。

モデル・コア・カリキュラム

F-2　基本的診療知識

F-2-1）臨床推論

F-3　基本的診療技能

F-3-1）問題志向型システムと臨床診断推論

授業の内容予定

１グループは８～１０名で構成される。配布されるシナリオから問題点を抽出し、自学自習に基づいた学習成果をグループ内で発表し、学習内容を共有する。

課題（シナリオ）

↓

問題点（鑑別診断、仮説）の抽出

↓

自学自習（教科書・文献・マルチメディア・学習指導教官）

↓

科学的根拠に基づいた討論

↓

問題点の解決、まとめの講義

1クール内の時間割例

	１・２時限	３・４時限
月	グループワーク（問題抽出）	—
火	自学自習	—
水	—	自学自習
木	—	自学自習
金	グループワーク（学習成果の発表）	まとめの講義

・グループワークの回は、グループ毎にチューターが担当する。

・月曜、金曜に休日のある週については、別の日にグループワークを行う。

概要

・1本のシナリオで1週間を1クールとして，複数クール実施する。

・ガイダンスを1クールの前に行う。

・各クールの終了後にまとめの全体講義を行う。

準備学習(予習・復習)等の内容　ガイダンスで指示する

教材・教科書　学生研修室に配置する内科書医学図書館分館図書，インターネット

各シナリオの最後にあるリソースを参照。

成績評価方法及び採点基準

・授業中の積極的関与、発表などをもとに、毎回チューターが学生を評価する。

・評価は5段階で行う。

・遅刻は授業開始20分までとする。20分以降に来た場合は欠席扱いとなる。

・遅刻者は「0～2」の評価とする。欠席者は「0」の評価とする。

・レポートは提出すること。レポート未提出者は「0」の評価とする。提出期限より遅れた提出物（レポート）は、未提出とみなす。

・チューターによる評価ならびにレポート内容の評価を踏まえて、最終的にPBL代表教官が成績評価を行う。

授業形態・授業方法

・学生による進行・討論・発表を行う。講義形式ではない。

・各クールで自学自習したことをまとめ、レポート（最低でもA4用紙1―2枚）を作成し、グループ内で発表・共有する。

留意点・予備知識

・PBLは自学自習によって成り立つ。積極的に参加しない学生の存在は、本人だけでなく、グループ全体の成績評価にも反映される。

・実習科目であり、この1科目不合格により留級となる。

オフィスアワー

PBL代表教官：富田泰史　39-5057（循環器腎臓内科学講座）に確認してください。

授 業 科 目 名	臨床実習入門（演習科目）	対 象 学 生	4年次
時 間 割 コード	35406	学 期・単 位 数	後期・ 臨床実習入門全体で10単位
担 当 代 表 教 員	加藤　博之	開講曜日・時限	月５～８，火５～８， 水５～８，木５～８， 金５～８

授業としての具体的到達目標

4 年次前期までに学習した内容を踏まえ、臨床実習への円滑な移行を図るため、これまでの学習科目で対象としにくかった科目横断的な分野について総合的知識の充実、応用力の向上に努め、課題に対する問題解決に取り組むことにより知識の out put を経験する。

授業の概要

総合診療医学、地域医療学、病理診断学、臨床倫理学、臨床検査医学などについて、演習やワークショップを行う。

授業の内容予定

テーマ１「総合診療医学演習」

１．　総合診療とは

２．　患者中心の医療・ケア

３．　よくある健康問題に対する診療能力

４．　地域包括ケアを含む地域志向アプローチ

５．　地域ニーズに基づく医療

６．　ＥＢＭの方法論（1）

７．　包括的統合アプローチ

８．　ＥＢＭの方法論（2）

９．　連携重視のマネジメント、ワークライフバランス

１０．プロフェッショナリズム（1）

１１．多様な診療の場への対応、適切な情報技術の利用

１２．プロフェッショナリズム（2）ワークショップ授業

１３．総合演習

モデルコアカリキュラム

A-1-2）患者中心の視点

A-1-3）医師としての責務と裁量権

A-2-1）課題探求・解決能力

A-2-2）学修の在り方

A-3-1）全人的実践的能力

A-5-1）患者中心のチーム医療

A-7-1）地域医療への貢献

B-1-3）根拠に基づいた医療<EBM>

B-1-7）地域医療・地域保健

B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度

B-4-1) 医師に求められる社会性

F-2-1) 臨床推論

F-2-2) 根拠に基づいた医療<EBM>

G-4-4) シミュレーション教育

テーマ２「根拠に基づく医療（EBM）」

根拠に基づく医療（EBM）

モデルコアカリキュラム

B-1-3) 根拠に基づいた医療<EBM>

テーマ３「地域医療学」

１．　我が国の医療の現状と問題点

２．　地域における災害医療

３．　自殺のポストベンション

４．　地域における結核対策

５．　ライフイノベーション戦略（地域医療産業政策）

６．　青森県の高齢者医療、介護保険

７．　青森県における医師会活動

８．　がん検診の基本的な考え方

９．　社会医学の意義

１０．地域医療と国際保健

１１．社会医学における臨床

１２．罪を犯した人の診療と支援

※上記は平成 30 年度のテーマであり、講師の都合による多少の変更はあり得る。

モデルコアカリキュラム

B-1-8　保健・医療・福祉・介護の制度

テーマ４「医療コミュニケーションスキル実習」

１．　コミュニケーション概論（講義）

２．　基本的コミュニケーション実習

３．　インフォームドコンセント実習

４．　医療の構造/キュアとケアについて学ぶ（講義）

５．　苦痛の包括的評価・スピリチュアルケア（講義）

６．　スピリチュアルケア・傾聴実習

７．　悪い知らせを伝える・SHREA（講義）

８．　悪い知らせを伝える・ＳＨＲＥＡ実習

９．　悪い知らせを伝える・SPIKES/NURSE（講義）

１０．悪い知らせを伝える・SPIKES/NURSE 実習

モデルコアカリキュラム

A-4-1）コミュニケーション

A-4-2）患者と医師の関係

A-5-1）患者中心のチーム医療

A-1-1）医の倫理と生命倫理

A-1-2）患者中心の視点

テーマ５「医療における病理診断の進め方と病理解剖の意義」

１．　病理診断の種類と意義

２．　病理検体の提出と依頼書の書き方

３．　病理組織診断報告書の読み方

４．　病理診断に必要な遺伝子検査法と変異情報検索演習

５．　病理解剖から学ぶ１

①病理解剖の位置づけと意義

②症例提示とレポート作成

モデルコアカリキュラム

E-3-2）　（腫瘍の）診断

F-2-3）　臨床検査（病理組織検査，細胞診検査）

F-2-4）　病理診断

テーマ６「臨床倫理学」

１．　オリエンテーション

２．　研究倫理に関する講義（90 分×1 回）

倫理委員会の役割と意義、特に臨床研究との関連について学ぶ。

３．　臨床倫理演習（180 分×4 回を予定）

臨床で問題となる倫理的テーマにつき、グループディスカッションを通じて考察する。

※平成 30 年度は医療資源配分・安楽死・守秘義務・生殖倫理をとりあげたが、変更がありうる。

モデルコアカリキュラム

A-1-1）医の倫理と生命倫理

B-3-1）倫理規範と実践倫理

テーマ７　「臨床検査データの読み方トレーニング」 Reversed Clinico-Pathological Conference (RCPC)　No.1～No.20 モデルコアカリキュラム F-2-1) 臨床推論 F-2-3) 臨床検査 F-3-4) 臨床判断
準備学習(予習・復習)等の内容 毎回の授業内容について、必ず振り返りを行い、十分な理解に努めること。
教材・教科書　授業の中で、必要に応じ適宜プリントを配布する。
参考文献　授業の中で、必要に応じ適宜紹介する。
成績評価方法及び採点基準各テーマを 100 点満点で評価して集計し、「臨床実習入門」全体として判定する。
授業形態・授業方法　講義、演習、ワークショップ
留意点・予備知識　各回の授業の会場に留意すること。
オフィスアワー　教科主任：加藤博之　原則として水曜日 11：00～12：00（要予約）

授業科目名	臨床実習入門（演習科目） (PreBSL/OSCE)	対象学生	4年次
時間割コード	35406	学期・単位数	後期・ 臨床実習入門全体で10単位
担当代表教員	加藤　博之，鬼島　宏	開講曜日・時限	集中

授業としての具体的到達目標

臨床実習（Bed Side Learning：BSL）を円滑に履修するための準備として、患者さんへのコミュニケーションの技法、基本的な身体診察術、基本的臨床手技、臨床実習生としての安全管理の基本を修得する。また臨床医の思考過程を意識しながら、自ら学び、自らを律し、他者と協調する姿勢を身につけ、初めて臨床現場に立つ者にとって必須のプロフェッショナリズムの涵養を図るとともに、生涯研鑽を続けることになる医師としての出発点を形成する。

授業の概要

１．患者－医師関係を重視した医療面接を行なうことができる

２．身体各部位についての基本的な診察を行なうことができる

３．心肺停止状態に対して一次救命処置（Basic Life Support）を実施することができる

４．基本的な外科縫合手技を行なうことができる

５．手術室実習に必要な手洗いとガウンテクニックを実施できる

６．臨床実習中の安全管理の重要性を認識し、医療事故防止や院内感染防止に配慮することができる

７．主訴から診断にいたる医師の思考過程を理解し、症候学の重要性に気付き、自ら学習を進めてゆくことができる

８．基本的事例について POS 形式で診療録（POMR）を記載することができる

９．BSL で電子カルテを扱うにあたっての注意点を述べることができる

１０．小グループ学習の特性を理解し、互いに協力して臨床実習を行なうことができる

授業の内容予定

１．患者さんと向き合うためのこころ構え（講義）

２．ワークショップ“How to survive BSL?”

３．医療面接（講義）

４．医療面接（実習　ビデオ）

５．医療面接（実習　ロールプレイ）

６．医療面接（実習　SP）

７．バイタルサイン（講義と実習）

８．頭頚部診察、胸部診察、腹部診察、神経診察（講義とビデオ）

９．頭頚部診察、胸部診察、腹部診察、神経診察（実習）

10. 心肺蘇生（講義）

11. 心肺蘇生（実習）

12. 外科手技（講義）

13. 外科手技（実習）

14. 実習中の安全管理、医療事故防止（講義）

15. 手術室での実習と安全管理（講義）

16. 実習中の院内感染対策（講義）

17. BSL で小児科患者に接するにあたって（講義）

18. BSL で産婦人科患者に接するにあたって（講義）
19. はじめて医療者の一人として現場に出るキミへ（講義）
20. 診療録の記載法（講義）
21. 診断のプロセスとカルテ作成実習（講義と実習）
22. 診療用語の解説（講義）
23. 心音の異常と心雑音（講義）
24. 呼吸音の異常と肺雑音（講義）
25. 共用試験 OSCE の手順について（講義）
26. 手洗いとガウンテクニック（講義と実習）
27. BSL で電子カルテを扱うにあたって（講義）

モデル・コア・カリキュラム
F-3 基本的診療技能
F-3-1)問題志向型システムと臨床診断推論
F-3-2)医療面接
F-3-3)診療録（カルテ）
F-3-4)臨床判断
F-3-5)身体診察
F-3-6)基本的臨床手技

準備学習(予習･復習)等の内容

復習を重視する。教えられた医療面接、身体診察、各種基本的臨床手技等をスムーズに行うことができるよう、練習を繰り返すこと。

教材･教科書

診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習評価項目（共用試験実施評価機構）、同 DVD（共用試験実施評価機構）、基本的臨床技能の学び方・教え方　Essential Minimum と OSCE（日本医学教育学会臨床能力教育ワーキンググループ編、南山堂）、あなたの患者になりたい（佐伯晴子、医学書院）、BLS ヘルスケアプロバイダー日本語版（アメリカ心臓協会、中山書店）、診察と手技がみえる＜vol.1＞（田邊政裕、MEDIC MEDIA）、基本的身体診察法　全 5 巻（ビデオ）（伴信太郎解説、メディカル情報センター）

参考文献

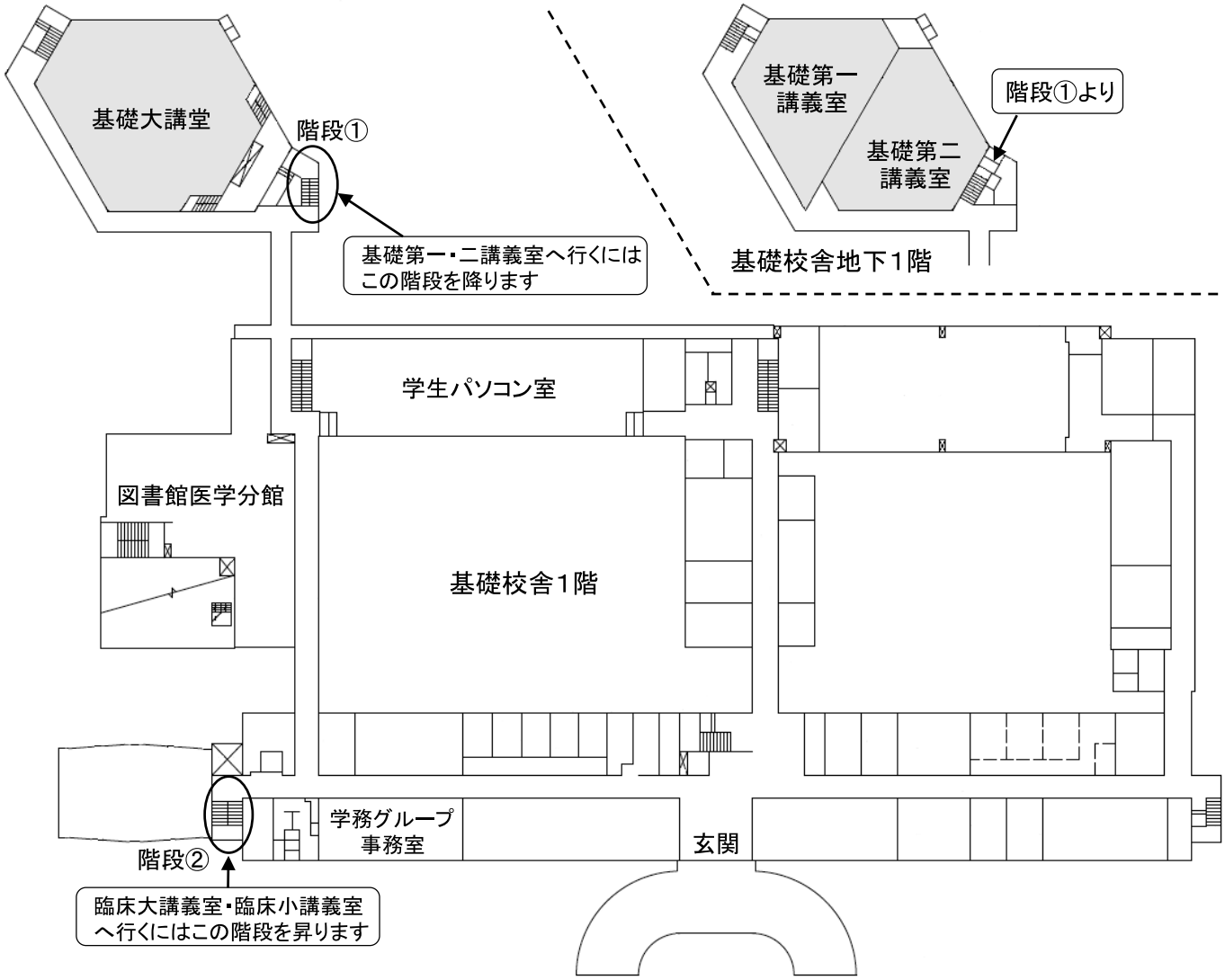
行動目標達成のための「医療面接」ポイント 50（佐伯晴子、日本医療企画）、救急外来診療で役立つ症候から鑑別診断の進めかた（瀧　健治、加藤博之、河野寛幸、増田裕幸編、羊土社）、図説病態内科講座 18 巻　症状・症候 1（高久史麿監修、メジカルビュー社）、図説病態内科講座 19 巻　症状・症候 2（高久史麿監修、メジカルビュー社）、目からウロコ！Dr 古谷の実践！ザ・診察教室（上巻）（DVD）（ケアネット）、研修医のための基本技能　2―8 巻（DVD）（北村聖総監修、メディカルビジョン）、ER 流研修指導医㊙心得 47（加藤博之、羊土社）

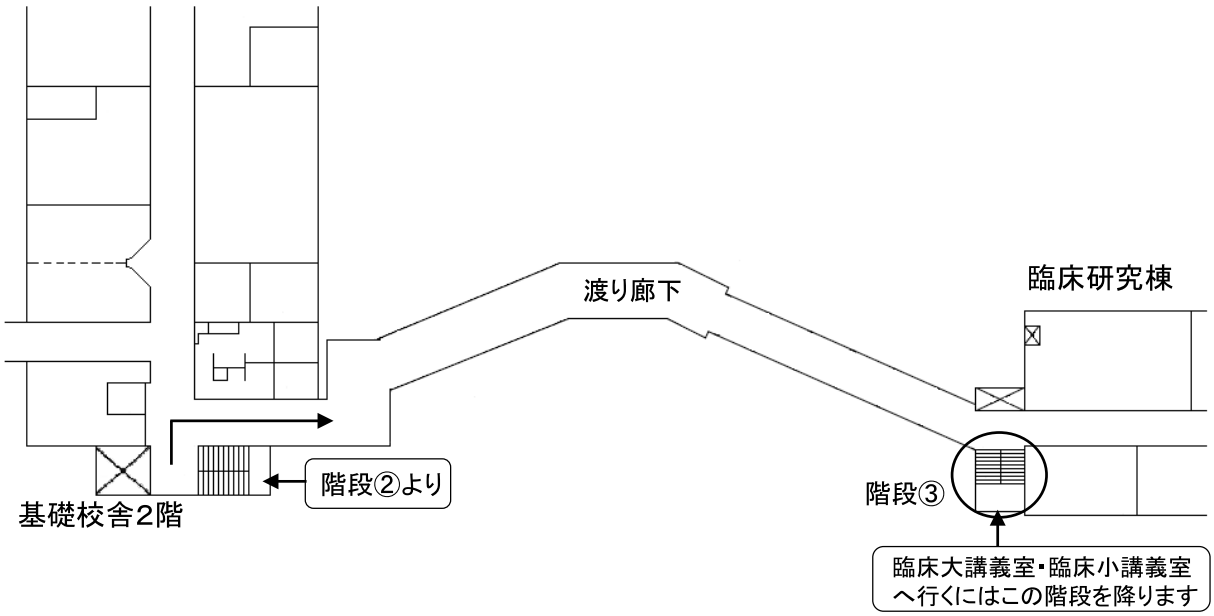
成績評価方法及び採点基準

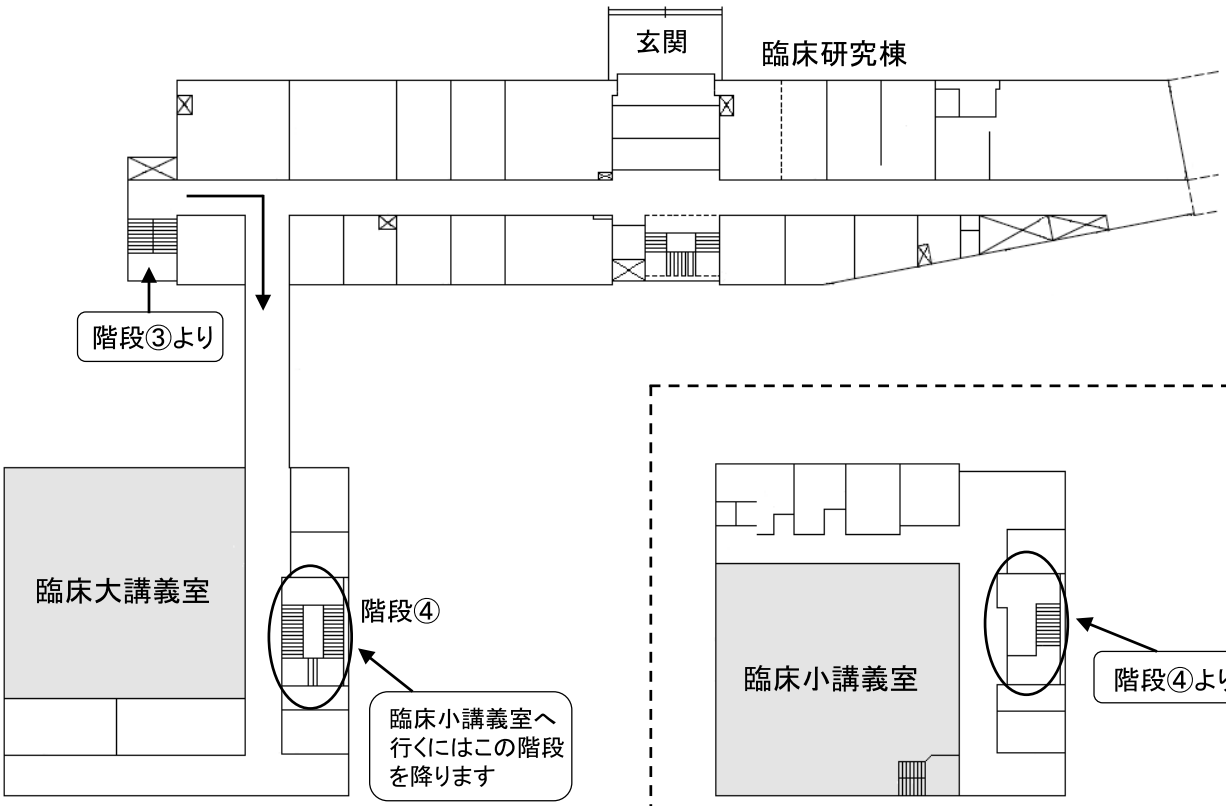
原則としてすべての講義と実習を受講することが OSCE の受験資格となる。評価は出席、小テスト、OSCE で行う。
OSCE は Pre BSL に引き続いて行われる全医学部・医科大学が参加する全国統一の実技試験であり、国家試験に準じた

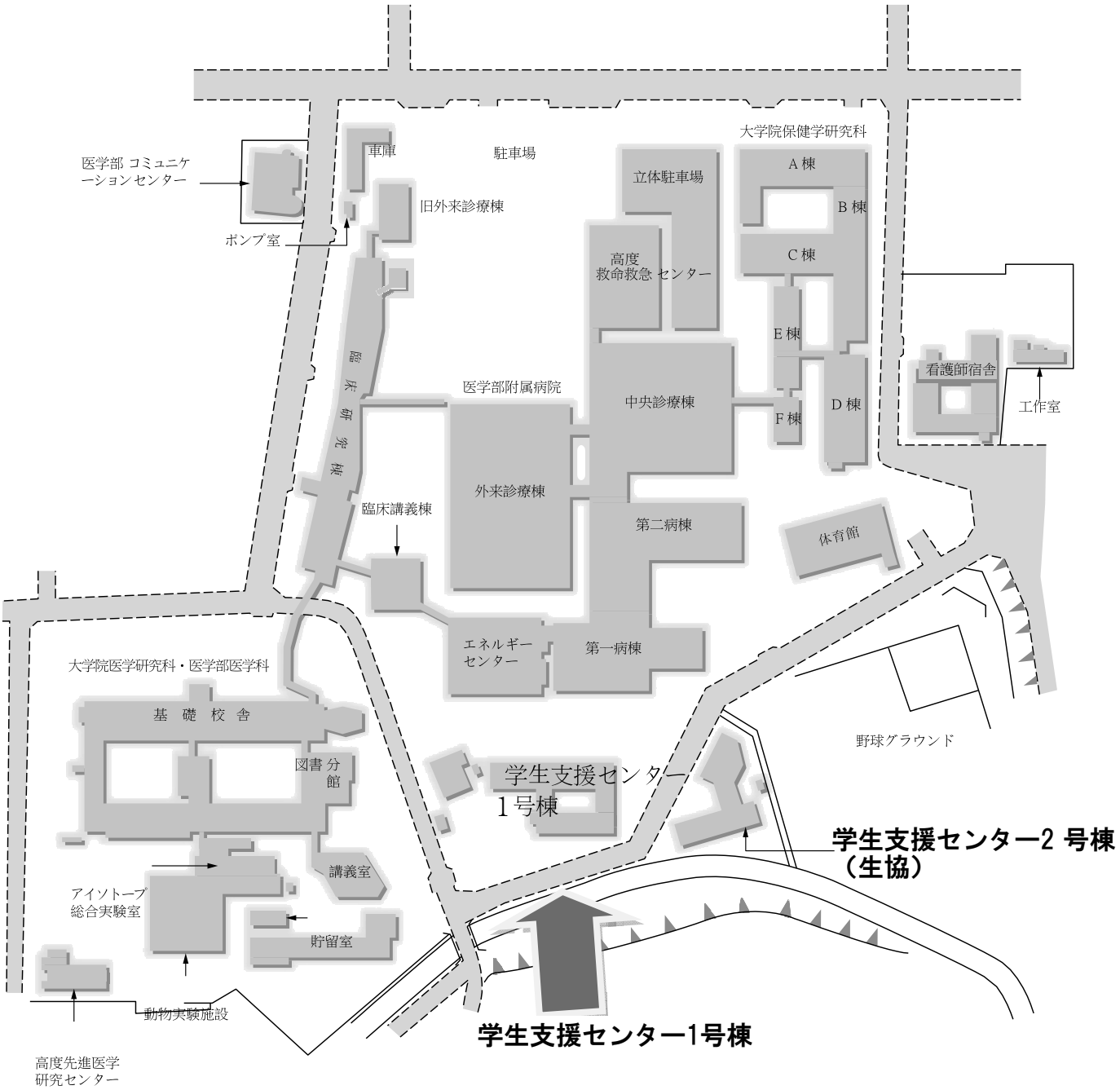
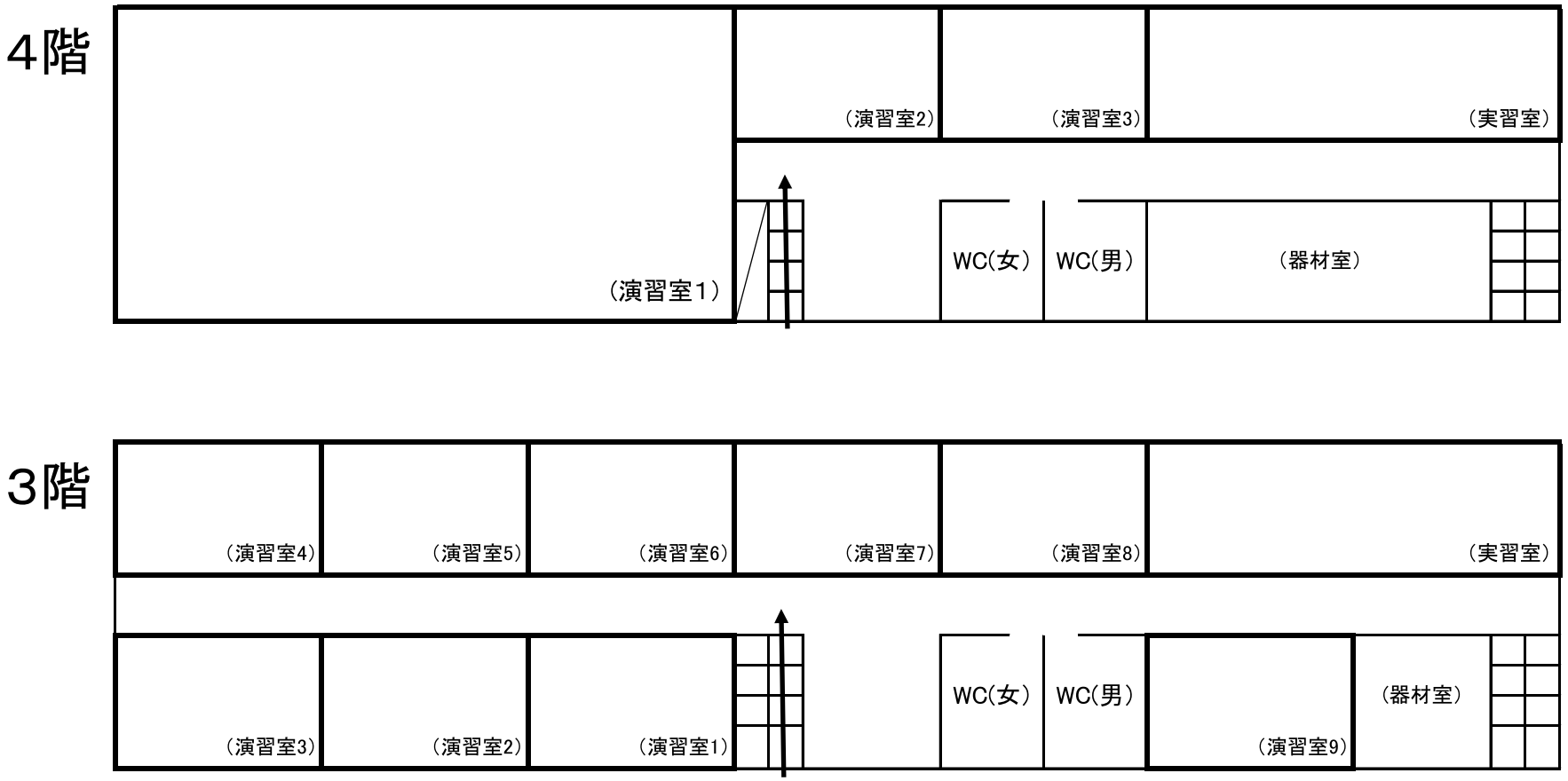
公的な試験と位置づけられている。その成績は共用試験実施評価機構（東京にあるOSCE、CBTの実施本部）に報告される。Pre BSL 並びにOSCEに合格しないと臨床実習を履修することはできない。
授業形態・授業方法　　講義、ワークショップ、演習、実習
留意点・予備知識 ・診察衣（上下セパレーツタイプ）、聴診器（膜型・ベル型の切り替えができるものが望ましい）、ハンマー等を購入すること。靴は白色系のスニーカーが望ましい。 ・Pre BSL 期間中、名札をつけること。 ・髪型、爪、服装、靴など臨床実習で患者さんに接する前提となる身だしなみや、言葉使い、態度なども学習・指導の対象となる。十分に留意すること。 ・OSCEは、学生が臨床実習を開始する充分な能力を有するか否かを検するための、極めて重要な全国レベルの公的な試験である。OSCEに合格しないと臨床実習に進むことはできないため、Pre BSLの全授業に出席し真剣に取り組むことが要求される。
オフィスアワー　　シラバス作成者：加藤博之　事前にメールにて要予約（メールアドレス：katohh@hirosaki-u.ac.jp）

講義室配置図


基礎大講堂
階段①
基礎第一・二講義室へ行くには
この階段を降ります
基礎第一
講義室
基礎第二
講義室
階段①より
基礎校舎地下1階
学生パソコン室
図書館医学分館
基礎校舎1階
学務グループ
事務室
玄関
階段②
臨床大講義室・臨床小講義室
へ行くにはこの階段を昇ります


渡り廊下
臨床研究棟
階段②より
基礎校舎2階
階段③
臨床大講義室・臨床小講義室
へ行くにはこの階段を降ります


玄関
臨床研究棟
階段③より
臨床大講義室
階段④
臨床小講義室へ
行くにはこの階段
を降ります
臨床講義棟1階
臨床小講義室
階段④より
臨床講義棟地下1階


医学部 コミュニケーション センター
ポンプ室
車庫
駐車場
旧外来診療棟
臨床研究棟
医学部附属病院
外来診療棟
臨床講義棟
立体駐車場
高度救命救急 センター
中央診療棟
第二病棟
第一病棟
エネルギーセンター
大学院保健学研究科
A 棟
B 棟
C 棟
D 棟
E 棟
F 棟
看護師宿舎
工作室
体育館
野球グラウンド
大学院医学研究科・医学部医学科
基 礎 校 舎
図書 分館
講義室
アイソトープ総合実験室
貯留室
動物実験施設
高度先進医学研究センター
学生支援センター 1号棟
学生支援センター2 号棟（生協）
学生支援センター1号棟

学生支援センター1号棟　３階・４階